

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	大城 明子[産業情報]	1年	akooshiro@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 英語コミュニケーションを用いる場面を想定したうえで、英語の理解と発信が可能な能力をみにつけるのがねらいである。	メッセージ オンラインでの学習となります。英語基礎力と様々な場面で使える英語を取り上げます。ぜひ皆さんの将来、未来への足掛かりとなるようコツコツと吸収してください。
	到達目標 日本人の私達が必要となる場面（英語を用いる日常生活、海外旅行、留学）において、聞いて理解する（文化的な意味も含む）、話す（相手に理解してもらうように）の英語コミュニケーションができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	(特) オリエンテーション（英語 I のねらい、注意事項、テキスト等の説明）他	テキスト購入と英語ノート準備
	2	(特) 課題1、テキスト確認と付属e-learning説明	課題1を英語ノートに仕上げる
	3	(特) テキストUnit1-1	テキスト復習
	4	(特) テキストUnit1-2、テキストe-learning学習	テキスト復習まとめとe-learning
	5	(特) テキストUnit2-1	テキスト復習
	6	(特) テキストUnit2-2、テキストe-learning学習	テキスト復習まとめとe-learning
	7	(特) Viva! Ch1-1	Viva! Ch1-1復習
	8	(特) Viva! Ch1-2	Viva! Ch1-2復習
	9	(特) Viva! Ch2-1	Viva! Ch2-1 復習
	10	(特) Viva! Ch2-2	Viva! Ch2-2復習
	11	(特) テキストUnit3-1	Viva! Ch3-1復習
	12	(特) テキストUnit3-2	Viva! Ch3-2復習
	13	(特) テキストe-learning学習総仕上げ（当日締め切り）、課題2	課題2を仕上げる
	14	(特) テキストUnit4-1	テキスト復習
	15	(特) テキストUnit4-2	テキスト復習まとめとe-learning
	16	(特) Viva! Ch13-1	Viva! Ch13-1復習
	17	(特) Viva! Ch13-2	Viva! Ch13-2復習
	18	(特) Viva! Ch14-1	Viva! Ch14-1復習
	19	(特) Viva! Ch14-2	Viva! Ch14-2復習
	20	(特) Viva! Ch15-1	Viva! Ch15-1復習
	21	(特) Viva! Ch15-2	Viva! Ch15-2復習
	22	(特) テキストUnit5-1	テキスト復習
	23	(特) テキストUnit5-2	テキスト復習まとめとe-learning
	24	(特) テキストUnit6-1	テキスト復習
	25	(特) テキストUnit6-2	テキスト復習まとめとe-learning
	26	(特) Viva! Ch6-1	Viva! Ch6-1復習
	27	(特) Viva! Ch6-2	Viva! Ch6-2復習
	28	(特) テキストUnit7-1	テキスト復習
	29	(特) テキストUnit7-2	テキスト復習まとめとe-learning
30	(特) テキストe-learning学習後半（Unit4-7）総仕上げ（当日締め切り）、課題3	課題3仕上げ	
31	(特) 総まとめ、ノート提出	英語 I を振り返る	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など テキストは講義第一回目に紹介します。購入してください。また、テキストを自主的にまとめるB5サイズノートも必ず準備してください。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て オンライン授業での各回の指示や案内をきちんと把握した上で、学習をすすめてください。また、疑問点等がある場合には、遠慮なく講師にメールで聞いてください。自ら地道に学ぶ皆さんを応援します。</p>
	<p>評価 テキスト学習ノート:36%, テキストe-learning学習:29%, Viva San Francisco学習:25%, 課題: 10% 欠席1回につき1点減点、</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 前期の英語Ⅰにつづき、その時間系列および学習項目進度は英語Ⅱへとすすみます。英語Ⅰ受講生は英語Ⅱを必ず受講してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	大城 明子[法律・地行]	1年	akooshiro@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 英語コミュニケーションを用いる場面を想定したうえで、英語の理解と発信が可能な能力をみにつけるのがねらいである。	メッセージ オンラインでの学習となります。英語基礎力と様々な場面で使える英語を取り上げます。ぜひ皆さんの将来、未来への足掛かりとなるようコツコツと吸収してください。
	到達目標 日本人の私達が必要となる場面（英語を用いる日常生活、海外旅行、留学）において、聞いて理解する（文化的な意味も含む）、話す（相手に理解してもらうように）の英語コミュニケーションができる。	

学びの準備	ねらい 英語コミュニケーションを用いる場面を想定したうえで、英語の理解と発信が可能な能力をみにつけるのがねらいである。	メッセージ オンラインでの学習となります。英語基礎力と様々な場面で使える英語を取り上げます。ぜひ皆さんの将来、未来への足掛かりとなるようコツコツと吸収してください。
	到達目標 日本人の私達が必要となる場面（英語を用いる日常生活、海外旅行、留学）において、聞いて理解する（文化的な意味も含む）、話す（相手に理解してもらうように）の英語コミュニケーションができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	(特) オリエンテーション（英語 I のねらい、注意事項、テキスト等の説明）他	テキスト購入と英語ノート準備
	2	(特) 課題1、テキスト確認と付属e-learning説明	課題1を英語ノートに仕上げる
	3	(特) テキストUnit1-1	テキスト復習まとめ
	4	(特) テキストUnit1-2、テキストe-learning学習	テキスト復習まとめとe-learning
	5	(特) テキストUnit2-1	テキスト復習
	6	(特) テキストUnit2-2、テキストe-learning学習	テキスト復習まとめとe-learning
	7	(特) Viva! Ch1-1	Viva!Ch1-1復習
	8	(特) Viva! Ch1-2	Viva!Ch1-2復習
	9	(特) Viva! Ch2-1	Viva!Ch2-1復習
	10	(特) Viva! Ch2-2	Viva!Ch2-2復習
	11	(特) テキストUnit3-1	テキスト復習まとめ
	12	(特) テキストUnit3-2、テキストe-learning学習	テキスト復習まとめとe-learning
	13	(特) テキストe-learning学習総仕上げ（当日締め切り）、課題2	課題2を仕上げる
	14	(特) テキストUnit4-1	テキスト復習まとめ
	15	(特) テキストUnit4-2、テキストe-learning学習	テキスト復習まとめとe-learning
	16	(特) Viva! Ch13-1	Viva! Ch13-1復習
	17	(特) Viva! Ch13-2	Viva! Ch13-2復習
	18	(特) Viva! Ch14-1	Viva! Ch14-1復習
	19	(特) Viva! Ch14-2	Viva! Ch14-2復習
	20	(特) Viva! Ch15-1	Viva! Ch15-1復習
	21	(特) Viva! Ch15-2	Viva! Ch15-2復習
	22	(特) テキストUnit5-1	テキスト復習まとめ
	23	(特) テキストUnit5-2、テキストe-learning学習	テキスト復習まとめとe-learning
	24	(特) テキストUnit6-1	テキスト復習まとめ
	25	(特) テキストUnit6-2、テキストe-learning学習	テキスト復習まとめとe-learning
	26	(特) Viva! Ch6-1	Viva! Ch6-1復習
	27	(特) Viva! Ch6-2	Viva! Ch6-2復習
	28	(特) テキストUnit7-1	テキスト復習まとめ
	29	(特) テキストUnit7-2、テキストe-learning学習	テキスト復習まとめとe-learning
30	(特) テキストe-learning学習後半（Unit4-7）総仕上げ（当日締め切り）、課題3	課題3を仕上げる	
31	(特) 総まとめ、ノート提出	英語 I を振り返る	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など テキストは講義第一回目に紹介します。購入してください。また、テキストを自主的にまとめるB5サイズノートも必ず準備してください。</p>
	<p>学びの手立て オンライン授業での各回の指示や案内をきちんと把握した上で、学習をすすめてください。また、疑問点等がある場合には、遠慮なく講師のメールをし聞いてください。自ら地道に学ぶ皆さんを応援します。</p>
	<p>評価 テキスト学習ノート:36%, テキストe-learning学習:29%, Viva San Francisco学習:25%, 課題: 10% 欠席（各回の授業連絡の確認を連絡当日の午後5時以降にした場合には、欠席とみなす）1回につき1点減点</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 前期の英語Ⅰにつづき、その時間系列および学習項目進度は英語Ⅱへとすすみます。英語Ⅰ受講生は英語Ⅱを必ず受講してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-山入端 由美子[経済]	1年	講義室にて、もしくはメールにて受け付けます。 ptt1230@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>大学生として必要とされる「リスニング力」「スピーキング力」を重点的に養成する。簡単な英文を読み理解するための基礎的英文法の知識と語彙力を身につける。</p>	<p>語学学習は楽しみながら行うことが一番です。使用教科書で扱っているポップスを何度も聴き、実際に歌って、楽しみながら自然に英語の表現が身につくよう努めてください。また時間外学習の教材として2種類のウェブ学習を紹介します。</p>

到達目標
<p>*ポップスを聴きながら英語特有の音声変化やリズムに慣れ親しむ。 *基本的英文法を再確認する。 *易しい内容について会話ができるようになる。 *読解問題に取り組むことで、文法・語彙・表現力を強化する。 *ポップス・読解問題を通し異文化理解を深める。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
		テーマ	時間外学習の内容
	1	English I Class Orientation	Read English I course syllabus
	2	CALL Orientation	Read MLS manual
	3	Textbook Unit 1 You're Beautiful	Listen to a song in Unit 1
	4	Textbook Unit 1 You're Beautiful	LMS Viva! SF chapter 1
	5	Textbook Unit 1 You're Beautiful	Linguaporta Unit 1
	6	Textbook Unit 2 I Want It That Way	Listen to a song in Unit 2
	7	Textbook Unit 2 I Want It That Way	LMS Viva! SF chapter 2
	8	Textbook Unit 2 I Want It That Way	Linguaporta Unit 2
	9	Oral Presentation Preparation	Prepare for oral presentation
	10	Oral Presentation Day 1	LMS Viva! SF chapter 3
	11	Oral Presentation Day 2	LMS Viva! SF chapter 4
	12	Textbook Unit 3 The First Time	Listen to a song in Unit 3
	13	Textbook Unit 3 The First Time	LMS Viva! SF chapter 5
	14	Textbook Unit 3 The First Time	Linguaporta Unit 3
	15	Mid-term Examination	Review Unit 1-3
	16	Textbook Unit 4 Complicated	Listen to a song in Unit 4
	17	Textbook Unit 4 Complicated	LMS Viva! SF chapter 6
	18	Textbook Unit 4 Complicated	Linguaporta Unit 4
	19	Textbook Unit 5 My Heart Will Go On	Listen to a song in Unit 5
	20	Textbook Unit 5 My Heart Will Go On	LMS Viva! SF chapter 7
	21	Textbook Unit 5 My Heart Will Go On	Linguaporta Unit 5
	22	Essay Writing	Prepare for essay writing
	23	Essay Writing	LMS Viva! SF chapter 8
	24	Textbook Unit 6 With You	Listen to a song in Unit 6
	25	Textbook Unit 6 With You	LMS Viva! SF chapter 9
	26	Textbook Unit 6 With You	Linguaporta Unit 6
	27	Textbook Unit 7 Torn	Listen to a song in Unit 7
	28	Textbook Unit 7 Torn	LMS Viva! SF chapter 10
	29	Textbook Unit 7 Torn	Linguaporta Unit 7
30	Final Examination	Review Unit 4-7	
31	Reviewing Final Exam & Make-up Exam	Enjoy your summer vacation!	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>*使用教科書; Let's Learn English with Pop Hits! 「ポップスでスタート!基礎英語」(成美堂 2020) *ウェブ学習; ①LMS中教材 Viva! San Francisco (使用教科書はありません。沖国ポータルサイトよりLMSに入ってウェブ学習します。②教科準拠ウェブ学習 LINGUAPORTA *沖国ポータルサイトにある「授業連絡」を用い必要に応じて連絡することがあります。常にチェックする習慣をつけてください。</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>①授業出席数が単位修得にとって重要な鍵となります。欠席が10回以上あると単位修得できません。 ②授業遅刻15分以上は減点となります。 ③体調不良などで欠席する際は、講師に直接連絡してください。E-mail: ptt1230@okiu.ac.jp ④授業には積極的・主体的に参加してください。 ⑤ウェブ学習にも積極的に取り組んでください。</p>
	<p>評価</p> <p>Review tests, exams, oral presentations, essays (85%) E-learnings: MLS, Linguaporta (15%)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次のステップは後期開講の英語Ⅱです。さらに、より実践的に話す聞くを中心とした英語でのコミュニケーションがとれるように力をつけていきます。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 淳子[社文・人福]	1年	メールアドレスを初日配布シラバスに記載	

学びの準備	ねらい グローバル教育の推進に必要な英語コミュニケーション能力を高める事を主目的とする。特に英語のオーラルコミュニケーションに必要な文法の基礎を固め、アウトプットトレーニングを中心に行う。	メッセージ 特にリスニング力とスピーキング力とを伸ばす訓練を行います。聞き取った言葉を瞬時に理解しすぐに反応する練習をペアやグループで行い英語での円滑なコミュニケーションを目指します。又、実用的な会話表現を学びながらコミュニケーションに必要な英文法の基本を学び、次年度必修のessay writingに求められる英語力を養成する。【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 コンテンツを英語で理解し発信する力を養成する事を主目的とする。英語のコンテンツを聴き、理解の確認を行い、グループメンバーと意見交換できるようになることを目指す。ディスカッションやプレゼンテーションを通して英語によるOUTPUT力を磨く。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション (基本遠隔授業)	
	2	CALL 授業1	CALL教室課題
	3	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 1	(文法テキスト) エクササイズ
	4	CALL 授業2	CALL教室課題
	5	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 2	エクササイズ
	6	CALL 授業3	CALL教室課題
	7	CALL 授業4	CALL教室課題
	8	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 3	エクササイズ
	9	CALL 授業5	CALL教室課題
	10	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 4	エクササイズ
	11	CALL 授業6	CALL教室課題
	12	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 5	エクササイズ
	13	CALL 授業7	CALL教室課題
	14	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 6	エクササイズ
	15	中間テスト (プレゼンテーション)	CALL教室課題
	16	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 7	エクササイズ
	17	CALL 授業9&10	CALL教室課題
	18	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 8	エクササイズ
	19	CALL 授業	CALL教室課題
	20	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 9	エクササイズ
	21	CALL 授業10	CALL教室課題
	22	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 10	エクササイズ
	23	CALL 授業11	CALL教室課題
	24	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 1 1	エクササイズ
	25	CALL 授業12	CALL教室課題
	26	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 1 2	エクササイズ
	27	CALL 授業13	CALL教室課題
	28	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 1 3	エクササイズ
	29	CALL 授業14	CALL教室課題
30	期末テスト(プレゼンテーション)		
31	解説		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. マーフィーのケンブリッジ英文法 初級編 第3版 (ISBN 978-4-88996-765-4) (購入必要) 2. (CALL教室ではソフト教材のため購入必要なテキストはありません)
	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業初日のオリエンテーションに出席できない場合は受講できない場合があります (やむを得ない事情で初日欠席する場合は事前にitokazu@okilc.orgまで連絡する) 2 目標: 全員が英検準2級~英検2級取得を目指す。(英語でのやり取りが基本) 3 授業を休む場合はやむを得ない事情以外は必ず事前に連絡する事 (ディスカッションなど参加型の授業なので休みが多い学生は評価が低くなります) 4 期末試験以外に、単語クイズ、プレゼンテーション (1~2回) 予定 5 頻繁な遅刻、授業態度 (私語やいねむり) の悪い生徒は退室となる場合があるので注意。
	<p>評価</p> <p>Call教室視聴覚教材の課題20%、ミニテスト 20%、中間プレゼンテーション20%、期末プレゼンテーション20%、教科書のエクササイズからの課題10%、グループワークの際の貢献、態度10%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>基本的な文法や語彙力、表現力を身に着け、来年必修となるessay writingに備える。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月1・木1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	山川 満夫 [企業システム]	1年	myamakawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	スピーキング力とリスニング力の育成を中心に、英語の基礎力アップを目指します。Warm-Up活動等では中学・高校での既習事項を振り返りながら、インターアクティブ（双方向）な授業展開をしますので、積極的な発言が望まれます。	中学校教諭としての現場での経験を活かし、英語の基礎的事項から指導しますので、英語に苦手意識を持っている方にとっても、学び直す絶好のチャンスです。一緒に英語を勉強しましょう。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な英文を聞いて、内容を理解することができる。 ・身近な事柄について、英語を使って話すことができる。 ・英語に対して興味・関心を高め、さらに学び続ける意欲を持つようになる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	英語の基礎力養成 1	英語による自己紹介の練習
	3	Viva! San Francisco Ch.1	役立つ英語表現（1）の暗唱
	4	英語の基礎力養成 2	English Ace Unit 1の復習
	5	Viva! San Francisco Ch.2他	役立つ英語表現（2）の暗唱
	6	英語の基礎力養成 3	English Ace Unit 2の復習
	7	Viva! San Francisco Ch.3他	役立つ英語表現（3）の暗唱
	8	英語の基礎力養成 4	English Ace Unit 3の復習
	9	Viva! San Francisco Ch.4他	役立つ英語表現（4）の暗唱
	10	英語の基礎力養成 5	English Ace Unit 4の復習
	11	Viva! San Francisco Ch.5他	役立つ英語表現（5）の暗唱
	12	英語の基礎力養成 6	English Ace Unit 5の復習
	13	Viva! Ch.1～5総まとめ（テスト）	役立つ英語表現の総復習
	14	英語の基礎力養成 7	English Ace Unit 6の復習
	15	Viva! San Francisco Ch.6他	役立つ英語表現（6）の暗唱
	16	英語の基礎力養成 1～7（中間点検）	English Ace Unit 1～6の総復習
	17	Viva! San Francisco Ch.7他	役立つ英語表現（7）の暗唱
	18	英語の基礎力養成 8	English Ace Unit 7の復習
	19	Viva! San Francisco Ch.8他	役立つ英語表現（8）の暗唱
	20	スピーチテスト準備	スピーチテスト原稿の作成
	21	Viva! San Francisco Ch.9他	役立つ英語表現（9）の暗唱
	22	スピーチテスト原稿提出	スピーチ原稿の暗唱
	23	Viva! San Francisco Ch.10他	役立つ英語表現（10）の暗唱
	24	英語の基礎力養成 9	English Ace Unit 8の復習
	25	Viva! San Francisco Ch.11他	役立つ英語表現（11）の暗唱
	26	英語の基礎力養成 10	語彙力アップ（1）
	27	Viva! San Franciscoの総まとめ（1）	役立つ英語表現の総復習
	28	英語の基礎力養成 11	語彙力アップ（2）
	29	Viva! San Franciscoの総まとめ（2）	役立つ英語表現の総復習
30	英語の基礎力養成 12	English Ace Unit 1～8の総復習	
31	英語の基礎力養成 8～12（期末点検）	同上	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Viva! San Francisco (ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし) 2. 講師指定の教科書 (オリエンテーション時に連絡する。)
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義への出席確認は、ポータル授業連絡を通して行うので、毎回ポータルの掲示をチェックすること。 ・課題提出等、積極的な態度で挑むように心がけること。 ・講義時間以外にも、指定教材のe-learningを積極的に活用すること。
	<p>評価</p> <p>授業参加度(15%)、中間テスト(30%)、スピーチテスト(20%)、期末テスト(35%)、の結果を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この講義で学んだことを活かし、英語で「書くこと」や「読むこと」の力を高めるために、英語Ⅲ及び英語Ⅳを履修することが望ましい。

※ポリシーとの関連性 今まで学んできた英語を「コミュニケーションの道具」としていかせるよう練習し、「自分でもできる!」という自信をつける。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-中根 佳 [社文・人福]	1年	keistocklin@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	①英語を音で聞いて理解する力、②知っている単語、表現を使って自分の気持ちを簡単な英語で伝える力、を伸ばし、英語への苦手意識を克服する。	「外国に行ってみたいし、留学にも興味がある」が、「英語が話せないから無理」だと思ってしまう学生もいるようです。英語はコミュニケーションの道具です。コミュニケーションは、文法の正しい文章を書き、それをお互いに見せ合うものではありません。英語＝文法というアイデアを一度忘れて授業に参加して下さい。
到達目標	①短いスピーチを聞き、与えられている情報を理解する事が出来る。 ②自分の考えを、簡単な英語で説明する事が出来る。 ③ワードを使用し文書を作成する事が出来る。 ④パワーポイントを使用しながら発表する事が出来る。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画	テーマ	時間外学習の内容
	回		
	1	イントロダクション	シラバスの内容を理解する
	2	スモールスピーチ	スピーチの準備・練習
	3	中間テストについて	スピーチのトピックを決定する
	4	スピーチに使用する文法確認	スピーチの下書き作成・文法確認
	5	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	6	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	7	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	8	スピーチに使用する文法確認	スピーチの下書き作成・文法確認
	9	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	10	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	11	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	12	スピーチの最終確認 (ペア・グループ学習)	スピーチを完成させ練習
	13	中間テスト (スピーチ&リスニング) : Day 1	テストに備える
	14	Extra Credit①	力試し
	15	中間テスト (スピーチ&リスニング) : Day 2	テストに備える
	16	中間テストの振り返り	修正点を考える
	17	期末テストについて	スピーチのトピックを決定する
	18	スピーチに使用する文法確認	スピーチの下書き作成・文法確認
	19	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	20	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	21	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	22	スピーチに使用する文法確認	スピーチの下書き作成・文法確認
	23	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	24	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	25	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	26	スピーチの最終確認 (ペア・グループ学習)	スピーチを完成させ練習
	27	期末テスト (スピーチ&リスニング) : Day 1	テストに備える
	28	Extra Credit②	力試し
	29	期末テスト (スピーチ&リスニング) : Day 2	テストに備える
30	期末テストの振り返り	修正点を考える	
31	まとめ	後期に向けて	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など テキストは使用しません。授業に必要な教材は、すべてプリントで配布します。</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>「履修の心構え」：出欠確認は毎回行います。授業開始のチャイム後30分以内を遅刻とみなし、それ以降はどんな理由があるにせよ欠席としてカウントします。欠席した日の授業内容は必ず次の授業までに自身で確認し、「休んでいたから分からなかった」という事がないようにして下さい。授業中に携帯をいじる、コンピュータ上で授業とは無関係な事をしている等を見つけた場合、即欠席扱いとします。</p> <p>「学びを深めるために」：授業の最初に行うクイズの問題は、必ず前回の授業の内容から出題します。授業に集中ししっかり復習すれば、確実に点数が取れる内容になっています。授業は、ペア・グループワークを使って進めていきます。隣り同士助け合いながら、分からない所をそのままにしないよう学習して下さい。</p>
	<p>評価</p> <p>①各Unitの課題・その他提出物 = 40% ②中間テスト (Speaking) = 20% ③中間テスト (Listening) = 10% ④期末テスト (Speaking) = 20% ⑤期末テスト (Listening) = 10%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>「次のステージ」：映画を英語で見てください。何回か繰り返し見ると、知ってる単語が結構使われている事に気が付きますよ。</p> <p>「関連科目」：英語II、英語III～IV</p>

※ポリシーとの関連性

「リスニング・スピーキング力を重点的に訓練する」と同時に、語彙力や文法力にも力を入れ、総合的な基礎英語力向上を目指す。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	上原 千登勢 [産業情報]	1年	c.uehara@okiu.ac.jp 9号館502号室	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>日常的なトピックやアクティビティを通して、リスニングとスピーキングを中心に、4つの基本スキルに加え、語彙、文法をバランスよく学習する。学生一人一人が英語で伝えたいことを常に意識し、自身に必要な英単語や表現を積極的に学ぶことを期待する。また、ペアワークやグループワークを通して共に学び、英語学習が楽しくできる環境作りを目指す。</p>	<p>【実務経験】2001年から様々な現場で英語講師をしてきた経験を活かし、今まで英語が得意だった学生が更に英語を好きになるようなそんな授業にしていきたいと思っています。出席は必須なので学ぶ体制を整えて授業に積極的に参加してください。See you in class!</p> <p>【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】</p>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 英語で自己紹介ができる。 興味のあることや、身近かな事柄について基礎的な英語を用いて話すことができる。 英語で・クラスメートと協力し合い、学習やアクティビティを進めていくことができる。 タスクを行うための情報収集・問題解決方法を自ら考え、実行できる。 授業以外でも積極的に英語を学び、使う努力をすることを常に心掛ける。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画	テーマ	時間外学習の内容
	回		
	1	オリエンテーション&ガイダンス	シラバスを読む。Unit 1 の予習
	2	Unit 1: Hello!	Unit 1の復習
	3	Unit 1: Hello!	Unit 2の予習
	4	Unit 2: Your world	Unit 2の復習
	5	Unit 2: Your world	Unit 1&2の復習
	6	Unit 1&2: Review Test	Unit 3の予習
	7	Unit 3: All about you	Unit 3の復習
	8	Unit 3: All about you	Unit 3の復習
	9	Unit 3: All about you	Unit 3の復習
	10	Unit 3: Review & Test	Unit 4の予習
	11	Unit 4: Family and friends	Unit 4の復習
	12	Unit 4: Family and friends	Unit 4の復習
	13	Unit 4: Family and friends	Unit 4の復習
	14	Unit 4: Review & Test	Unit 1-4の復習
	15	Unit 1-4 Midterm Exam 中間テスト	Typing準備
	16	Typing Group A (課題)	Typing 準備
	17	Typing Group B (課題)	Unit 5予習
	18	Unit 5: The way I live	Unit 5復習
	19	Unit 5: The way I live	Unit 5の復習
	20	Unit 5: The way I live	Unit 5の復習
	21	Unit 5: Review & Test	Unit 6の予習
	22	Unit 6: Every day	Unit 6の復習
	23	Unit 6: Every day	Unit 6復習
	24	Unit 6: Every day	Unit 7予習
	25	Unit 6: Review & Test	Unit 7の復習
	26	Unit 7: My favorites	Unit 7の復習
	27	Unit 7: My favorites	Unit 7の復習
	28	Unit 7: My favorites	Unit 7の復習
	29	Unit 7: Review & Test	Unit 5-7の復習
30	Unit 5-7: Review & Test	Unit 1-7の復習、期末試験準備	
31	Finals Exam 期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：American Headway Third Edition Level Starter Student Book with Oxford Online Skills：Oxford University Press（朝野書房やアマゾンなどで購入可）</p> <p>参考書・資料など：必要に応じて随時授業で紹介する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に出席することは基本である。全体の1/3以上欠席した時点で単位は認められない。30分以上の遅刻を欠席、また2回の遅刻は1回の欠席とみなす。 ・私語、居眠り、他の教科の宿題など、授業に関係のないことを行った場合欠席扱い、または退室してもらうことがあるので注意してほしい。積極的に授業に取り組み、発言や質問をすること。 ・ほぼ毎回クイズや小テストを行い、学習経過をチェックするので予習・復習は自主的かつ積極的に行うこと。 ・スタディグループを作り、授業以外でも定期的に学習する環境作りをすること。欠席した際、クラスメートより授業内容を教えてもらい、配布物を預かってもらうようにすること。
	<p>評価</p> <p>①授業態度、授業への参加・積極性・貢献度（20%）②中間試験（20%）③期末試験（20%）④課題（20%）⑤クイズ・小テスト・Review&Reflection（20%）を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語Iで学んだことを積極的に活用し、後期の英語IIで応用・活用できるようにしてほしい。また、日常生活でも英語を使うことを心がけ、自分からその機会を作ることが大切である。夏休みという長期の休みを利用して英検やTOEICと言った英語の資格試験にチャレンジしたり、海外旅行をしたり国際ボランティア活動にも参加するのも良い経験になるだろう。</p>

※ポリシーとの関連性 今まで学んできた英語を「コミュニケーションの道具」としていかせるよう練習し、「自分でもできる!」という自信をつける。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-中根 佳 [経済]	1年	keistocklin@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	①英語を音で聞いて理解する力、②知っている単語、表現を使って自分の気持ちを簡単な英語で伝える力、を伸ばし、英語への苦手意識を克服する。	「外国に行ってみたいし、留学にも興味がある」が、「英語が話せないから無理」だと思ってしまう学生もいるようです。英語はコミュニケーションの道具です。コミュニケーションは、文法の正しい文章を書き、それをお互いに見せ合うものではありません。英語＝文法というアイデアを一度忘れて授業に参加して下さい。
到達目標	①短いスピーチを聞き、与えられている情報を理解する事が出来る。 ②自分の考えを、簡単な英語で説明する事が出来る。 ③ワードを使用し文書を作成する事が出来る。 ④パワーポイントを使用しながら発表する事が出来る。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	イントロダクション	シラバスの内容を理解する
	2	スモールスピーチ	スピーチの準備・練習
	3	中間テストについて	スピーチのトピックを決定する
	4	スピーチに使用する文法確認	スピーチの下書き作成・文法確認
	5	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	6	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	7	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	8	スピーチに使用する文法確認	スピーチの下書き作成・文法確認
	9	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	10	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	11	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	12	スピーチの最終確認 (ペア・グループ学習)	スピーチを完成させ練習
	13	中間テスト (スピーチ&リスニング) : Day 1	テストに備える
	14	Extra Credit①	力試し
	15	中間テスト (スピーチ&リスニング) : Day 2	テストに備える
	16	中間テストの振り返り	修正点を考える
	17	期末テストについて	スピーチのトピックを決定する
	18	スピーチに使用する文法確認	スピーチの下書き作成・文法確認
	19	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	20	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	21	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	22	スピーチに使用する文法確認	スピーチの下書き作成・文法確認
	23	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	24	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	25	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	26	スピーチの最終確認 (ペア・グループ学習)	スピーチを完成させ練習
	27	期末テスト (スピーチ&リスニング) : Day 1	テストに備える
	28	Extra Credit②	力試し
	29	中間テスト (スピーチ&リスニング) : Day 2	テストに備える
30	期末テストの振り返り	修正点を考える	
31	まとめ	後期へむけて	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など テキストは使用しません。授業に必要な教材は、すべてプリントで配布します。</p>
学びの 実践	<p>学びの手立て</p> <p>「履修の心構え」：出欠確認は毎回行います。授業開始のチャイム後30分以内を遅刻とみなし、それ以降はどんな理由があるにせよ欠席としてカウントします。欠席した日の授業内容は必ず次の授業までに自身で確認し、「休んでいたから分からなかった」という事がないようにして下さい。授業中に携帯をいじるなど授業とは無関係な事を行っている等を見つけた場合、即欠席扱いとします。</p> <p>「学びを深めるために」：授業の最初に行うクイズの問題は、必ず前回の授業の内容から出題します。授業に集中ししっかり復習すれば、確実に点数が取れる内容になっています。授業は、ペア・グループワークを使って進めていきます。隣り同士助け合いながら、分からない所をそのままにしないよう学習して下さい。</p>
	<p>評価</p> <p>①各Unitの課題・その他提出物 = 40%</p> <p>②中間テスト (Speaking) = 20%</p> <p>③中間テスト (Listening) = 10%</p> <p>④期末テスト (Speaking) = 20%</p> <p>⑤期末テスト (Listening) = 10%</p>
学びの 継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>「次のステージ」：映画を英語で見てください。何回か繰り返し見ると、知ってる単語が結構使われている事に気が付きますよ。</p> <p>「関連科目」：英語II、英語III～IV</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	井上 泉[社文・人福]	1年	授業終了後に原則受け付けますが、アポをとってのコンサルテーションも受け付けます。	

学びの準備	ねらい スピーキングとリスニング力を中心とした、実生活で使える英語のコミュニケーション力アップを目指します。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】	メッセージ 英語コミュニケーションの基本は、間違いを恐れずに英語を話すことです。私自身の海外生活でのエピソードを交えつつ、皆さんに英語圏でのいろいろな場面で英語を使った仮想体験をしてもらいます。英語はつまらないものでも難しいものでもなく、楽しいものなんだ！と感じてもらえれば幸いです。特例授業となりますが、通常の授業とそんな色ない設計をしていますので、安心してください。
	到達目標 * 自分について・相手について・お互いに興味のあることに関する情報を英語で共有できる * 英語圏に渡航した際に最低限必要なコミュニケーションを図れる * 英語を用いて異文化への理解に積極的に取り組める * グループメンバーとの協働活動を通して、実生活での英語コミュニケーションを図れる	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	[特]Introduction/	翌週の予習
	2	[特]In My Life (IML) Self-introduction	翌週の予習
	3	[特][VSF] Chap 1	翌週の予習、振り返りダイアリー
	4	[特][IML] My hobbies...	翌週の予習
	5	[特][VSF] Chap 2	翌週の予習、振り返りダイアリー
	6	[特][IML] My recent activities	翌週の予習
	7	[特][VSF] Chap 3	翌週の予習、振り返りダイアリー
	8	[特][IML] My past	翌週の予習
	9	[特][VSF] Chap 4	翌週の予習、振り返りダイアリー
	10	[特][IML] My family	翌週の予習
	11	[特][VSF] Chap 5	翌週の予習、振り返りダイアリー
	12	[特][IML] My friends	翌週の予習
	13	[特][VSF] Chap 6	翌週の予習、振り返りダイアリー
	14	[特]VSF review (クイズ1)	クイズ準備
	15	[特]IML review (クイズ2)	クイズ準備、振り返りダイアリー
	16	[特][VSF] Chap 7	翌週の予習
	17	[特][IML] My weekly schedule	翌週の予習、振り返りダイアリー
	18	[特][VSF] Chap 8	翌週の予習
	19	[特][IML] My free time	翌週の予習、振り返りダイアリー
	20	[特][VSF] Chap 9	翌週の予習
	21	[特][IML] My hometown and neighborhood	翌週の予習、振り返りダイアリー
	22	[特][VSF] Chap 10	翌週の予習
	23	[特][IML] My home	翌週の予習、振り返りダイアリー
	24	[特][IML] My hopes and dreams	翌週の予習
	25	[特][IML] My upcoming plans	翌週の予習、振り返りダイアリー
	26	[特]Group presentation 準備	プレゼン準備
	27	[特]Group presentations 1	プレゼン準備、ピア・自己評価
	28	[特]Group presentations 2	プレゼン準備ピア・自己評価
	29	[特]Group presentations 3	プレゼン準備ピア・自己評価
30	[特]Group presentations 4	テスト準備	
31	[特]Wrap up, End-semester exam 準備		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>*指定教科書：①In My Life：Strategies for Personal Communication (Macmillan; 学内書店にて購入要; ¥2285)</p> <p>②Viva! San Francisco (Macmillan; LMS教材のため、購入不要)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> - 講義への出欠は、評価対象となるとともに、毎回確認を行います。妥当かつやむを得ない理由で欠席する際は、事前にメールで連絡してください。 - インタラクティブなアクティビティを多用しますので、毎回積極的な参加姿勢が求められます。Q67
	<p>評価</p> <p>1. 授業への参加姿勢10% 2. 学修の振り返り・タスクへの取り組み 30% 3. 中間テスト 15% 4. グループプロジェクト15% 5. 期末テスト 30%</p> <p>詳細については、第1回の講義にてunit outlineを配布して、お知らせします。熟読してください。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>本教科で学んだことを踏まえ、英語IIを履修し応用しましょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-真喜志 満 [社文・人福]	1年	ptt040@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>“普通教室では、「つぶやき英語トレーニング(七田 真監修)」の手法を用いて、日常頻繁に使われる基礎的な英語表現を考えなくても自然に口をついて出てくるようになるまで演習を行う。CALL教室では、既存の教材“Viva! San Francisco”と洋楽にITを導入・活用して、4技能を総合的に高めるよう演習する。さらに、英文法のポイントを学ぶ。”</p>	<p>必要な教材はLearning Management System(LMS)に掲載し、準備する。そのアクセスや使い方などの詳細は、初回のガイダンスで説明する。学生はインターネットの環境があれば、いつでもどこでもそこにアクセスして予習・復習を行う。また欠席した場合には、自分でLMSにアクセスして学習し、期末テストなどに備えること。</p>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ サバイバルから英検2級程度までの英語力を身につけることができる。 ・ 海外に出かけても、いろんな場面で困らない英語表現が身につく。 ・ 日本人の苦手な発音を克服する。 ・ 英語4技能(とくにヒアリング)がさらに向上する。 ・ e-learning systemやITを活用した英語学習ができるようになる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		時間外学習の内容
	回	テーマ	
	1	コースガイダンス e-learning編	シラバスをよく読むこと
	2	コースガイダンス つぶやき英語編	LMSをよく読むこと
	3	Viva Ch. 1、洋楽#01 座席指定。 洋楽穴埋めテスト注意点	Vivaの練習問題をLMSで解く
	4	つぶやきS4 座席確認。 ペア練習の練習。 <5文型>	LMSを使って学習する
	5	Viva Ch. 2、 洋楽#02 ①洋楽テスト#01	Vivaの練習問題をLMSで解く
	6	つぶやきS6 ①つぶやきテストS4	LMSを使って学習する
	7	Viva Ch. 3、 洋楽#03 ②洋楽テスト#02	Vivaの練習問題をLMSで解く
	8	つぶやきS7 ②つぶやきテストS6	LMSを使って学習する
	9	Viva Ch. 4、 洋楽#04 ③洋楽テスト#03	Vivaの練習問題をLMSで解く
	10	つぶやきS10 ③つぶやきテストS7	LMSを使って学習する
	11	Viva Ch. 5、 洋楽#05 ④洋楽テスト#04	Vivaの練習問題をLMSで解く
	12	つぶやきS13 ④つぶやきテストS10	LMSを使って学習する
	13	特別講義 I ⑤洋楽テスト#05	Vivaの練習問題をLMSで解く
	14	特別講義 I ⑤つぶやきテストS13 採点済返却、 RT集計、 追試確認、 <PrefixとSuffix>	LMSを使って学習する
	15	追試セッション I 前半洋楽テスト5回分・・・洋楽#01～#05	Vivaの練習問題をLMSで解く
	16	追試セッション I 前半つぶやきテスト5回分・・・S4, S6, S7, S10, S13	LMSを使って学習する
	17	Viva Ch. 6、 洋楽#06 VivaSF集計+中間成績+合唱演習1曲 + VivaSF自習	Vivaの練習問題をLMSで解く
	18	つぶやきS14 <Root>について	LMSを使って学習する
	19	Viva Ch. 7、 洋楽#07 ⑥洋楽テスト#06	Vivaの練習問題をLMSで解く
	20	つぶやきS17 ⑥つぶやきテストS14	LMSを使って学習する
	21	Viva Ch. 8、 洋楽#08 ⑦洋楽テスト#07	Vivaの練習問題をLMSで解く
	22	つぶやきS18 ⑦つぶやきテストS17	LMSを使って学習する
	23	Viva Ch. 9、 洋楽#09 ⑧洋楽テスト#08	Vivaの練習問題をLMSで解く
	24	つぶやきS20 ⑧つぶやきテストS18	LMSを使って学習する
	25	Viva Ch. 10、 洋楽#10 ⑨洋楽テスト#09	Vivaの練習問題をLMSで解く
	26	つぶやきS22 ⑨つぶやきテストS20	LMSを使って学習する
	27	特別講義 II ⑩洋楽テスト # 10	Vivaの練習問題をLMSで解く
	28	特別講義 II ⑩つぶやきテストS22 採点済返却、 RT集計、 追試確認、 Jアンケート	LMSを使って学習する
	29	追試セッション II 後半洋楽テスト5回分・・・洋楽#06～#10 洋楽帳票集計 最終成績確認	これまでの復習を行う
30	追試セッション II 後半つぶやきテスト5回分・・・ S14, S17, S18, S20, S22	これまでの復習を行う	
31	特別講義 III 追試調整 + 成績発表 + 総合演習	これまでの復習を行う	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>毎回教材をLMS経由で配布する。教材すべてはLearning Management System (LMS)にアップロードする。英和・和英・英英辞典、あるいは電子辞書、英文法書、インターネット上の文献・ホームページなど。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>e-learning教材を学習する際には、必ず“microsoft internet explorer”からLMSに入ること。間違っほかのブラウザから入って学習すると、成績記録が残らないので注意する。“Viva San Francisco”は、各章2部ごとに分かれているが、後半の“Face The Camera”の練習問題も解くこと。間違っ場合は何度もチャレンジし、各設問で満点が取れるまで問題を解くこと。なお欠席する場合は所定の欠席届けに習い、事前に無理な場合は後日できるだけ早い時期にメールすること。</p>
	<p>評価</p> <p>期末試験 35%、宿題(Viva SFの自主学習) 45%、授業参加度 20%、その他+/- 5%。なお、「その他」とは授業態度や授業への貢献度などが総合的に加味される評価である。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>このコースで扱った洋楽はラジオなどでよく流れる曲なので、曲が流れるたんに英語を意識して復習し、また好きな人はカラオケなどでくりかえし歌って曲の中の英語をすべて自分のものにして、楽しく英語を学んでほしい。さらに英文法も知識が欠けたところは、よく復習してほしい。本学の豊富なe-learning教材也大いに活用し、最後の実力テストを意識して学んでほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-松田 順子 [経済]	1年	クラスにて、または沖国大ポータルのG-mailを活用して連絡を取り合う。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>大学生にとっての日常生活における身近な場面に焦点をあて、英語の4技能をバランスよく学習する。実用性の高い教材を用いて、臨場感あふれる、生き生きとした表現を習得することを目指す。中学・高校を通して学んだ英語のスキルを整理し、実生活（日常・職場）において活用できるようにすることを目標とする。</p>	<p>本来なら、教室でペアを組んで練習をする等の積極的な参加を呼びかけるところだが、新型コロナ・ウイルス感染防止の観点から、それは難しいこととなることが予想される。会話の練習に関しては工夫していきたい。英語が得意な学生も苦手な学生も、楽しみながら、英語を今後の生活に活かすことを目指してほしい。（授業計画の内容は変更することもあるので、連絡事項をまめに確認すること）</p>
到達目標	<p>1) 日常生活のあらゆる場で使われる英語の①語彙、②表現、③文法、④音声、⑤英米の文化的側面について学ぶ。 2) 英語を使って自分の考えなどを表現できる。 3) 英語で表現された資料や告知文などを理解し、実生活に役立てることができる。 4) 他の人の意見を聞き、時にはアドバイスをしたり、自分の考えを示したりして、協力・共存できるような英語のコミュニケーション能力を高める。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスの確認
	2	『出会うの場面』の会話を読む・聞き取る	『出会うの場面』の会話
	3	Unit 1: 自己紹介の英文を読む・書く	自己紹介の英文を書く (1)
	4	Unit 1: 自己紹介・自分の名前の由来を英語で書く	自己紹介の英文を書く (2)
	5	英語の文法の基礎問題に取り組む	基礎問題にチャレンジする
	6	Viva! San Francisco : Chapter 1	Getting information
	7	Unit 2: 家族・ペット!	ペットにまつわる英語表現
	8	Viva! San Francisco : Chapter 2	Checking in at a hotel
	9	Unit3: 趣味	趣味にまつわる英語表現
	10	Viva! San Francisco : Chapter 3	Asking for direction
	11	Unit 4: 大学生活	アルバイト・クラブ活動について
	12	Viva! San Francisco : Chapter 4	Renting a car
	13	Unit 5: 食べ物	食べ物にまつわる英語表現
	14	Viva! San Francisco : Chapter 5	Ordering a meal
	15	Unit 6: コンサート	コンサートにまつわる英語表現
	16	Viva! San Francisco 1~5 および 配布課題Unit 1~6のまとめ	前期前半まとめ
	17	中間試験	前期前半まとめ
	18	Viva! San Francisco : Chapter 6	Shopping for clothes
	19	Unit 7: 道案内	行き方や道を尋ねる・教える
	20	Viva! San Francisco : Chapter 7	Asking for a favor
	21	Unit 8: 日本文化紹介	観光にまつわる英語表現
	22	Viva! San Francisco : Chapter 8	Meeting a friend
	23	Unit 9: ジェスチャー	夏休みの計画をたてる
	24	San Francisco : Chapter 9	Checking out of a hotel
	25	Unit 10: 観光案内	外国人観光客をサポートする
	26	San Francisco : Chapter 10	Expressing preference
	27	Unit 11: 航空券をNetでGet	旅行にまつわる英語表現
	28	Unit 12: E-mailを送る	e-mailを英語で記す
	29	Viva! San Francisco 6~10 および 配布課題Unit 7~12のまとめ	前期後半のまとめ
30	期末試験 (1)	前期後半のまとめ	
31	期末試験 (2)	試験の解答&前期のまとめ	

	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：①Forerunner to Power-Up English (南雲堂 ¥1900)</p> <p>② Viva! San Franciscoおよびハンドアウト資料・教材 (この教材に関しては購入の必要なし)</p>
<p>学 び の 実 践</p>	<p>学びの手立て</p> <p>① 3分の1 (10回) 以上欠席すると、単位を取得することはできない。</p> <p>② 毎回クラスのはじめに前回の復習としてミニ・クイズを実施するので、遅刻しないように。</p> <p>③ 辞書を活用する習慣を身につける。</p> <p>④ 質問はおおいに歓迎する。</p>
	<p>評価</p> <p>1) 毎回のミニ・クイズや質問・発表などのクラスへの貢献度：60%</p> <p>2) 中間・期末試験：40%</p>
<p>学 び の 継 続</p>	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語 Iを通して学んだ知識や、辞書を活用するなど、語学を学習するために役立つ習慣等を日常生活で実践するよう心がける。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水 1・金 1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-島村 麗[産業情報]	1 年	*Phone : 080-3968-8867 E-mail : ptt929@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>文法にとらわれず、比較的優しい英語を使って世界の人々とのコミュニケーションをとれるように学習する。英語圏での留学を希望する学生の生活体験英語や、日常的に英語で対話できるようになることを目的とする。また、将来外国旅行や外国での生活に役立てるように映像を利用してlistening の力を付けることも目標とする。</p>	<p>中学・高校を通して、学校ではあまり英語を話すチャンスを与えられていないので、この授業では、日常生活における基本的な英語の学習を中心に進めていきたい。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】</p>

到達目標	この授業を通年に渡り履修することによって、基礎的な英語から学習し、自己アピールや外国人とのコミュニケーションの方法を身に付けていく。卒業後の就職にも役に立つような実践的な英語習得を目標とする。
------	--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation (授業形態・テキスト紹介) / 講師自己紹介	特になし
	2	Unit 01 (Meeting New People)	Unit 01の予習
	3	Review Unit 01	Homework
	4	Unit 02 (School Life)	Unit 02の予習
	5	Review Unit 02	Homework
	6	Unit 03 (Seeing a Doctor)	Unit 03の予習
	7	Review Unit 03	Homework
	8	Unit 04 (Expressing Yourself)	Unit 04の予習
	9	Review Unit 04	Homework
	10	Unit 05 (Getting Around)	Unit 05の予習
	11	Review Unit 05	Homework
	12	Unit 06 (Talking about the time)	Unit 06の予習
	13	Review Unit 06	Homework
	14	REVIEW I (Unit 01~06)	Review Unit 01~06
	15	Unit 07 (Eating Out)	Unit 07の予習
	16	Review Unit 07	Homework
	17	Unit 08 (At the Supermarket)	Unit 08の予習
	18	Review Unit 08	Homework
	19	Unit 09 (Hobbies)	Unit 09の予習
	20	Review Unit 09	Homework
	21	Unit 10 (Stop Till You Drop)	Unit 10の予習
	22	Review Unit 10	Homework
	23	Unit 11 (Going on Vacation)	Unit 11の予習
	24	Review Unit 11	Homework
	25	Unit 12 (Sports)	Unit 12の予習
	26	Review Unit 12	Homework
	27	REVIEW 2 (Unit 07~1 2)	Review Unit 07~12
	28	English Listening Practice (英検問題 : 3級&準 2級)	Review Listening Practice
	29	English Reading Practice (英検問題 : 3級&準 2級)	Review Reading Practice
30	English Writing Practice (英検問題 : 3 級&準 2 級)	Review Writing Practice	
31	Final Exam (Text Unit 01~1 2)	Review the Final Exam	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など Text : Live Escalate (Base Camp)Book 1: SEIBIDO 出版 ¥2,500</p>
	<p>学びの手立て テキストを中心に、予習・復習をすること。テキストには授業で使用するDVDが付属されているので、PCを利用して事前に授業内容を把握して、質問等を準備して授業に臨むことで、英語で聞くこと、英語で考える力を養う。また、miniconversation の部分は暗記するくらいくり返し練習することが望ましい。</p>
	<p>評価 (1) 平常点 (10%) (2) 各unit の Homework (40%) (3) Final Exam (50%) *以上、(1) ~ (3) を総合して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 この授業では、大学生活における日常英語を通して学び、実践的な英語を身に着けることを目標とするが、次への関連科目としては、自己や、自国の諸事情を英語を通して他に伝えることができるような学習を目標とする。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月1・木1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-芦峰 隆章 [企業システム]	1年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい 英文法の基礎を理解したうえで、英語の4技能のうち特に「聴く」、「話す」の技能向上を目指して学習していく。 ブロークンではない、正しい英語で書いたり話したりできるようにする。	メッセージ 中学校・高校で学んだ文法の復習をしながら様々なテーマについて英語で視聴、発信、記述していきます。「継続は力なり。」です。休まずに、コツコツと勉強していきましょう。【プレイメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 ①様々な状況で取り交わされる英語の内容を聴き取ることができる。 ②英語で日常会話ができ、自分の考えや意見を英語で伝達することができる。 ③会話文を英語で書くことができる。 ④平易な短い英文を読み、その内容を的確に理解し、読解の質問に対して、日本語でも英語でも答えることができる。	

学びの準備	到達目標 ①様々な状況で取り交わされる英語の内容を聴き取ることができる。 ②英語で日常会話ができ、自分の考えや意見を英語で伝達することができる。 ③会話文を英語で書くことができる。 ④平易な短い英文を読み、その内容を的確に理解し、読解の質問に対して、日本語でも英語でも答えることができる。
-------	--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス + Unit1(1) : Friends and Family (Be動詞現在形肯定文、疑問文)	Unit1 Review1
	2	Unit1(2) : Friends and Family	Unit1 Review2
	3	Unit1(3) : Friends and Family	Unit1 Review3
	4	Unit1(4) : Friends and Family	Unit1 Review4
	5	Unit2(1) : Jobs around the World (Be動詞現在形否定文、不定冠詞)	Unit2 Review1
	6	Unit2(2) : Jobs around the World	Unit2 Review2
	7	Unit2(3) : Jobs around the World	Unit2 Review3
	8	Unit2(4) : Jobs around the World	Unit2 Review4
	9	Unit3(1) : Houses and Apartments (There is/There are構文、場所を表す前置詞)	Unit3 Review1
	10	Unit3(2) : Houses and Apartments	Unit3 Review2
	11	Unit3(3) : Houses and Apartments	Unit3 Review3
	12	Unit3(4) : Houses and Apartments	Unit3 Review4
	13	中間テスト	オフ日
	14	Unit4(1) : Possessions (指示詞、所有格、Have/Has)	Unit4 Review1
	15	Unit4(2) : Possessions	Unit4 Review2
	16	Unit4(3) : Possessions	Unit4 Review3
	17	Unit4(4) : Possessions	Unit4 Review4
	18	English Special Program	ESP Review
	19	Unit5(1) : Daily Activities (現在形、頻度を表す副詞、命令文)	Unit5 Review1
	20	Unit5(2) : Daily Activities	Unit5 Review2
	21	Unit5(3) : Daily Activities	Unit5 Review3
	22	Unit5(4) : Daily Activities	Unit5 Review4
	23	Unit6(1) : Getting Around (道案内、Have to)	Unit6 Review1
	24	Unit6(2) : Getting Around	Unit6 Review2
	25	Unit6(3) : Getting Around	Unit6 Review3
	26	Unit6(4) : Getting Around	Unit6 Review4
	27	Unit7(1) : Free Time (現在進行形、能力を表すCan)	Unit7 Review1
	28	Unit7(2) : Free Time	Unit7 Review2
	29	Unit7(3) : Free Time	Unit7 Review3
30	Unit7(4) : Free Time	Unit7 Review4	
31	期末テスト	オフ日	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など WORLD ENGLISH Intro (Third Edition) NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING, 3,000円</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>(1) 極力遅刻、欠席をしないこと。 (2) 常に生産的学習に取り組むこと。あなたの熱意は授業への参加度に反映されます。 (3) 毎回辞書を持参すること。(電子辞書でもよい。) (4) 提出すべき課題は、提出期限を守ること。 (5) グループ学習の際には、互いに協力し合って、積極的に取り組むこと。</p>
	<p>評価</p> <p>中間・期末テスト・・・60% (上記の到達目標の①、④を評価) 英会話テスト・・・20% (上記の到達目標の②、③を評価) 授業への参加度・・・20% (上記の到達目標の①、②、③、④を評価)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>継続して1年生必修の英語Ⅱを履修してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-上里 博美 [法律・地行]	1年	大学メールで受け付けます。メールアドレスは授業でお知らせします。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>リスニング力とスピーキング力の向上を目指し“発音”、“音読”に力を入れ「使える」英語を身につける。英語の基本的文法事項や表現の振り返りを行い、語彙力を高め聴き取りに活かし、リスニング力を高める。同時に英文音読を積極的に行い、英語を話す、使ってみる機会を増やし、英語運用能力を高める。</p>	<p>言語を学ぶということは、とても基本的な事、その言語を「聴く」「話す」「書く」「読む」を具体的に身体を使って繰り返す事です。それらの活動ができる場が授業です。授業を大いに活用し、英語を多用する機会を大切にしてください。オンライン授業では周りを気にせず集中してできる利点があります。そうすることで皆さんが日本語を学んできたように、英語も着実に身につけて来るはずですよ。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 易しい内容の英語を聞いて理解できる。 2. 自分の事を英語で伝えることができる。 3. 身近なことや自分の興味関心のあることを英語で表現できる。 4. 英語学習においてインターネットを効果的に活用できる。 5. 英語学習を通して国際的な視野を広げることができる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		時間外学習の内容
	回	テーマ	
	1	(特)オリエンテーション、自己紹介	授業の内容、進度、約束事等の確認
	2	(特) Viva San Francisco Chapter 1, Text Unit 1 Vocabulary	語彙、会話表現確認復習、語彙調べ
	3	(特) Text: Unit 1 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	基本文表現確認、聴解・音読練習
	4	(特) Viva San Francisco Chapter 2, Text Unit 2 Vocabulary	語彙、会話表現確認復習、語彙調べ
	5	(特) Text: Unit 1 (Grammar, Reading, Writing)	語彙・文法・読解・英作文確認
	6	(特) Unit 1 Review Test, DVD鑑賞, English in News, English Songs	U1復習、日常表現確認、聴解
	7	(特) Text: Unit 2 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	基本文表現確認、聴解・音読練習
	8	(特) Viva San Francisco Chapter 3, Text Unit 3 Vocabulary	語彙、会話表現確認復習、語彙調べ
	9	(特) Text: Unit 2 (Grammar, Reading, Writing)	語彙・文法・読解・英作文確認
	10	(特) Viva San Francisco Chapter 4, Unit 2 Review Test, Text Unit 4 Vocabulary	U2復習、表現確認復習、語彙調べ
	11	(特) Text: Unit 3 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	基本文表現確認、聴解・音読練習
	12	(特) Viva San Francisco Chapter 5, BBC Documentary "Water" Vocabulary	語彙、会話表現確認復習、語彙調べ
	13	(特) Text: Unit 3 (Grammar, Reading, Writing)	語彙・文法・読解・英作文確認
	14	(特) Unit 3 Review Test, DVD鑑賞, English in News, English songs	U3復習、日常表現確認、聴解
	15	(特) 中間テスト,	Unit 1~3, VSF 1~5復習
	16	(特) 中間テスト見返し, "Water" Vocabulary Practice and Preview, Text Unit 5 Vocabulary	中間見返し、発音練習、語彙調べ
	17	(特) Text: Unit 4 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	基本文表現確認、聴解・音読練習
	18	(特) "Water" Vocabulary Practice, Exercise and Check Test	語彙、表現確認、聴解練習
	19	(特) Text: Unit 4 (Grammar, Reading, Writing)	語彙・文法・読解・英作文確認
	20	(特) VSF Chapter 6, Unit 4 Review Test, World Heritage "Grand Canyon" Vocabulary	語彙、会話表現確認復習、U4復習
	21	(特) Text: Unit 5 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	基本文表現確認、聴解・音読練習
	22	(特) VSF Chapter 7, "Grand Canyon" Vocabulary Practice, Research on "Grand Canyon"	語彙、会話表現確認復習、発音練習
	23	(特) Text: Unit 5 (Grammar, Reading, Writing),	語彙・文法・読解・英作文確認
	24	(特) Viva San Francisco Chapter 8, Unit 5 Review Test, Text Unit 7 Vocabulary	語彙、会話表現確認復習、語彙調べ
	25	(特) "Grand Canyon" Vocabulary Practice, Exercise and Check Test	語彙、表現確認、聴解練習
	26	(特) Viva San Francisco Chapter 9, TED Talk	語彙、会話表現確認復習、聴解
	27	(特) Text: Unit 7 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language focus)	基本文表現確認、聴解・音読練習
	28	(特) Viva San Francisco Chapter 10, English in News	語彙、会話表現確認復習、時事英語
	29	(特) Text: Unit 7 (Grammar, Reading, Writing)	語彙・文法・読解・英作文確認
30	(特) Unit 7 Review Test, 英語 I 振り返り, DVD鑑賞, English Songs	U7復習、英語 I 振り返り、聴解等	
31	(特) 期末テスト	期末テストに備える	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指定教科書あり、授業で連絡します。 2. Viva San Francisco はラボ室教材のため購入する必要なしです。 3. 授業課題とその正解・解説を綴るファイルを準備して下さい。 4. 課題は Word, オンライン授業は Teams を使って行います。
	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 遅刻、欠席はしないこと(授業連絡既読で出席です、詳細はオリエンテーションでお知らせします)。 ② 授業(課題)には必ず辞書を準備し多用すること。 ③ 課題等は期限を守って提出すること。 ④ 教科書や教材の音源を使い積極的に音読すること。 ⑤ 時間管理を行い各自の責任で課題、復習をする時間確保すること(2単位は60時間の自主学習必要)。 <p>*シラバスは学習状況により変更の可能性あります。</p>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中間・期末テスト (30%) ・ 課題・復習・確認テスト (30%) ・ Viva San Francisco (25%) ・ 課題等提出、授業参加態度等 (15%)
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語Iでの学びを基礎に、英語IIでさらなる基礎力強化を目指して下さい。そして将来的に自発的に学べる姿勢を身につけ、英語でも自分のやりたい事ができる状況を築いて下さい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水4・土3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-芦峰 隆章 [日文]	1年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい 英文法の基礎を理解したうえで、英語の4技能のうち特に「聴く」、「話す」の技能向上を目指して学習していく。 ブロークンではない、正しい英語で書いたり話したりできるようにする。	メッセージ 中学校・高校で学んだ文法の復習をしながら様々なテーマについて英語で視聴、発信、記述していきます。「継続は力なり。」です。休まずに、コツコツと勉強していきましょう。【プレイメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 ①様々な状況で取り交わされる英語の内容を聴き取ることができる。 ②英語で日常会話ができ、自分の考えや意見を英語で伝達することができる。 ③会話文を英語で書くことができる。 ④平易な短い英文を読み、その内容を的確に理解し、読解の質問に対して、日本語でも英語でも答えることができる。	

学びの準備	到達目標 ①様々な状況で取り交わされる英語の内容を聴き取ることができる。 ②英語で日常会話ができ、自分の考えや意見を英語で伝達することができる。 ③会話文を英語で書くことができる。 ④平易な短い英文を読み、その内容を的確に理解し、読解の質問に対して、日本語でも英語でも答えることができる。
-------	--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス + Unit1(1) : Friends and Family (Be動詞現在形肯定文、疑問文)	Unit1 Review1
	2	Unit1(2) : Friends and Family	Unit1 Review2
	3	Unit1(3) : Friends and Family	Unit1 Review3
	4	Unit1(4) : Friends and Family	Unit1 Review4
	5	Unit2(1) : Jobs around the World (Be動詞現在形否定文、不定冠詞)	Unit2 Review1
	6	Unit2(2) : Jobs around the World	Unit2 Review2
	7	Unit2(3) : Jobs around the World	Unit2 Review3
	8	Unit2(4) : Jobs around the World	Unit2 Review4
	9	Unit3(1) : Houses and Apartments (There is/There are構文、場所を表す前置詞)	Unit3 Review1
	10	Unit3(2) : Houses and Apartments	Unit3 Review2
	11	Unit3(3) : Houses and Apartments	Unit3 Review3
	12	Unit3(4) : Houses and Apartments	Unit3 Review4
	13	中間テスト	オフ日
	14	Unit4(1) : Possessions (指示詞、所有格、Have/Has)	Unit4 Review1
	15	Unit4(2) : Possessions	Unit4 Review2
	16	Unit4(3) : Possessions	Unit4 Review3
	17	Unit4(4) : Possessions	Unit4 Review4
	18	English Special Program	ESP Review
	19	Unit5(1) : Daily Activities (現在形、頻度を表す副詞、命令文)	Unit5 Review1
	20	Unit5(2) : Daily Activities	Unit5 Review2
	21	Unit5(3) : Daily Activities	Unit5 Review3
	22	Unit5(4) : Daily Activities	Unit5 Review4
	23	Unit6(1) : Getting Around (道案内、Have to)	Unit6 Review1
	24	Unit6(2) : Getting Around	Unit6 Review2
	25	Unit6(3) : Getting Around	Unit6 Review3
	26	Unit6(4) : Getting Around	Unit6 Review4
	27	Unit7(1) : Free Time (現在進行形、能力を表すCan)	Unit7 Review1
	28	Unit7(2) : Free Time	Unit7 Review2
	29	Unit7(3) : Free Time	Unit7 Review3
30	Unit7(4) : Free Time	Unit7 Review4	
31	期末テスト	オフ日	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など WORLD ENGLISH Intro (Third Edition) NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING, 3,000円</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>(1) 極力遅刻、欠席をしないこと。 (2) 常に生産的学習に取り組むこと。あなたの熱意は授業への参加度に反映されます。 (3) 毎回辞書を持参すること。(電子辞書でもよい。) (4) 提出すべき課題は、提出期限を守ること。 (5) グループ学習の際には、互いに協力し合って、積極的に取り組むこと。</p>
	<p>評価</p> <p>中間・期末テスト・・・60% (上記の到達目標の①、④を評価) 英会話テスト・・・20% (上記の到達目標の②、③を評価) 授業への参加度・・・20% (上記の到達目標の①、②、③、④を評価)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>継続して1年生必修の英語Ⅱを履修してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-上里 博美 [日文・人福 (2年以上)]	2年	大学メールで受け付けます。メールアドレスは授業でお知らせします。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>リスニング力とスピーキング力の向上を目指し“発音”、“音読”に力を入れ「使える」英語を身につける。英語の基本的文法事項や表現の振り返りを行い、語彙力を高め聴き取りに活かし、リスニング力を高める。同時に英文音読を積極的に行い、英語を話す、使ってみる機会を増やし、英語運用能力を高める。</p>	<p>言語を学ぶということは、とても基本的な事—その言語を「聴く」「話す」「書く」「読む」—を具体的に身体を使って繰り返す事です。それらの活動ができる場が授業です。授業を大いに活用し、英語を多用する機会を大切にしてください。オンラインでは周りを気にせず集中してできる利点があります。そうすることで皆さんが日本語を学んできたように、英語も着実に身につけて来るはずですよ。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 易しい内容の英語を聞いて理解できる。 2. 自分の事を英語で伝えることができる。 3. 身近なことや自分の興味関心のあることを基本的な英語で表現できる。 4. 英語学習においてインターネットを効果的に活用できる。 5. 英語学習を通して国際的な視野を広げることができる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	(特) オリエンテーション, 自己紹介	授業内容、進度、約束事等の確認
	2	(特) San Francisco Chapter 1, Text Unit 1 Vocabulary	語彙、会話表現確認、語彙調べ
	3	(特) Text: Unit 1 (Grammar Point, Grammar Exercise, Song listening)	文法、基本文・表現確認
	4	(特) San Francisco Chapter 2, Text Unit 2 Vocabulary	語彙、会話表現確認、語彙調べ
	5	(特) Text: Unit 1 (Reading, Listening, Review)	読解・聴解確認、表現復習
	6	(特) Unit 1 Review Test, DVD 鑑賞、English in News	Unit 1復習、会話表現確認
	7	(特) Text: Unit 2 (Grammar Point, Grammar Exercise, Song listening)	文法、基本文・表現確認
	8	(特) San Francisco Chapter 3, Text Unit 3 Vocabulary	語彙、会話表現確認、語彙調べ
	9	(特) Text: Unit 2 (Reading, Listening, Review)	読解・聴解確認、表現復習
	10	(特) San Francisco Chapter 4, Unit 2 Review Test, Text Unit 4 Vocabulary	Unit 2 復習、会話表現確認、復習
	11	(特) Text: Unit 3 (Grammar Point, Grammar Exercise, Song listening)	文法、基本文・表現確認
	12	(特) San Francisco Chapter 5, BBC Documentary "Water" Vocabulary	語彙、会話表現確認、語彙調べ
	13	(特) Text: Unit 3 (Reading, Listening, Review)	読解・聴解確認、表現復習
	14	(特) U3 Review Test, DVD 鑑賞、English in News, Unit 1~3 Grammar Review	U3復習, 会話表現確認, 文法復習
	15	(特) 中間テスト	Unit 1~3・VSF 1~ 5 復習
	16	(特) 中間テスト振り返り, "Water" Vocabulary Practice and Preview, Text Unit 5 Vocabulary	テスト振り返り、語彙練習、語彙調べ
	17	(特) Text: Unit 4 (Grammar Point, Grammar Exercise, Song Listening)	文法、基本文・表現確認
	18	(特) Documentary "Water" Vocabulary Practice, Exercise, and Check Test	語彙・表現確認、聴解練習
	19	(特) Text: Unit 4 (Reading, Listening, Review)	読解・聴解確認、表現復習
	20	(特) VSF Chapter 6, Text Unit 4 Review Test, World Heritage "Grand Canyon" Vocabulary	U4復習, 会話表現確認, 語彙調べ
	21	(特) Text: Unit 5 (Grammar Point, Grammar Exercise, Song Listening)	文法、基本文・表現確認
	22	(特) VSF Chapter 7, "Grand Canyon" Vocabulary Practice, Research on "Grand Canyon"	語彙、会話表現確認、語彙調べ
	23	(特) Text: Unit 5 (Reading, Listening, Review)	読解・聴解確認、表現復習
	24	(特) VSF Chapter 8, Text Unit 5 Review Test, Text Unit 6 Vocabulary	語彙、Unit 5 復習、語彙調べ
	25	(特) Grand Canyon" Vocabulary Practice, Exercise and Check Test	文法、基本文・表現確認
	26	(特) Viva San Francisco Chapter 9, TED Talk	語彙、会話表現確認、予習
	27	(特) Text: Unit 6 (Grammar Point, Grammar Exercise, Song Listening)	読解・聴解確認、表現復習
	28	(特) Viva San Francisco Chapter 10, English in News	語彙、会話表現確認
	29	(特) Text: Unit 6 (Reading, Listening, Review)	語彙・表現確認、聴解練習
30	(特) Unit 6 Review Test, 英語I 振り返り, DVD 鑑賞	Unit 4~6・SF 1~ 5 復習	
31	(特) 期末テスト	期末テストに備える	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指定教科書あり、授業で連絡します。 2. Viva San Francisco はラボ室教材のため購入必要なし。 3. 課題とその正解・解説を綴るファイルを準備して下さい。 4. 課題は Word, オンライン授業は Teams を使って行います。
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 遅刻、欠席はしないこと（授業連絡既読で出席です、詳細はオリエンテーションでお知らせします）。 ② 授業(課題)には必ず辞書を準備し多用すること。 ③ 課題等は期限を守って提出すること。 ④ 教科書や教材の音源を使い積極的に音読すること。 ⑤ 時間管理を行い各自の責任で課題、復習をする時間確保すること（2単位は60時間の自主学習必要）。 <p>*シラバスは学習状況により変更する可能性があります。</p>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中間・期末テスト（30%） ・ 課題、復習・確認テスト（30%） ・ Viva San Francisco（25%） ・ 課題等提出、授業参加態度等（15%）
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語Iでの学びを基礎に、英語IIでさらなる基礎力強化を目指して下さい。そして将来的に自発的に学べる姿勢を身につけ、英語でも自分のやりたい事ができる状況を築いて下さい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	クイグ K ジェイコブソン[経・環・企・産 (2年以上)]	2年	Office: 5-421 mail: jacobson@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい This course is designed to help students improve their English speaking and listening skills and their overall ability to communicate.	メッセージ Students must bring their textbook and a notebook to every class.
	到達目標 Develop autonomous learners and improve oral communication skills.	

到達目標	Develop autonomous learners and improve oral communication skills.
------	--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Course registration and introduction	Syllabus review
	2	Student self introductions	Listening & vocabulary practice
	3	Diagnostic exam (listening)	Listening & vocabulary practice
	4	John Lennon exercise	Listening & vocabulary practice
	5	Imagine exercise	Listening & vocabulary practice
	6	Eric Clapton exercise	Listening & vocabulary practice
	7	Tears in Heaven exercise	Listening & vocabulary practice
	8	Wonderful Tonight exercise	Listening & vocabulary practice
	9	Carpenters exercise	Listening & vocabulary practice
	10	Top of the World Exercise	Listening & vocabulary practice
	11	Favourite artist presentation (part 1)	Presentation preparation
	12	Favourite artist presentation (part 2)	Presentation preparation
	13	Change the World exercise	Listening & vocabulary practice
	14	Sk8er Boi exercises 1 & 2	Listening & vocabulary practice
	15	Brown Eyed Girl exercise	Listening & vocabulary practice
	16	She's a Woman exercise	Listening & vocabulary practice
	17	Talking about family presentation (part 1)	Presentation preparation
	18	Talking about family presentation (part 2)	Presentation preparation
	19	Lady Gaga exercise	Listening & vocabulary practice
	20	Born this Way	Listening & vocabulary practice
	21	Jackie Chan exercise	Listening & vocabulary practice
	22	Bruce Lee exercise	Listening & vocabulary practice
	23	Exams exercise	Listening & vocabulary practice
	24	Music and movies exercise	Listening & vocabulary practice
	25	Okinawa music and musicians exercise	Listening & vocabulary practice
	26	Travel exercise	Listening & vocabulary practice
	27	Diagnostic exam (listening)	Listening & vocabulary practice
	28	Lion King (Scene III)	Listening & vocabulary practice
29	Lion King (Scene IV)	Listening & vocabulary practice	
30	Final interview test	Preparation for interview test	
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など Textbook TBA Students must bring a notebook to each class.</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て Regular attendance and a willingness to communicate in English are crucial for this class.</p>
	<p>評価 Students will be evaluated based a variety of listening exams (75%) and presentations (25%). Students should note that there are no makeup exams for listening exams that they might miss. Missing one listening exam, however, will not have any impact on one's final grade. Points will be deducted for attendance problems. Failure to attend 2/3 of classes will result in failure. Being late three times counts as one missed class.</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 英語 II</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	ヘンジヤミン フォーゲル [地域環境政策]	1年	E-mail or 授業終了後教室にて受け付けます	

学びの準備	ねらい This is an English speaking course, so we will focus on pronunciation, speaking and listening. You will do exercises in pairs. We will focus on responding to questions.	メッセージ I will speak in English as much as possible and expect you to speak with me and with your classmates in English as much as possible. 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 By the end of the course, you will feel more confident speaking English, have better pronunciation, have improved your vocabulary, be able to ask and answer questions using full sentences, and be able to understand basic English grammar.	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Student Photos, Unit 0: Useful Phrases, Countable Nouns, the verb 'to Be'	Read p2+3
	2	Grammar: There is/are, p.4 Yes/No ex., p.7 illustration together with teacher	Do p 5+6, practice p7
	3	HW p. 5+6 - Questions, p.7 illustration ex. In pairs, Grammar take-home test in class	G-t-h- test, Rev p4+7
	4	p.8+10 in pairs, p.11+12, review p.7	In Class Test 1 for Unit 0
	5	HW In Class Test for Unit 0 - Questions, p.11+12 again in pairs, p.13+14, p.5 in pairs	p15+16
	6	HW p.15+16 - Questions, Test for Unit 0 + Correct in class	Listen to Unit 1 song
	7	Unit 1 Grammar - p.7-8 Pres. Cont., General verbs, Helping Verbs, Verbs of emotion	Do p12+13, review handout
	8	HW - Questions, p.2 Song, p.3 pron, p.5 Vocab, p.10 in pairs	p.4,6, Song, Q.F. 1+2
	9	HW - Questions, p.11 in class, p.14 pairs, p.15 pairs, p.16	p11, G-t-h-test
	10	p.14,15,16,17,18 in pairs	p19+20, I-C-T-1
	11	HW p.19+20 - Questions, In Class Test 1 U.1 Questions, Test for Unit 1 + Correct in class	Listen to Unit 2 song
	12	Unit 2 Grammar - 27-29 Uncountable Nouns, Want + Would like, Some + Any, p.22 Song	p.32,33
	13	HW p.32,33 - Questions, p.22 song, p.23 pron, p.25 Vocab, p.30 ex	Grammar take-home test, song
	14	HW - Questions, p.31 in class, p.34 pairs, p.35 pairs, p.36	practice song, p.39+40
	15	HW p.39+40 - Questions, p.37,38 in pairs, p.34 again, p.35 again	In Class Test 1 U.2
	16	HW In Class Test 1 U.2 - Questions, Test for Unit 2 + Correct in class	Listen to Unit 3 song
	17	Unit 3 Grammar - p.47-49 Adjectives, Comparative + Superlative	p.51,52,53
	18	HW p.51,52,53 - Questions, p.42 song, p.43 pron, p.45 Vocab, p.50 ex	p.44,46, Grammar take-home test
	19	p.51 yes/no ex, p.54 ex, p.55, p.56	p.59+60
	20	HW p.59+60 - Questions, p.54 again, p.57+58 pairs, review p.55,56	In Class test 1 U.3
	21	HW In Class test 1 U.3 - Questions, Test for Unit 3 + Correct in Class	Listen to Unit 4 song
	22	Unit 4 Grammar p.67-69 Past Tense, p.62 song	p.71,72,73
	23	HW p.71,72,73 - Questions, p.62 song, p.63 pron, p.65 Vocab, p.70 Yes/No ex	Grammar take-home test
	24	HW Grammar take-home test - Questions, p.71, p.74, p.75, p.76 (in pairs)	p.79+80
	25	HW p.79+80 - Questions, p.74 again, p.77+78, p.75 again	In Class test 1 U.4
	26	HW In Class test 1 U.4 - Questions, Test for Unit 4 + Correct in class	Listen to Unit 5 song
	27	Unit 5 Grammar p.87-89 Verb combos, prepositions, pronouns, p.82 song	p.91,92,93
	28	HW p.91,92,93 - Questions, p.82 song, p.83 pron, p.85 Vocab, p.90 Yes/No ex	Grammar take-home test
	29	HW Grammar take-home test - Questions, p.91, p.94., p.95, p.96 (in pairs)	p.99+100
	30	HW p.99+100 - Questions, p.94 again, p.97+98, p.95 again	In Class test 1 U.5
31	HW In Class test 1 U.5 - Questions, Test for Unit 5 + Correct in class	Enjoy the summer break!!	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English Conversation for Japanese Speakers 3rd Edition Red Bird Books in Japan 2315 yen + tax Beni Fogel, Dr. Cary Rasof</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>Please do your homework so that you will be prepared to speak in class. We will be singing songs, listening to dialogues and speaking often in class.</p>
	<p>評価</p> <p>Quizzes: 40% Tests: 60%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語II Please listen to the recordings on the website to keep English fresh in your head.</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-小橋川 里美[地域環境政策]	1年	*E-mail : ptt016@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語の歌を通して英語圏の文化に触れながら、語彙や発音、英文法、リスニングの基礎力を身に付ける。また、短い英語の文章を読み、読解力をつける。それに加えて、教科書以外の英語学習教材の動画を用いて更なる英語力の向上を目指す。学期最後に、1人3分程度の英語スピーチをしてもらう（テーマは自由）。	積極的な授業態度を強く望みます。必ず、事前に単語の意味を調べ、練習問題をやってきてください。ノート作りをしましょう。習った英語表現や文法、使えそうな表現をノートに書き留めておくと、記憶に残りやすく、英語力の向上に役立ちます。学期最後の英語スピーチで実力を発揮してください。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な英文法を理解し、問題を8割以上正解できる ・英語による日常会話と英語のポップス系の歌の内容を理解し、聞き取りと書き取りをすることができる ・英語の歌に関する短い英文を理解し、問題を8割以上正解できる ・自分の言いたいことを英語で3分程度発表できる 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション（講義概要・評価基準・LMSの使い方などの説明、テキストの紹介）	Unit 1 pp. 6-9予習
	2	Unit 1 pp. 6-7、曲、単語と文法（be動詞） 練習問題	今日の復習とU1 pp. 8-9予習
	3	Unit 1 pp. 8-9、歌詞の内容について学習	今日の復習とU1 pp. 10-11予習
	4	Unit 1 pp. 10-11、文法問題と読解問題	pp. 12-13の問題をLMSで解いて提出
	5	DVD英文法学習①②と練習問題	今日の復習とU2 pp. 14-17予習
	6	Unit 2 pp. 14-15、曲、単語と文法（一般動詞の現在形） 練習問題	今日の復習とU2 pp. 16-17予習
	7	Unit 2 pp. 16-17、歌詞の内容について学習	今日の復習とU2 pp. 18-19予習
	8	Unit 2 pp. 18-19、文法問題と読解問題	pp. 20-21の問題をLMSで解いて提出
	9	DVD英文法学習③④と練習問題	今日の復習とU3 pp. 22-25予習
	10	Unit 3 pp. 22-23、曲、単語と文法（一般動詞の過去形） 練習問題	今日の復習とU3 pp. 24-25予習
	11	Unit 3 pp. 24-25、歌詞の内容について学習	今日の復習とU3 pp. 26-27予習
	12	Unit 3 pp. 26-27、文法問題と読解問題	pp. 28-29の問題をLMSで解いて提出
	13	DVD英文法学習⑤⑥と練習問題	今日の復習とU4 pp. 30-33予習
	14	Unit 4 pp. 30-31、曲、単語と文法（進行形） 練習問題	今日の復習とU4 pp. 32-33予習
	15	Unit 4 pp. 32-33、歌詞の内容について学習	今日の復習とU4 pp. 34-35予習
	16	Unit 4 pp. 34-35、文法問題と読解問題	pp. 36-37の問題をLMSで解いて提出
	17	DVD英文法学習⑦⑧と練習問題	今日の復習とU4 復習
	18	American Youth Culture	中間テスト勉強 Units 1-4復習
	19	Midterm Examination (Units 1-4)	U5 pp. 38-41予習
	20	Unit 5 pp. 38-39、曲、単語と文法（未来表現） 練習問題	今日の復習とU5 pp. 40-41予習
	21	Unit 5 pp. 40-41、歌詞の内容について学習	今日の復習とU5 pp. 42-43予習
	22	Unit 5 pp. 42-43、文法問題と読解問題	pp. 44-45の問題をLMSで解いて提出
	23	Unit 6 pp. 46-47、曲、単語と文法（助動詞） 練習問題	今日の復習とU6 pp. 48-49予習
	24	Unit 6 pp. 48-49、歌詞の内容について学習	今日の復習とU6 pp. 50-51予習
	25	Unit 6 pp. 50-51、文法問題と読解問題	pp. 52-53の問題をLMSで解いて提出
	26	Unit 7 pp. 54-55、曲、単語と文法（受動態） 練習問題	今日の復習とU7 pp. 56-57予習
	27	Unit 7 pp. 56-57、歌詞の内容について学習	今日の復習とU7 pp. 58-59予習
	28	Unit 7 pp. 58-59、文法問題と読解問題	pp. 60-61の問題をLMSで解いて提出
29	英語スピーチ（1人3分程度）	スピーチの準備と練習	
30	英語スピーチ（1人3分程度）	期末テスト勉強 Units 5-7復習	
31	Final Examination (Units 5-7)	今学期の振り返り	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Let's Learn English with Pop Hits! ポップスでスタート! 基礎英語 (成美堂、2020) 英語辞書 (電子辞書でもよい) 一語学学習には必須アイテムです</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p><履修の心構え>大学の規定により、欠席10回で単位はありません (不可になります)。20分以上の遅刻3回で欠課扱いにします。遅刻しないようにしてください。</p> <p><学びを深めるために>必ず、予習をして授業に臨んでください。自分のノートを持参すること。ノートに勉強した内容を書き留めましょう。それが自分の英語力となって結果的に成績にも反映されるでしょう。発音に関してはネイティブの発音を何度も聴き、声に出して練習することを心がけてください。リスニングの向上につながります。興味のある映画や歌、英字新聞など、普段からできるだけ多く英語に触れるようにするとよいでしょう。</p> <p>*シラバスの授業計画は進捗状況により変更する場合があります。</p>
	<p>評価</p> <p>中間テスト ---- 30%、 期末テスト ---- 30% オンラインLMS上の練習問題 ---- 15% 英語スピーチ ---- 20%、授業への貢献度 ---- 5%</p> <p>90%以上が「秀」、80-89%が「優」、70-79%が「良」、60-69%が「可」、59%以下は「不可」となります。ただし、欠席10回になると単位は与えません。20分以上の遅刻3回で1回の欠課扱いです。注意してください。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後学期開講の英語II でも、「Pop Hits!」の教科書を使用します (Unit 8からスタート)。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	ヘンジヤミン フォーゲル [法律・地行]	1年	E-mail or 授業終了後教室にて受け付けます	

学びの準備	ねらい This is an English speaking course, so we will focus on pronunciation, speaking and listening. You will do exercises in pairs. We will focus on responding to questions.	メッセージ I will speak in English as much as possible and expect you to speak with me and with your classmates in English as much as possible. 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 By the end of the course, you will feel more confident speaking English, have better pronunciation, have improved your vocabulary, be able to ask and answer questions using full sentences, and be able to understand basic English grammar.	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Student Photos, Unit 0: Useful Phrases, Countable Nouns, the verb 'to Be'	Read p2+3
	2	Grammar: There is/are, p.4 Yes/No ex., p.7 illustration together with teacher	Do p 5+6, practice p7
	3	HW p. 5+6 - Questions, p.7 illustration ex. In pairs, Grammar take-home test in class	G-t-h- test, Rev p4+7
	4	p.8+10 in pairs, p.11+12, review p.7	In Class Test 1 for Unit 0
	5	HW In Class Test for Unit 0 - Questions, p.11+12 again in pairs, p.13+14, p.5 in pairs	p15+16
	6	HW p.15+16 - Questions, Test for Unit 0 + Correct in class	Listen to Unit 1 song
	7	Unit 1 Grammar - p.7-8 Pres. Cont., General verbs, Helping Verbs, Verbs of emotion	Do p12+13, review handout
	8	HW - Questions, p.2 Song, p.3 pron, p.5 Vocab, p.10 in pairs	p.4,6, Song, Q.F. 1+2
	9	HW - Questions, p.11 in class, p.14 pairs, p.15 pairs, p.16	p11, G-t-h-test
	10	p.14,15,16,17,18 in pairs	p19+20, I-C-T-1
	11	HW p.19+20 - Questions, In Class Test 1 U.1 Questions, Test for Unit 1 + Correct in class	Listen to Unit 2 song
	12	Unit 2 Grammar - 27-29 Uncountable Nouns, Want + Would like, Some + Any, p.22 Song	p.32,33
	13	HW p.32,33 - Questions, p.22 song, p.23 pron, p.25 Vocab, p.30 ex	Grammar take-home test, song
	14	HW - Questions, p.31 in class, p.34 pairs, p.35 pairs, p.36	practice song, p.39+40
	15	HW p.39+40 - Questions, p.37,38 in pairs, p.34 again, p.35 again	In Class Test 1 U.2
	16	HW In Class Test 1 U.2 - Questions, Test for Unit 2 + Correct in class	Listen to Unit 3 song
	17	Unit 3 Grammar - p.47-49 Adjectives, Comparative + Superlative	p.51,52,53
	18	HW p.51,52,53 - Questions, p.42 song, p.43 pron, p.45 Vocab, p.50 ex	p.44,46, Grammar take-home test
	19	p.51 yes/no ex, p.54 ex, p.55, p.56	p.59+60
	20	HW p.59+60 - Questions, p.54 again, p.57+58 pairs, review p.55,56	In Class test 1 U.3
	21	HW In Class test 1 U.3 - Questions, Test for Unit 3 + Correct in Class	Listen to Unit 4 song
	22	Unit 4 Grammar p.67-69 Past Tense, p.62 song	p.71,72,73
	23	HW p.71,72,73 - Questions, p.62 song, p.63 pron, p.65 Vocab, p.70 Yes/No ex	Grammar take-home test
	24	HW Grammar take-home test - Questions, p.71, p.74, p.75, p.76 (in pairs)	p.79+80
	25	HW p.79+80 - Questions, p.74 again, p.77+78, p.75 again	In Class test 1 U.4
	26	HW In Class test 1 U.4 - Questions, Test for Unit 4 + Correct in class	Listen to Unit 5 song
	27	Unit 5 Grammar p.87-89 Verb combos, prepositions, pronouns, p.82 song	p.91,92,93
	28	HW p.91,92,93 - Questions, p.82 song, p.83 pron, p.85 Vocab, p.90 Yes/No ex	Grammar take-home test
	29	HW Grammar take-home test - Questions, p.91, p.94., p.95, p.96 (in pairs)	p.99+100
	30	HW p.99+100 - Questions, p.94 again, p.97+98, p.95 again	In Class test 1 U.5
	31	HW In Class test 1 U.5 - Questions, Test for Unit 5 + Correct in class	Enjoy the summer break!!

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English Conversation for Japanese Speakers 3rd Edition Red Bird Books in Japan 2315 yen + tax Beni Fogel, Dr. Cary Rasof</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>Please do your homework so that you will be prepared to speak in class. We will be singing songs, listening to dialogues and speaking often in class.</p>
	<p>評価</p> <p>Quizzes: 40% Tests: 60%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語II Please listen to the recordings on the website to keep English fresh in your head.</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	- 空閑 洋始[地域環境政策]	1年	ptt1138@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 基礎的な英文法を復習するとともに、実際に使われている多くの英文・英会話に触れることによって、コミュニケーション能力の向上を目指します。	メッセージ 英語でのコミュニケーション力アップには2つのことが大事です。1つは、「あまり細かいことにこだわらずに、元気に大きな声で話す」。もう1つは、これと矛盾するようですが、「基礎的文法を身に付け、知っている単語の数を増やす」。授業は、この2面性を常に意識しながら進めていきます。 【プレースメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 *英語を聞いたり話したりすることの楽しさを実感する。 *英語スピーカーに突然話しかけられても、積極的に対応できるようになる。 *海外旅行に出かけた際に、必要最低限のコミュニケーションができる力を付ける。 *英語で書かれたインターネットのサイトで、世界の情報を楽しめるようになる。 *英語を学ぶことで、自分の可能性が広がることを実感する。 *英語の学習にパソコンを有効に使えるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業内容オリエンテーション	オリエン内容の復習
	2	各種ソフト・ネットワーク機器の操作等オリエンテーション	オリエン内容の復習
	3	教科書Unit 1 Self-Introduction: Listening & Reading	教科書・授業の予習および復習
	4	教科書Unit 1 Self-Introduction: Speaking & Writing	教科書・授業の予習および復習
	5	教科書Unit 1 Self-Introduction: Grammar & 補助教材による復習	教科書・授業の予習および復習
	6	教科書Unit 2 Hobbies: Listening & Reading	教科書・授業の予習および復習
	7	教科書Unit 2 Hobbies: Speaking & Writing	教科書・授業の予習および復習
	8	教科書Unit 2 Hobbies: Grammar & 補助教材による復習	教科書・授業の予習および復習
	9	教科書Unit 3 Food and Exercise: Listening & Reading	教科書・授業の予習および復習
	10	教科書Unit 3 Food and Exercise: Speaking & Writing	教科書・授業の予習および復習
	11	教科書Unit 3 Food and Exercise: Grammar & 補助教材による復習	教科書・授業の予習および復習
	12	Listening 強化に関する講義	授業の復習
	13	Speaking 強化に関する講義	授業の復習
	14	中間テストに向けて前半の総復習	授業の復習
	15	中間テスト (筆記およびスピーチ)	中間テストの準備
	16	中間テストの復習	授業の復習
	17	教科書Unit 4 Sports (Rugby): Listening & Reading	教科書・授業の予習および復習
	18	教科書Unit 4 Sports (Rugby): Speaking & Writing	教科書・授業の予習および復習
	19	教科書Unit 4 Sports (Rugby): Grammar & 補助教材による復習	教科書・授業の予習および復習
	20	教科書Unit 5 Love and Marriage: Listening & Reading	教科書・授業の予習および復習
	21	教科書Unit 5 Love and Marriage: Speaking & Writing	教科書・授業の予習および復習
	22	教科書Unit 5 Love and Marriage: Grammar & 補助教材による復習	教科書・授業の予習および復習
	23	教科書Unit 6 Weather (Typhoons): Listening & Reading	教科書・授業の予習および復習
	24	教科書Unit 6 Weather (Typhoons): Speaking & Writing	教科書・授業の予習および復習
	25	教科書Unit 6 Weather (Typhoons): Grammar & 補助教材による復習	教科書・授業の予習および復習
	26	教科書Unit 7 Tourism: Listening & Reading	教科書・授業の予習および復習
	27	教科書Unit 7 Tourism: Speaking & Writing	教科書・授業の予習および復習
	28	教科書Unit 7 Tourism: Grammar & 補助教材による復習	教科書・授業の予習および復習
	29	期末テストに向けての後半の総復習	授業の復習
30	期末テスト (筆記)	期末テストの準備	
31	期末テスト及び今学期の復習、単語帳提出	単語帳の作成確認・提出準備	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 教科書を1冊購入してください。最初のオリエンテーションの時に説明します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①毎回出欠を確認します。欠席が10回以上だと単位を取得できません。また、遅刻3回で1回欠席とみなされます（オリエンテーション時に詳細を説明）。</p> <p>②授業には必ず辞書を持参してください。どのようなものでもけっこうです。</p> <p>③紙のプリントよりも、学内のシステムを利用した、インターネット経由での資料配布が多くなります。機器の扱いに慣れてください。</p>
	<p>評価</p> <p>①授業での課題などを含む平常点 30%</p> <p>②中間テスト 30%</p> <p>③期末テスト 30%</p> <p>④単語帳作成 10%</p> <p>*オリエンテーションの際に詳細を説明。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>授業は、後期、英語Ⅱに続きます。また、英検やTOEICなどに個人的にチャレンジするのもいいと思います。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数ジェニョールデビット [社文・人福]	1年	Itokazu_david@yahoo.com 090-3797-8665	

学びの準備	ねらい The purpose of the English Class is to learn the basic English Grammar and basic English Conversation in order to communicate globally among the community of nations. 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】	メッセージ Learning English as a second language will give students a tremendous advantages in terms of personal growth and career opportunist date, there are about 122 countries in the world that can speak English. In other words, by just learning and acquiring just one additional language: English could make students "global citizens".
	到達目標 Students should continue learning English and develop the skill for global communication. The English skill could be utilized to help manage Japanese business abroad. It could contribute to Japanese multinational corporations in Japan with international market. Aside from the overseas opportunity, Japanese students with English as second language could apply jobs in international organizations funded by the Japanese government such as WHO, UN, and Asian Development Bank to name a few. The English knowledge acquired by the students could support revive the economy of Japan and contribute to the global economy.	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Dialogue Introduction: First day of Class; Countable Nouns; When to use "a" and "an"	Study Introduction Dialogue
	2	Personal Pronouns; Simple Present Tense; Verb "To Be"; Present Cont.Tense; Rules for	Get a partner and practice
	3	Helping Verbs: Can and Do; Verbs of Emotion	Prepare for Summary Test
	4	Unit 1 Summary Test	Study second Dialogue with a
	5	Dialogue: Meeting with Classmate's Mother; Uncountable Nouns; Countable Nouns; Unit	Choose an interesting News on
	6	Verb "To Want"; Use of "Would Like"; Some vs. Any; Some more vs. Any more	Local News, National or
	7	Unit 2 Summary Test	Based on your Major Subject or
	8	Dialogue: Talking to Mon after School	Try to give us the Importance
	9	Adjectives: Used with Verb "To Get"; Comparative Adjectives; Comparisons using "than"	Research on "Why Study
	10	Superlatives Adjectives; Adjectives that are Exceptions	Make a report: Why Study
	11	Unit 3 Summary Test	Continue Discussion
	12	Dialogue: A New Student	How to Make English as a
	13	Simple Past Tense of Regular and Irregular Verbs, Verbs "To Be"	Health and Aging Society
	14	Past Continuous Tense; Simple Past; Use of "ago"; Use vs Used to; Have vs Have to	Economic Impact to Society
	15	Unit 4 Summary Test	Economic Impact to Internat
	16	Verb + Intinitive; Pronouns; Prepositions	News that you Can Use on:
	17	Prepositions + Pronouns; Adjective / Verb + Preposition	Economics, Education, Health and
	18	Unit 5 Summary Test	and Life Expectancy
	19	Dialogue: Talking to a Friend	Report and Discussion
	20	Adjectives + Prepositions; Adverbs vs Adjectives; Adverbs of Frequency; Well vs Good	Memorize a Dialogue for your
	21	Unit 6 Summary Test	Continue for Final Oral
	22	Dialogue: Nice Surprise	Preparation for the Final
	23	Possessive Pronouns; Absolute Possessive Pronouns, Commands with "Don't/Be/Let's"	End-Preparation for Final Exam
	24	Commands with "Start/Stop	End-Preparation for Final Exam
	25	Future Tense; Helping Verb "will"; Think + Will	End-Preparation for Final Exam
	26	Unit 7 Summary Test	End-Preparation for Final Exam
	27	Passive Voice; Past Participles; Passive Voice: Present/Past/Future Tense; Passive	End-Preparation for Final Exam
	28	Use of "Should and Ought to"	End-Preparation for Final Exam
	29	Unit 8 Summary Test	End-Preparation for Final Exam
	30	Dialogue: Missing Home; Song: Springtime is Here	End-Preparation for Final Exam
31	Song: Summer Plans		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English Conversation for Japanese Speakers By Beni Fogel and Dr. Gary Rasof World English (National Geographic)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>Students are expected to come on time. Three 15 minutes late is equivalent to one absence. No talking during class hours except class discussion.</p>
	<p>評価</p> <p>Grading System: Discussion: 50%, Homework: 25%, Tests: 25% *10 or more absences= NO CREDIT</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>Continue English II</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	- 空閑 洋始[社文・人福]	1年	ptt1138@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>基礎的な英文法を復習するとともに、実際に使われている多くの英文・英会話に触れることによって、コミュニケーション能力の向上を目指します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> *英語を聞いたり話したりすることの楽しさを実感する。 *英語スピーカーに突然話しかけられても、積極的に対応できるようになる。 *海外旅行に出かけた際に、必要最低限のコミュニケーションができる力を付ける。 *英語で書かれたインターネットのサイトで、世界の情報を楽しめるようになる。 *英語を学ぶことで、自分の可能性が広がることを実感する。 *英語の学習にパソコンを有効に使えるようになる。 	<p>英語でのコミュニケーション力アップには2つのことが大事です。1つは、「あまり細かいことにこだわらずに、元気に大きな声で話す」。もう1つは、これと矛盾するようですが、「基礎的文法を身に付け、知っている単語の数を増やす」。授業は、この2面性を常に意識しながら進めていきます。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業内容オリエンテーション	オリエン内容の復習
	2	各種ソフト・ネットワーク機器の操作等オリエンテーション	オリエン内容の復習
	3	教科書Unit 1 Self-Introduction: Listening & Reading	教科書・授業の予習および復習
	4	教科書Unit 1 Self-Introduction: Speaking & Writing	教科書・授業の予習および復習
	5	教科書Unit 1 Self-Introduction: Grammar & 補助教材による復習	教科書・授業の予習および復習
	6	教科書Unit 2 Hobbies: Listening & Reading	教科書・授業の予習および復習
	7	教科書Unit 2 Hobbies: Speaking & Writing	教科書・授業の予習および復習
	8	教科書Unit 2 Hobbies: Grammar & 補助教材による復習	教科書・授業の予習および復習
	9	教科書Unit 3 Food and Exercise: Listening & Reading	教科書・授業の予習および復習
	10	教科書Unit 3 Food and Exercise: Speaking & Writing	教科書・授業の予習および復習
	11	教科書Unit 3 Food and Exercise: Grammar & 補助教材による復習	教科書・授業の予習および復習
	12	Listening 強化に関する講義	授業の復習
	13	Speaking 強化に関する講義	授業の復習
	14	中間テストに向けて前半の総復習	授業の復習
	15	中間テスト (筆記およびスピーチ)	中間テストの準備
	16	中間テストの復習	授業の復習
	17	教科書Unit 4 Sports (Rugby): Listening & Reading	教科書・授業の予習および復習
	18	教科書Unit 4 Sports (Rugby): Speaking & Writing	教科書・授業の予習および復習
	19	教科書Unit 4 Sports (Rugby): Grammar & 補助教材による復習	教科書・授業の予習および復習
	20	教科書Unit 5 Love and Marriage: Listening & Reading	教科書・授業の予習および復習
	21	教科書Unit 5 Love and Marriage: Speaking & Writing	教科書・授業の予習および復習
	22	教科書Unit 5 Love and Marriage: Grammar & 補助教材による復習	教科書・授業の予習および復習
	23	教科書Unit 6 Weather (Typhoons): Listening & Reading	教科書・授業の予習および復習
	24	教科書Unit 6 Weather (Typhoons): Speaking & Writing	教科書・授業の予習および復習
	25	教科書Unit 6 Weather (Typhoons): Grammar & 補助教材による復習	教科書・授業の予習および復習
	26	教科書Unit 7 Tourism: Listening & Reading	教科書・授業の予習および復習
	27	教科書Unit 7 Tourism: Speaking & Writing	教科書・授業の予習および復習
	28	教科書Unit 7 Tourism: Grammar & 補助教材による復習	教科書・授業の予習および復習
	29	期末テストに向けての後半の総復習	授業の復習
30	期末テスト (筆記)	期末テストの準備	
31	期末テスト及び今学期の復習、単語帳提出	単語帳の作成確認・提出準備	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 教科書を1冊購入してください。最初のオリエンテーションの時に説明します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①毎回出欠を確認します。欠席が10回以上だと単位を取得できません。また、遅刻3回で1回欠席とみなされます（オリエンテーション時に詳細を説明）。</p> <p>②授業には必ず辞書を持参してください。どのようなものでもけっこうです。</p> <p>③紙のプリントよりも、学内のシステムを利用した、インターネット経由での資料配布が多くなります。機器の扱いに慣れてください。</p>
	<p>評価</p> <p>①授業での課題などを含む平常点 30%</p> <p>②中間テスト 30%</p> <p>③期末テスト 30%</p> <p>④単語帳作成 10%</p> <p>*オリエンテーションの際に詳細を説明。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>授業は、後期、英語Ⅱに続きます。また、英検やTOEICなどに個人的にチャレンジするのもいいと思います。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-新城 知子 [法律・地行]	1年	ptt152@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語Iにおいては、基礎的なリスニング能力の強化と動画による総合的な内容理解を目指す。スピーキングの練習についてはTeamsを用いたペアワークやグループディスカッションで補強することとし、短期間で集中的な演習を行う。また、Online Searchによる情報収集能力の強化を図り、比較文化的な視点を身につける努力をする。	授業の前後の予習・復習を必須とし、授業時間外の自主学習を充実させること。英語を身近な存在として講義終了後も各自で学習を継続できるように、英語を楽しみながら学ぶ姿勢づくりを目指す。
	到達目標	
	1. 英語による日常会話の基礎的な表現を習得し、発話できる。2. 英語を用いて情報収集することに慣れる。3. グループディスカッションにおいて集団の中で意見を表明することができる。4. 他者の意見を丁寧に受け止め、対応することができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction (4/8 Teamsによる特例授業)	リハスをきちんと確認する。
	2	Self-introduction (4/12 対面授業)	英語による自己表現を工夫する。
	3	Viva! SF: Chapter 1,2Review Quizzes (4/15 Teamsによる特例授業)	1,2課の復習
	4	Viva! SF: Chapter 2 Online Search (4/19 対面授業)	広範なリサーチを心掛ける。
	5	Viva! SF: Chapter 3 Review Quizzes (4/22 Teamsによる特例授業)	3課の復習
	6	Viva! SF: Chapter 3 Online Search (4/26 対面授業)	広範なリサーチを心掛ける。
	7	Viva! SF: Chapter 4 Review Quizzes (5/6 Teamsによる特例授業)	4課の復習
	8	Viva! SF: Chapter 4 Online Search (5/10 対面授業)	広範なリサーチを心掛ける。
	9	Viva! SF: Chapter 5 Review Quizzes (5/13 Teamsによる特例授業)	5課の復習
	10	Viva! SF: Chapter 5 TED Talks (5/17 対面授業)	1-5課の復習
	11	TED Talks: My favorite talk (5/20 Teamsによる特例授業)	様々な意見に触れる。
	12	Viva! SF: Chapter 6 Review Quizzes (5/24 対面授業)	6課の復習
	13	Viva! SF: Chapter 6 Online Search (5/27 Teamsによる特例授業)	広範なリサーチを心掛ける。
	14	Viva! SF: Chapter 7 Review Quizzes (5/31 対面授業)	7課の復習
	15	Viva! SF: Chapter 7 Online Search:Power of Photo (6/3 Teamsによる特例授業)	広範なリサーチを心掛ける。
	16	Viva! SF: Chapter 8 Review Quizzes (6/7 対面授業)	8課の復習
	17	Viva! SF: Chapter 8 Creating slogan(6/10 Teamsによる特例授業)	発想を英語に乗せる。
	18	Viva! SF: Chapter 9 Review Quizzes (6/14 対面授業)	9課の復習
	19	Viva! SF: Chapter 9 Mini Essay (6/17 Teamsによる特例授業)	ライティングの基礎を確認
	20	Viva! SF: Chapter 10 Review Quizzes (6/21 対面授業)	10課の復習
	21	Viva! SF: Chapter 10 Online Search (6/24 Teamsによる特例授業)	広範なリサーチを心掛ける。
	22	Online Search: Comparative Culture (6/28 対面授業)	比較文化の発想に触れる。
	23	Mini Essay: Comparative Culture (7/1 Teamsによる特例授業)	比較文化のリサーチを広げる。
	24	Selected topics (7/5 対面授業)	ディスカッションの準備
	25	Selected topics (7/8 Teamsによる特例授業)	ディスカッションの準備
	26	Selected topics (7/12 対面授業)	各自の発言の振り返り
	27	Selected topics (7/15 Teamsによる特例授業)	各自の発言の振り返り
	28	Selected topics (7/19 対面授業)	各自の発言の振り返り
	29	Speaking Test (7/22 Teamsによる特例授業)	各自の発言の振り返り
	30	Speaking Test (7/26 対面授業)	各自の発言の振り返り
31	Make-up session: Review (7/29 Teamsによる特例授業)	各自の発言の振り返り	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>主教材のViva! San Francisco については、教科書の購入は必要ない。LMSなどを通じての自宅での予習・復習が可能なので、活用してください。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>Viva! San Francisco については学外からのアクセスも可能なので、毎回復習を欠かさないこと。授業の進行状況によってはシラバスを変更する可能性があります。今学期はCOVID-19の影響で教室における対面のペアワークができないのが最大の弱みではあるが、それを補えるよう各自Calabo Bridgeの会話練習問題を繰り返し行い、会話のリズムを習得できるようにしてください。</p>
	<p>評価</p> <p>Review quizzes= 40% Online search and mini essay assignments= 40% Speaking Test=20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語I、IIで習得した基礎的な知識と能力を活かして学びを深め、継続していけるような態勢を作るために、楽しんで学習する癖をつける。社会人としての国際的な視野を広げるために日本のメディアで報道されない情報も英語で収集することを習慣とする。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水4・土3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-渡慶次 マーガレット 有子[日文]	1年	① 大学メール ptt1186@okiu.ac.jp ② 授業終了後に教室で受け付ける。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>① 英語のリスニング力とスピーキング力を重視し、グローバル化に対応した発信型の英語能力を鍛える。</p> <p>② 大学生の知的興味に合うような、トピックのダイアログやナレーションを多く取り入れ、リスニングスキルを高める。</p> <p>③ リスニングとスピーキングアクティビティをうまく連動させる。</p>	<p>①間違いを恐れず、積極的に授業に参加してください。</p> <p>②リスニングアクティビティでは英語の発音や表現をしっかりと学習しましょう。</p> <p>③グループワークでは、アクティブにコミュニケーションスキルを磨きましょう。インプットした知識を効果的にアウトプットしてください。</p>
到達目標	<p>① ユニットのテーマについて、グループワークを通し、自分の意見を発信することができる。</p> <p>② 身の回りの関心事について、英語でプレゼンテーションすることができる。</p> <p>③ 音声を聞いてリスニング問題に答えることができる。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション (コースの説明)	シラバスを確認する
	2	Unit1 (1) Lifestyles Grammar	Listeningの予習
	3	Unit1 (2) DVD教材 Listening activities	Readingの予習
	4	Unit1 (3) Group Discussion (Lifestyles)	自習
	5	Unit1 (4) Listening activities	Unit2の予習
	6	Unit2 (1) Leisure Grammar	Readingの予習
	7	Unit2 (2) DVD教材 Listening activities	Discussionの準備
	8	Unit2 (3) Group Discussion (Leisure)	Quiz1の準備
	9	Unit2 (4) Listening activities (Quiz1)	Unit3の予習
	10	Unit3 (1) Getting along Grammar	Listeningの予習
	11	Unit3 (2) DVD教材 Listening activities	Discussionの準備
	12	Unit3 (3) Group discussion (Getting along)	自習
	13	Unit3 (4) Listening activities (Presentation1)	Unit4の予習
	14	Unit4 (1) Interests Grammar (Presentation1)	Discussionの準備
	15	Unit4 (2) DVD教材 Listening activities	Listeningの予習
	16	Unit4 (3) Group discussion (Interests)	Quiz2の準備
	17	Unit4 (4) Listening activities (Quiz2)	Unit5の予習
	18	Unit5 (1) Telling a story Grammar	Readingの予習
	19	Unit5 (2) DVD教材 Listening activities	Discussionの準備
	20	Unit5 (3) Group discussion (Telling a story)	自習
	21	Unit5 (4) Listening activities	Unit6の予習
	22	Unit6 (1) Celebrations Grammar	Readingの予習
	23	Unit6 (2) DVD教材 Listening activities	Discussionの準備
	24	Unit6 (3) Group discussion (Celebrations)	Quiz3の準備
	25	Unit6 (4) Listening activities (Quiz3)	自習
	26	Movie (Nelson Mandela)	予習
	27	Movie (Nelson Mandela)	Readingの予習
	28	Data Collection	Presentationの準備
	29	(Presentation2)	Presentationの準備
30	(Presentation2)	Unit1-6の復習	
31	Review lesson	復習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>① テキスト：Breakthrough PLUS 2 (Macmillan Language House, 2012)</p> <p>② 参考文献や資料などは授業で紹介する。</p>										
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>① 全体の1/3以上欠席した場合、単位は与えられない。</p> <p>② 3回遅刻=1回欠席とみなす。遅刻・欠席は成績に大きく影響するので、授業時間に間に合うように心がける。</p> <p>③ 予習・復習は欠かさず行い、積極的に、授業に貢献することを求める。わからないところは、事前に調べ、予備知識を持って授業に参加すると、学習した内容が定着し、理解しやすい。</p> <p>【重要】 授業計画は、授業の進み具合や学生の理解度などによって変更することがあります。</p>										
	<p>評価</p> <table border="0"> <tr> <td>① 小テスト (Quiz) 3回</td> <td>60%</td> <td>(20%X3)</td> <td>上記の到達目標</td> <td>1-3を評価</td> </tr> <tr> <td>② プレゼンテーション2回</td> <td>40%</td> <td>(20%X2)</td> <td>上記の到達目標</td> <td>1-3を評価</td> </tr> </table> <p>以上の割合で、総合的に判定する。</p>	① 小テスト (Quiz) 3回	60%	(20%X3)	上記の到達目標	1-3を評価	② プレゼンテーション2回	40%	(20%X2)	上記の到達目標	1-3を評価
① 小テスト (Quiz) 3回	60%	(20%X3)	上記の到達目標	1-3を評価							
② プレゼンテーション2回	40%	(20%X2)	上記の到達目標	1-3を評価							
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語 I で学んだレッスンを復習し、英語 II を履修してください。</p> <p>英語の雑誌やインターネットなどを活用して、国内・国際情勢を英語で学ぶことにもチャレンジしてみましょう。</p>										

※ポリシーとの関連性 英語の基礎であるリスニング、スピーキング能力の強化を目指す。
また、online searchを通じて英語による情報収集に慣れる。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月1・木1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-新城 知子 [企業システム]	1年	ptt152@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語Iにおいては基礎的なリスニング能力の強化と動画による総合的な内容理解を目指す。COVID-19の影響によりスピーキングの練習については困難を伴うが、Teamsを用いたペアワークとグループディスカッションで補強することとし、短期間で集中的に演習を行う。また、online searchによる情報収集能力の強化を図り、リサーチを通じて比較文化的な視点を身につけられるようにする。	授業の前後の予習・復習を必須とし、授業時間外の自主学習を充実させること。英語を身近な存在として講義終了後も各自で学習を継続できるように、英語を楽しめる態勢づくりを目指す。
到達目標	1. 英語による日常会話の基礎的な表現を習得し、発話できる。2. 英語を用いて情報収集することに慣れる。3. グループディスカッションにおいて集団の中で意見を表明することができる。4. 他者の意見を丁寧に受け止め、対応することができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction (4/8 Teamsによる特例授業)	シラバスをきちんと確認する
	2	Self-introduction (4/12 対面授業)	英語による自己表現を工夫する
	3	Viva! SF : Chapter 1,2Review Quizzes (4/15 Teamsによる特例授業)	1, 2課の復習
	4	Viva! Sf : Chapter 2 Online Search (4/19 対面授業)	広範なリサーチを心掛ける
	5	Viva! SF : Chapter 3 Review Quizzes (4/22 Teamsによる特例授業)	3課の復習
	6	Viva! SF : Chapter 3 Online Search (4/26 対面授業)	広範なリサーチを心掛ける
	7	Viva! SF : Chapter 4 Review Quizzes (5/ 6 Teamsによる特例授業)	4課の復習
	8	Viva! SF : Chapter 4 Online Search (5/10 対面授業)	広範なリサーチを心掛ける
	9	Viva! SF : Chapter 5 Review Quizzes (5/13 Teamsによる特例授業)	5課の復習
	10	Viva! SF : Chapter 5 Online Search (5/17 対面授業)	1 - 5課の復習
	11	TED Talks: My favorite talk (5/20 Teamsによる特例授業)	様々な意見に触れる
	12	Viva! SF : Chapter 6 Review Quizzes (5/24 対面授業)	6課の復習
	13	Viva! SF : Chapter 6 Online Search (5/27 Teamsによる特例授業)	広範なリサーチを心掛ける
	14	Viva! SF : Chapter 7 Review Quizzes (5/31 対面授業)	7課の復習
	15	Viva! SF : Chapter 7 Online Search (6/ 3 Teamsによる特例授業)	広範なリサーチを心掛ける
	16	Viva! SF : Chapter 8 Review Quizzes (6/ 7 対面授業)	8課の復習
	17	Viva! SF : Chapter 8 Creating Slogan(6/10 Teamsによる特例授業)	発想を英語に乗せる
	18	Viva! SF : Chapter 9 Review Quizzes (6/14 対面授業)	9課の復習
	19	Viva! SF : Chapter 9 Mini Essay (6/17 Teamsによる特例授業)	ライティングの基礎を確認
	20	Viva! SF : Chapter 10 Review Quizzes (6/21 対面授業)	10課の復習
	21	Viva! SF : Chapter 10 Online Search (6/24 Teamsによる特例授業)	広範なリサーチを心掛ける
	22	Online Search : Comparative Culture (6/28 対面授業)	比較文化の発想に触れる
	23	Mini Essay : Comparative Culture (7/ 1 Teamsによる特例授業)	比較文化のリサーチを広げる
	24	Selected topics (7/ 5 対面授業)	ディスカッションの準備
	25	Selected topics (7/ 8 Teamsによる特例授業)	ディスカッションの準備
	26	Selected topics (7/12 対面授業)	各自の発言の振り返り
	27	Selected topics (7/15 Teamsによる特例授業)	各自の発言の振り返り
	28	Selected topics (7/19 対面授業)	各自の発言の振り返り
	29	Speaking Test (7/22 Teamsによる特例授業)	各自の発言の振り返り
	30	Speaking Test (7/26 対面授業)	各自の発言の振り返り
31	Make-up Session : Review (7/29 Teamsによる特例授業)	各自の発言の振り返り	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>主教材のViva! San Franciscoについては教科書購入の必要はない。LMSを通じての自宅での予習・復習が可能なので活用してください。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>Viva! San Franciscoについては学外からのアクセスも可能なので、毎回復習を欠かさないこと。今学期はCOVID-19の影響により教室における対面のペアワークができないのが最大の弱みではありますが、それを補うことができるよう、各自Calabo Bridge上の会話練習問題を繰り返し行い、会話のリズムを習得できるよう努力してください。授業の進行状況によってはシラバスを変更する可能性があります。</p>
	<p>評価</p> <p>Review quizzes = 40% Online search and mini essay assignments = 40%</p> <p>Speaking test = 20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語I、IIで習得した基礎的な知識と能力を活かして学びを深め、継続していけるような態勢を作るために、楽しんで学習する癖をつける。社会人としての国際的な視野を広げるために日本のメディアで報道されない情報も英語で収集することを習慣とする。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-ジョーン ターバート [英米]	1年	Joan Tarbert Uezu ptt500@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>The purpose of this class is to help students develop conversational skills while working on improving their reading and writing skills. Students will learn new vocabulary and how to use the vocabulary they already know in daily conversation. They will also study grammar as it is used in daily conversation. 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】</p>	<p>As a native speaker of English, I will teach you English as it is used in real life. This class will give you many chances to practice speaking in English. In general, I will only speak in English in class. Japanese will sometimes be used on handouts and quizzes, but I will do what I can to help students who are not Japanese.</p>
	到達目標	
	<ul style="list-style-type: none"> • You will be able to have basic English conversations more smoothly and naturally. • You will be able to write basic English sentences more accurately and clearly. • You will be able to use the vocabulary and grammar you learn in daily conversation. • You will be able to give short presentations in English. 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Self-introductions	Buy text and supplies
	2	WH-questions	WH-questions
	3	Unit 1 (Classroom help language)	Write sentences
	4	Unit 1 (Classroom help language)	Study for quiz
	5	Quiz / Unit 2 (Talking about family)	Study for quiz
	6	Quiz / Unit 2 (Talking about family)	Vocabulary for describing people
	7	Describing people	Vocabulary
	8	Describing people	Study for quiz
	9	Quiz / Unit 3 (Gestures)	Study for quiz
	10	Quiz / Unit 3 (Gestures)	Work on conversation
	11	Unit 4 (Abilities)	p. 23
	12	Unit 4 (Abilities)	Think of jobs
	13	Jobs	p. 30
	14	Jobs	p. 30 handout
	15	Unit 5 (Emotions)	p. 31
	16	Unit 5 (Emotions)	Study for quiz
	17	Quiz / Unit 5 (Emotions)	p. 38
	18	Unit 6 (Prepositions of place)	Review prepositions
	19	Unit 6 (Prepositions of place)	Write sentences about room
	20	Rules	Finish chart
	21	Rules	Study for quiz
	22	Quiz / Unit 7 (Permission)	Health problem handout
	23	Health	Study for quiz
	24	Quiz / Health	Prepare for interview
	25	Prefer / Like better	Prepare for interview
	26	Review	Prepare for interview
	27	Interview test	Prepare for interview / Review
	28	Interview test	Prepare for interview / Review
	29	Interview test	Review for exam
30	Final exam	Review for listening test	
31	Listening test		

	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English I will cover the first half of the text, On Your Marks! (Intercom Press). In addition, the instructor will provide handouts. Please buy an A4 file for this class. Also, students should bring dictionaries (paper or electronic) to class. Cell phone dictionaries cannot be used in class.</p>
<p>学 び の 実 践</p>	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> • More than 30 minutes late to class= 1 absence / Being late twice= 1 absence • Less than 66% attendance= 不可 • Homework must be done on time. Late homework=0 • If you are absent when homework is due, please hand it in at the beginning of the next class. • If you are absent when there is a quiz, there will be no makeup quiz. • Students should use English in class as much as possible. • Cell phones cannot be used in class. They should be set to silent mode and put away during class. • Students should be quiet when the instructor is speaking.
	<p>評価</p> <p>Final exam/listening test/quizzes/homework (60%) Interview test (20%) Class participation (10%) Presentation (10%) Note: If classes are held online, the information above may change.</p>
<p>学 び の 継 続</p>	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>Students should continue working to improve their communication skills in English II, as well as Oral Communication II.</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水 4・土 3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-富里 明美 [日文]	1年	メールで問い合わせること。 ptt612@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい コミュニケーション能力向上のため、CALL教室においては英会話学習用ソフトを使用してネイティブスピーカーの発音を学び、応用できるようにする。講義中はテキストを使用し、英語のリスニング・リーディングの技能を向上させる。	メッセージ 語学の学習においては、発言することが重要であるので、評価方法の中に「講義への貢献度」を設けた。講義中の学生の積極的な発言や参加を重視する。
	到達目標 基本的な英会話の能力を養う。 英語で簡単な討論ができる。 平易な英語で書かれた物語を理解できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	(特) Class Orientation (Text Lesson 1~7)	Text: Lesson 1 予習
	2	On-line class orientation	Self introduction 準備
	3	Zoom meeting: Introduce Yourself (4~6 students) & Text Lesson 1	Text: Lesson 1 予習
	4	On-line story - The tale of Peter Rabbit -	The tale of Peter Rabbit 予習
	5	Zoom meeting: Introduce Yourself & Text Lesson 1	Text Lesson 1 復習&予習
	6	On-line assignment: Lesson 1 & Diary in English (英文日記)	Diary in English 英文日記を書く
	7	Zoom meeting: Introduce Yourself & Text Lesson 2	Text: Lesson 2 予習
	8	On-line assignment: Lesson 2	Text Lesson 2
	9	Zoom meeting: Introduce Yourself & Text Lesson 2	Diary in English 英文日記を書く
	10	On-line assignment: Lesson 2	Text: Lesson 2 復習
	11	Zoom meeting: Introduce Yourself & Text Lesson 3	Text Lesson 3 予習
	12	On-line assignment: Lesson 3	Diary in English 英文日記を書く
	13	Zoom meeting: Introduce Yourself & Text Lesson 3	Text: Lesson 3 課題
	14	On-line assignment: Dictation (英語の曲の書き取り)	Dictation
	15	Zoom meeting: Text Lesson 3	Text: Lesson 3 復習
	16	On-line assignment: Diary in English (英文日記)	Diary in English 英文日記を書く
	17	Review Lesson 1~3 for Mid-term exam	Text: Lesson 4 予習
	18	Mid-term examination & Lesson 4	Text: Lesson 4 課題
	19	Zoom meeting: Lesson 4	Text: Lesson 4 復習
	20	On-line assignment: Lesson 4 & Diary in English	Diary in English 英文日記を書く
	21	Zoom meeting: Lesson 5	Text: Lesson 5 予習
	22	On-line assignment: Lesson 5 & Dictation (英語のスピーチの書き取り)	Text: Lesson 5 課題
	23	Zoom meeting: Lesson 6	Text: Lesson 6 予習
	24	On-line assignment: Lesson 6	Text: Lesson 6 課題
	25	Zoom meeting: With American drama, Be the best actor/actress!	課題 英語で声優に！予習
	26	On-line assignment: Practice, Be the best actor/actress!	課題：グループで練習
	27	Zoom meeting: Lesson 7 & Presentation: Be the best actor/actress!	Text: Lesson 7 予習
	28	On-line assignment: Lesson 7	Text: Lesson 7 課題
	29	Zoom meeting: Presentation: Be the best actor/actress!	課題：グループで練習
30	Review Lessons 4~7 & Final Examination	Text: Lesson 4-7 復習	
31	Review Final Examination & Make-up Exam	Final examination 復習	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など テキスト： Journeys - Communication for the Future - ASAHI PRESS (2000円+tax)</p>
	<p>学びの手立て 1. 15分までの遅刻は、3回で1回の欠席とみなす。15分以上30分までの遅刻は、2回で1回の欠席とみなす。 2. 講義中に課せられた課題および宿題の提出の期限は厳守すること。</p>
	<p>評価 中間テスト：15% 期末テスト：15% クイズ：5% 提出物：30% 課題(presentation)：15% 授業参加率：10% 講義への貢献度：10%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 英語 II'</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	野口 正樹 [英米]	1年	noguchi@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 本講義は、初日の orientation を除き、各種活動(dictation, definition game, listening comprehension, spot the differences 等)を主軸に行います。先ず、1文毎の英文を1度聴取し、聞いた通りの英語を書き取ります。続いて、曜日や週毎に設定された課題を通して、oral skills の向上を目指します。	メッセージ 4技能の中の listening & speaking 及び異文化理解に焦点を当てます。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 sentence-level の意味処理を確実に出来る。 日常生活に根差した言語表現の幅を広げる。	

学びの準備	到達目標 sentence-level の意味処理を確実に出来る。 日常生活に根差した言語表現の幅を広げる。
-------	--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation (self-introduction を含む)	syllabus の熟読
	2	Worksheet 1	quiz予習, 課題学習
	3	Worksheet 2	quiz予習, 課題学習
	4	Worksheet 3	quiz予習, 課題学習
	5	Worksheet 4	quiz予習, 課題学習
	6	Worksheet 5	quiz予習, 課題学習
	7	Worksheet 6	quiz予習, 課題学習
	8	Worksheet 7	quiz予習, 課題学習
	9	Worksheet 8	quiz予習, 課題学習
	10	Worksheet 9	quiz予習, 課題学習
	11	Worksheet 10	quiz予習, 課題学習
	12	Worksheet 11	quiz予習, 課題学習
	13	Worksheet 12	quiz予習, 課題学習
	14	Worksheet 13	quiz予習, 課題学習
	15	Review (Worksheets 1-13)	worksheets 総復習
	16	Worksheet 14	quiz予習, 課題学習
	17	Worksheet 15	quiz予習, 課題学習
	18	Worksheet 16	quiz予習, 課題学習
	19	Worksheet 17	quiz予習, 課題学習
	20	Worksheet 18	quiz予習, 課題学習
	21	Worksheet 19	quiz予習, 課題学習
	22	Worksheet 20	quiz予習, 課題学習
	23	Worksheet 21	quiz予習, 課題学習
	24	Worksheet 22	quiz予習, 課題学習
	25	Worksheet 23	quiz予習, 課題学習
	26	Worksheet 24	quiz予習, 課題学習
	27	Worksheet 25	quiz予習, 課題学習
	28	Worksheet 26	quiz予習, 課題学習
	29	Worksheet 27	quiz予習, 課題学習
30	Review (Worksheets 14-27)	worksheets 総復習	
31	Final	packet 提出	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 講義内で配布する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て MP3 や smartphone を利用して例文を繰り返し聴く。 Internet や図書館を活用して課題に答える。</p>
	<p>評価 ① 授業参加度 20% ② dictation/homework 30% ③ 期末試験 30% ④ 課題提出 20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 Oral Communication I と関連づける。 English II につなげる。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-赤嶺 ゆかり [法律・地行・社文 (2年以上)]	2年	ptt807@oku.ac.jp	

学びの準備	ねらい (1) 感情や事実、考えや意図等を伝える活動 (ペアワークやグループワーク) を通して、スピーキングおよびリスニングスキルを高める。 (2) 他者を受容し多様な価値観を受容するコミュニケーション能力を高める	メッセージ 互いを尊重し、共に学びあう学習環境を作り上げるコミュニティの一員であるという自覚をもち、主体性を持って授業に参加しよう。出席重視はもちろんですが、積極的に授業へ参加 (発言や会話の練習) できることが最も重要です。事前準備 (音読・暗唱の練習) ができる学生の受講を期待します。
	到達目標 (1) 調べた情報を英語で他者に伝え、自らの問題意識に引き付けて考え英語で自分の考えを発信できる。 (2) クラスメートの発言・発話を聞き、その内容を把握し理解し、英語でリアクション・コミュニケーションできる。 (3) 互いの英語による発話・発言を尊重し、協力して課題に取り組むことができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Week1 イン트로ダクション (授業の進め方の説明と小テスト) 授業内容は変わる場合があります	シラバスの確認
	2	Week1 イン트로ダクション	自己紹介・他者紹介について
	3	Week2 Unit 1 Icebreaking	Section1 を予習
	4	Week2 Unit 1 Icebreaking	Section2 "
	5	Week3 Unit 1 Icebreaking 発表1	Section3 "
	6	Week3 Unit 1 Icebreaking 小テスト1	Section4 "
	7	Week4 Unit 2 Describing People (Character)	Section1 を予習
	8	Week4 Unit 2 Describing People (Character)	Section2 "
	9	Week5 Unit 2 Describing People (Character) 発表2	Section3 "
	10	Week5 Unit 2 Describing People (Character) 小テスト2	Section4 "
	11	Week6 Unit 3 Describing People (Appearance)	Section1 を予習
	12	Week6W Unit 3 Describing People (Appearance)	Section2 "
	13	Week7 Unit 3 Describing People (Appearance) 発表3	Section3 "
	14	Week7 Unit 3 Describing People (Appearance) 小テスト3	Section4 "
	15	Week8 TBA	TBA
	16	Week8 中間テスト (Unit 1-3)	
	17	Week9 テスト振り返り・音読	音読
	18	Week9 Unit 4 Inviting People	Section1 を予習
	19	Week10 Unit 4 Inviting People	Section2 "
	20	Week10 Unit 4 Inviting People 発表4	Section3 "
	21	Week11 Unit 4 Inviting People 小テスト4	Section4 "
	22	Week11 Unit 5 Giving Directions	Section1 を予習
	23	Week12 Unit 5 Giving Directions	Section2 "
	24	Week12 Unit 5 Giving Directions 発表5	Section3 "
	25	Week13 Unit 5 Giving Directions 小テスト5	Section4 "
	26	Week13 Unit 6 Complaining & Apologizing	Section1 を予習
	27	Week14 Unit 6 Complaining & Apologizing	Section2 "
	28	Week14 Unit 6 Complaining & Apologizing 発表6	Section3 "
	29	Week15 Unit 6 Complaining & Apologizing 小テスト6	Section4 "
30	Week15 テスト対策・振り返り	テスト勉強	
31	Week16 期末テスト (Unit4-6)		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Google Classroomにて学習が記録されます。出席者は授業時間以内、欠席者は期限内に提出してください。 ・Google Classroomにてハンドアウト（タスクシート）を一斉に配布します。（スマホ、ipad、ノートパソコンなど持ち込み可能。）
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ★履修の心構え：対面授業でも（遠隔授業でも）ペアワークやグループワーク等が毎回ある為、共同学習に積極的に参加できること。 ★学びを深めるために：授業内容で理解が難しい場合は、直ぐに講師に質問もしくは相談してください。一緒にがんばりましょう！
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TASK(課題) 提出（ペア・グループワークへの参加と貢献、学びのプロセス記録）70% ・スピーキングテスト(スピーキング) 30% *授業全体の1/3 以上の欠席は不可となります。
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>(1) 英語Ⅱ (2) 英語で問題意識やディスカッション、および自分の意見など発信ができるために、社会問題にアンテナをはり沖縄や日本、世界のニュースに触れて欲しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	山川 満夫 [法律・地行]	1年	myamakawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい スピーキング力とリスニング力の育成を中心に、英語の基礎力アップを目指します。Warm-Up活動では中学・高校での既習事項を振り返りながら、インターアクティブ（双方向）な授業展開をしますので、積極的な参加が望まれます。	メッセージ 中学校教諭としての現場での経験を活かし、英語の基礎的事項から指導しますので、英語に苦手意識を持っている方にとっても、学び直す絶好のチャンスです。一緒に英語を勉強しましょう。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 ・基礎的な英文を聞いて、内容を理解することができる。 ・身近な事柄について、英語を使って話すことができる。 ・英語に対して興味・関心を高め、さらに学び続ける意欲を持つようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	英語の基礎力養成 1	英語による自己紹介
	3	Viva! San Francisco Ch.1 他	役立つ英語表現 (1)
	4	英語の基礎力養成 2	English Ace Unit 1の復習
	5	Viva! San Francisco Ch.2 他	役立つ英語表現 (2)
	6	英語の基礎力養成 3	English Ace Unit 2の復習
	7	Viva! San Francisco Ch.3 他	役立つ英語表現 (3)
	8	英語の基礎力養成 4	English Ace Unit 3の復習
	9	Viva! San Francisco Ch.4 他	役立つ英語表現 (4)
	10	英語の基礎力養成 5	English Ace Unit 4の復習
	11	Viva! San Francisco Ch.5 他	役立つ英語表現 (5)
	12	英語の基礎力養成 6	English Ace Unit 5の復習
	13	Viva! Ch.1~5総まとめ (テスト)	役立つ英語表現の総復習
	14	英語の基礎力養成 7	English Ace Unit 6の復習
	15	Viva! San Francisco Ch.6 他	役立つ英語表現 (6)
	16	英語の基礎力養成 1~7 (中間点検)	English Ace Unit 1~6の総復習
	17	Viva! San Francisco Ch.7 他	役立つ英語表現 (7)
	18	英語の基礎力養成 8	English Ace Unit 7の復習
	19	Viva! San Francisco Ch.8 他	役立つ英語表現 (8)
	20	スピーチテスト準備	スピーチテスト原稿の作成
	21	Viva! San Francisco Ch.9 他	役立つ英語表現 (9)
	22	スピーチテスト原稿提出	スピーチ原稿の暗唱
	23	Viva! San Francisco Ch.10 他	役立つ英語表現 (10)
	24	英語の基礎力養成 9	English Ace Unit 8の復習
	25	Viva! San Francisco Ch.11 他	役立つ英語表現 (11)
	26	英語の基礎力養成 10	語彙力アップ (1)
	27	Viva! San Francisco 総まとめ(1)	役立つ英語表現の総復習
	28	英語の基礎力養成 11	語彙力アップ (2)
	29	Viva! San Francisco 総まとめ(2)	役立つ英語表現の総復習
30	英語の基礎力養成 12	English Ace Unit 1~8の総復習	
31	英語の基礎力養成 8~12 (期末点検)	同上	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Viva! San Francisco (ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし) 2. 講師指定の教科書 (オリエンテーション時に連絡する。)
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義への出席確認は、ポータル授業連絡を通して確認するので、必ずポータルの掲示をチェックすること。 ・課題学習等、積極的な態度で臨むように心がけること。 ・講義時間以外にも、指定教材のe-learningを積極的に活用すること。
	<p>評価</p> <p>授業参加度(15%)、中間テスト(30%)、スピーチテスト(20%)、期末テスト(35%)、の結果を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この講義で学んだことを活かし、英語で「書くこと」や「読むこと」の力を高めるために、英語Ⅲ及びⅣを履修することが望ましい。

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-宮平 勝行[法律・地行]	1年	Eメール (ptt900@okiu.ac.jp) と電話 (098-895-8303) で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語のリスニングとスピーキング力の向上を図ることによってコミュニケーション能力を高めるのがこのクラスの目的です。大学生にとって馴染みのある日常的な題材からグローバルな科学的トピックまで、様々な話題をもとに英語の会話やナレーションを聴き、自ら批判的に考え、英語で表現する訓練を繰り返します。こうした活動を継続することによって大学生としての教養と英語力を高めます。	新型コロナウイルスが収束するまでの間、本講義は遠隔授業で行います。遠隔ビデオ会議ソフトZOOM、Google Classroom、そして沖国大ポータルを用いて、講義だけでなく、小グループの学習活動や個人による口頭発表をオンラインで行います。授業ではマルチメディア教材を利用し、常にネイティブの英語に触れる学習環境を用意しています。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 継続して英語を学習する習慣をつけ、楽しみながら英語が学習できるようになる。 2. 英語の語彙力を伸ばし、簡単な英会話や英語のナレーションを理解できるようになる。 3. グローバル化した現代の様々な話題に親しみ、自らの基本的な見解について簡単な英語で表現できるようになる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション オンライン授業について、英語による自己紹介	シラバスを事前に読むこと
	2	[Pathway] Living for Work, Day 1	Unit 1の予習
	3	[Pathway] Living for Work, Day 2	Unit 1の予習
	4	[Pathway] Living for Work, Day 3	Unit 1の予習
	5	[Pathway] Living for Work, Day 4	Unit 1の予習
	6	[Pathway] Living for Work, Day 5	Unit 1の予習
	7	Unit Quiz 1; [Pathway] Good Times, Good Feelings, Day 1	Unit 1の復習、Unit 2の予習
	8	[Pathway] Good Times, Good Feelings, Day 2	Unit 2の予習
	9	[Pathway] Good Times, Good Feelings, Day 3	Unit 2の予習
	10	[Pathway] Good Times, Good Feelings, Day 4	Unit 2の予習
	11	Unit Quiz 2; [Pathway] The Marketing Machine, Day 1	Unit 2の復習、Unit 3の予習
	12	[Pathway] The Marketing Machine, Day 2	Unit 3の予習
	13	[Pathway] The Marketing Machine, Day 3	Unit 3の予習
	14	[Pathway] The Marketing Machine, Day 4	Unit 3の予習
	15	Midterm Exam (中間テスト)	既習教材の復習・試験準備
	16	[Pathway] Wild Weather, Day 1	Unit 4の予習
	17	[Pathway] Wild Weather, Day 2	Unit 4の予習
	18	[Pathway] Wild Weather, Day 3	Unit 4の予習
	19	[Pathway] Wild Weather, Day 4	Unit 4の予習
	20	Unit Quiz 4; [Pathway] Focus on Food, Day 1	Unit 5の予習
	21	[Pathway] Focus on Food, Day 2	Unit 5の予習
	22	[Pathway] Focus on Food, Day 3	Unit 5の予習
	23	[Pathway] Focus on Food, Day 4	Unit 5の予習
	24	Unit Quiz 5; [Pathway] Housing for the Future, Day 1	Unit 5の復習、Unit 6の予習
	25	[Pathway] Housing for the Future, Day 2	Unit 6の予習
	26	[Pathway] Housing for the Future, Day 3	Unit 6の予習
	27	[Pathway] Housing for the Future, Day 4	Unit 6の予習
	28	[Pathway] Exploring Space, Day 1	Unit 7の予習
	29	[Pathway] Exploring Space, Day 2	Unit 7の予習
	30	[Pathway] Exploring Space, Day 3	Unit 7の予習
31	Final Exam (期末テスト)	既習教材の復習・試験準備	

	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Chase, Rebecca T. (2017). Pathways: Listening, speaking, and critical thinking Book 1 (2nd Edition)</p>
<p>学 び の 実 践</p>	<p>学びの手立て</p> <p>1. 授業活動への貢献度は、授業中の発言を通してどれだけクラス全体の知識の向上に貢献したかで主に判断します。 2. 出欠状況は「授業への貢献度」として評価します。正当な理由がなく講義を欠席した場合は、1回ごとに総合点（100点）から2点ずつ減点します。3回の遅刻は1回の欠席とみなしますので注意しましょう。 3. 予習（特にオンライン学習）を欠かさず行い、授業中はクラス・ディスカッションに当てましょう。 4. 学期中、1/3（10回）以上授業を欠席した場合は、学則により自動的に「不可」の成績となります。 5. やむを得ぬ理由で授業に出席できない学生は、事前に電話もしくは電子メールで申し出てください。事前の申し出がない限り追試などは行いません。また、事前の申し出がなく、予定された日に試験やクイズを受けられない場合、当該試験・クイズは0点となります。</p>
	<p>評価</p> <p>1. 語彙力とリスニング力養成のためのquizを実施します。（5～7回、20%）</p> <p>2. 中間テスト（30%）</p> <p>3. 期末テスト（30%）</p> <p>4. 受講態度及び授業への貢献度を評価します（20%）</p>
<p>学 び の 継 続</p>	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期に開講する「英語II」の講義で更に英語のリスニングとスピーキング力を強化します。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 ジュニョール デビッド [社文・人福]	1年	Itokazu_david@yahoo.com 090-3797-8665	

学びの準備	ねらい The purpose of the English Class is to learn the basic English Grammar and basic English Conversation in order to communicate globally among the community of nations. 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】	メッセージ Learning English as a second language will give students a tremendous advantages in terms of personal growth and career opportunist date, there are about 122 countries in the world that can speak English. In other words, by just learning and acquiring just one additional language: English could make students "global citizens".
	到達目標 Students should continue learning English and develop the skill for global communication. The English skill could be utilized to help manage Japanese business abroad. It could contribute to Japanese multinational corporations in Japan with international market. Aside from the overseas opportunity, Japanese students with English as second language could apply jobs in international organizations funded by the Japanese government such as WHO, UN, and Asian Development Bank to name a few. The English knowledge acquired by the students could support revive the economy of Japan and contribute to the global economy.	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Dialogue Introduction: First day of Class; Countable Nouns; When to use "a" and "an"	Study Introduction Dialogue
	2	Personal Pronouns; Simple Present Tense; Verb "To Be"; Present Cont.Tense; Rules for	Get a partner and practice
	3	Helping Verbs: Can and Do; Verbs of Emotion	Prepare for Summary Test
	4	Unit 1 Summary Test	Study second Dialogue with a
	5	Dialogue: Meeting with Classmate's Mother; Uncountable Nouns; Countable Nouns; Unit	Choose an interesting News on
	6	Verb "To Want"; Use of "Would Like"; Some vs. Any; Some more vs. Any more	Local News, National or
	7	Unit 2 Summary Test	Based on your Major Subject or
	8	Dialogue: Talking to Mon after School	Try to give us the Importance
	9	Adjectives: Used with Verb "To Get"; Comparative Adjectives; Comparisons using "than"	Research on "Why Study
	10	Superlatives Adjectives; Adjectives that are Exceptions	Make a report: Why Study
	11	Unit 3 Summary Test	Continue Discussion
	12	Dialogue: A New Student	How to Make English as a
	13	Simple Past Tense of Regular and Irregular Verbs, Verbs "To Be"	Health and Aging Society
	14	Past Continuous Tense; Simple Past; Use of "ago"; Use vs Used to; Have vs Have to	Economic Impact to Society
	15	Unit 4 Summary Test	Economic Impact to Internat
	16	Verb + Intinitive; Pronouns; Prepositions	News that you Can Use on:
	17	Prepositions + Pronouns; Adjective / Verb + Preposition	Economics, Education, Health and
	18	Unit 5 Summary Test	and Life Expectancy
	19	Dialogue: Talking to a Friend	Report and Discussion
	20	Adjectives + Prepositions; Adverbs vs Adjectives; Adverbs of Frequency; Well vs Good	Memorize a Dialogue for
	21	Unit 6 Summary Test	Continue for Final Oral
	22	Dialogue: Nice Surprise	Preparation for the Final
	23	Possessive Pronouns; Absolute Possessive Pronouns, Commands with "Don't/Be/Let's"	End-Preparation for Final Exam
	24	Commands with "Start/Stop	End-Preparation for Final Exam
	25	Future Tense; Helping Verb "will"; Think + Will	End-Preparation for Final Exam
	26	Unit 7 Summary Test	End-Preparation for Final Exam
	27	Passive Voice; Past Participles; Passive Voice: Present/Past/Future Tense; Passive	End-Preparation for Final Exam
	28	Use of "Should and Ought to"	End-Preparation for Final Exam
	29	Unit 8 Summary Test	End-Preparation for Final Exam
30	Dialogue: Missing Home; Song: Springtime is Here	End-Preparation for Final Exam	
31	Song: Summer Plans		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English Conversation for Japanese Speakers By Beni Fogel and Dr. Gary Rasof World English (National Geographic)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>Students are expected to come on time. Three 15 minutes late is equivalent to one absence. No talking during class hours except class discussion.</p>
	<p>評価</p> <p>Grading System: Discussion: 50%, Homework: 25%, Tests: 25% *10 or more absences= NO CREDIT</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>Continue English III and IV.</p>

※ポリシーとの関連性 今まで学んできた英語を「コミュニケーションの道具」としていかせるよう練習し、「自分でもできる!」という自信をつける。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-中根 佳 [経済]	1年	keistocklin@gmail.com	

学びの準備	ねらい ①英語を音で聞いて理解する力、②知っている単語、表現を使って自分の気持ちを簡単な英語で伝える力、を伸ばし、英語への苦手意識を克服する。	メッセージ 「外国に行ってみたいし、留学にも興味がある」が、「英語が話せないから無理」だと思ってしまう学生もいるようです。英語はコミュニケーションの道具です。コミュニケーションは、文法の正しい文章を書き、それをお互いに見せ合うものではありません。英語＝文法というアイデアを一度忘れて授業に参加して下さい。
	到達目標 ①短いスピーチを聞き、与えられている情報を理解する事が出来る。 ②自分の考えを、簡単な英語で説明する事が出来る。 ③ワードを使用し文書を作成する事が出来る。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスの内容を理解する
	2	中間テストについて	スピーチのトピックを決定する
	3	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	4	スピーチに使用する文法確認	スピーチのアウトライン作成
	5	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	6	スピーチに使用する文法確認	スピーチの下書き作成
	7	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	8	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	9	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	10	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	11	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	12	スピーチの最終確認 (ペア・グループ学習)	スピーチを完成させ練習
	13	中間テスト (スピーチ&リスニング) : Day 1	テストに備える
	14	Extra Credit	力試し
	15	中間テスト (スピーチ&リスニング) : Day 2	テストに備える
	16	中間テストの振り返り	修正点を考える
	17	期末テストについて	スピーチのトピックを決定する
	18	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	19	スピーチに使用する文法確認	スピーチのアウトライン作成
	20	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	21	スピーチに使用する文法確認	スピーチの下書き作成
	22	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	23	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	24	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	25	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	26	スピーチの最終確認 (ペア・グループ学習)	スピーチを完成させ練習
	27	期末テスト (スピーチ&リスニング) : Day 1	テストに備える
	28	Extra Creit	力試し
	29	期末テスト (スピーチ&リスニング) : Day 2	テストに備える
30	期末テストの振り返り	修正点を考える	
31	まとめ	次年度へむけて	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など テキストは使用しません。授業に必要な教材は、沖国大ポータルにて配布します。</p>
学びの 実践	<p>学びの手立て</p> <p>「履修の心構え」：出欠確認は毎回行います。授業開始のチャイム後30分以内を遅刻とみなし、それ以降はどんな理由があるにせよ欠席としてカウントします。欠席した日の授業内容は必ず次の授業までに自身で確認し、「休んでいたから分からなかった」という事がないようにして下さい。授業中に携帯をいじるなど授業とは無関係な事を行っている等を見つけた場合、即欠席扱いとします。</p> <p>「学びを深めるために」：授業の最初に行うクイズの問題は、必ず前回の授業の内容から出題します。授業に集中ししっかり復習すれば、確実に点数が取れる内容になっています。授業は、ペア・グループワークを使って進めていきます。隣り同士助け合いながら、分からない所をそのままにしないよう学習して下さい。</p>
	<p>評価</p> <p>①各Unitの課題・その他提出物 = 40% ②中間テスト (Speaking) = 20% ③中間テスト (Listening) = 10% ④期末テスト (Speaking) = 20% ⑤期末テスト (Listening) = 10%</p>
学びの 継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>「次のステージ」：映画を英語で見てください。何回か繰り返し見ると、知ってる単語が結構使われている事に気がつきますよ。 「関連科目」：英語II、英語III～IV</p>

※ポリシーとの関連性 今まで学んできた英語を「コミュニケーションの道具」としていかせるよう練習し、「自分でもできる!」という自信をつける。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-中根 佳 [社文・人福]	1年	keistocklin@gmail.com	

学びの準備	ねらい ①英語を音で聞いて理解する力、②知っている単語、表現を使って自分の気持ちを簡単な英語で伝える力、を伸ばし、英語への苦手意識を克服する。	メッセージ 「外国に行ってみたいし、留学にも興味がある」が、「英語が話せないから無理」だと思ってしまう学生もいるようです。英語はコミュニケーションの道具です。コミュニケーションは、文法の正しい文章を書き、それをお互いに見せ合うものではありません。英語＝文法というアイデアを一度忘れて授業に参加して下さい。
	到達目標 ①短いスピーチを聞き、与えられている情報を理解する事が出来る。 ②自分の考えを、簡単な英語で説明する事が出来る。 ③ワードを使用し文書を作成する事が出来る。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスの内容を理解する
	2	中間テストについて	スピーチのトピックを決定する
	3	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	4	スピーチに使用する文法確認	スピーチの下書き作成・文法確認
	5	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	6	スピーチに使用する文法確認	スピーチの下書き作成・文法確認
	7	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	8	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	9	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	10	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	11	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	12	スピーチの最終確認 (ペア・グループ学習)	スピーチを完成させ練習
	13	中間テスト (スピーチ&リスニング) : Day 1	テストに備える
	14	Extra Credit	力試し
	15	中間テスト (スピーチ&リスニング) : Day 2	テストに備える
	16	中間テストの振り返り	修正点を考える
	17	期末テストについて	スピーチのトピックを決定する
	18	スピーチに使用する文法確認	スピーチの下書き作成・文法確認
	19	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	20	スピーチに使用する文法確認	スピーチの下書き作成・文法確認
	21	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	22	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	23	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	24	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	25	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	26	スピーチの最終確認 (ペア・グループ学習)	Reading/Writing
	27	期末テスト (スピーチ&リスニング) : Day 1	テストに備える
	28	Extra Creit	力試し
	29	期末テスト (スピーチ&リスニング) : Day 2	テストに備える
30	期末テストの振り返り	修正点を考える	
31	まとめ	次年度へむけて	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など テキストは使用しません。授業に必要な教材は、担当教員が準備します。</p>
学びの 実践	<p>学びの手立て</p> <p>「履修の心構え」：出欠確認は毎回行います。授業開始のチャイム後30分以内を遅刻とみなし、それ以降はどんな理由があるにせよ欠席としてカウントします。欠席した日の授業内容は必ず次の授業までに自身で確認し、「休んでいたから分からなかった」という事がないようにして下さい。授業中に携帯をいじるなど授業とは無関係な事を行っている等を見つけた場合、即欠席扱いとします。</p> <p>「学びを深めるために」：授業の最初に行うクイズの問題は、必ず前回の授業の内容から出題します。授業に集中ししっかり復習すれば、確実に点数が取れる内容になっています。授業は、ペア・グループワークを使って進めていきます。隣り同士助け合いながら、分からない所をそのままにしないよう学習して下さい。</p>
	<p>評価</p> <p>①各Unitの課題・その他提出物 = 40% ②中間テスト (Speaking) = 20% ③中間テスト (Listening) = 10% ④期末テスト (Speaking) = 20% ⑤期末テスト (Listening) = 10%</p>
学びの 継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>「次のステージ」：映画を英語で見てください。何回か繰り返し見ると、知ってる単語が結構使われている事に気がつきますよ。 「関連科目」：英語II、英語III～IV</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 淳子[社文・人福]	1年	メールアドレスを初日配布シラバスに記載	

学びの準備	ねらい グローバル教育の推進に必要な英語コミュニケーション能力を高める事を主目的とする。特に英語のオーラルコミュニケーションに必要な文法の基礎を固め、アウトプットトレーニングを中心に行う	メッセージ 特にリスニング力とスピーキング力とを伸ばす訓練を行います。聞き取った言葉を瞬時に理解しすぐに反応する練習をペアやグループで行い英語での円滑なコミュニケーションを目指します。又、実用的な会話表現を学びながらコミュニケーションに必要な英文法の基本を学び、次年度必修のessay writingに求められる英語力を養成する。【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 コンテンツを英語で理解し発信する力を養成する事を主目的とする。英語のコンテンツを聴き、理解の確認を行い、グループメンバーと意見交換できるようになることを目指す。ディスカッションやプレゼンテーションを通して英語によるOUTPUT力を磨く。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション（基本遠隔授業）対面日程10/2, 11/6, 12/4, 1/5, 2/5（場所5号館314号室）	
	2	CALL 授業15	CALL課題
	3	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 復習1	(文法テキスト) エクササイズ
	4	CALL 授業16	CALL課題
	5	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 復習2	エクササイズ
	6	CALL 授業17	CALL課題
	7	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 復習3	エクササイズ
	8	CALL 授業18	CALL課題
	9	CALL 授業19	エクササイズ
	10	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 15	エクササイズ
	11	CALL 授業20	CALL課題
	12	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 16	エクササイズ
	13	CALL 授業21	CALL課題
	14	CALL 授業22	CALL課題
	15	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 17	エクササイズ
	16	中間テスト(プレゼンテーション)	CALL課題
	17	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 17	エクササイズ
	18	CALL 授業23	CALL課題
	19	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 18	エクササイズ
	20	CALL 授業24	CALL課題
	21	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 18	エクササイズ
	22	CALL 授業25	CALL課題
	23	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 19	エクササイズ
	24	CALL 授業26	CALL課題
	25	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 19	エクササイズ
	26	CALL 授業27	CALL課題
	27	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 20	エクササイズ
	28	CALL 授業28	CALL課題
	29	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 20	エクササイズ
30	期末テスト(プレゼンテーション)		
31	解説		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など (前期から継続の場合は新規購入テキストは無し) 1. マーフィーのケンブリッジ英文法 初級編 第3版 (ISBN 978-4-88996-765-4) (購入必要)</p> <p>2. (CALL授業はパソコンを利用して外部からアクセス)</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>1 授業初日のオリエンテーションに出席できない場合は受講できない場合があります (やむを得ない事情で初日欠席する場合は事前にitokazu@okilc.orgまで連絡する) 2 目標: 英検準2級~英検2級を目指す (英語でのやり取りが基本) 3 授業を休む場合はやむを得ない事情以外は必ず事前に連絡する事 (ディスカッションなど参加型の授業などで休みが多い学生は評価が低くなります) 4 期末試験以外に、単語クイズ、プレゼンテーション (1~2回) 予定 5 頻繁な遅刻、授業態度 (私語やいねむり) の悪い生徒は退室となる場合があるので注意。</p>
	<p>評価</p> <p>Call教室視聴覚教材の課題20%、ミニテスト 20%、中間プレゼンテーション20%、 期末プレゼンテーション20%、教科書のエクササイズからの課題10%、グループワークの際の貢献、態度10%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>基本的な文法や語彙力、表現力を身に着け、来年必修となるessay writingに備える。</p>

※ポリシーとの関連性 前期よりさらに深く、英語の4技能を磨き、さらに国際性とコミュニケーション能力を高めることを目標とする。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-真喜志 満 [社文・人福]	1年	ptt040@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 「つぶやき英語トレーニング(七田 真監修)」の手法を用いて、さらに日常頻繁に使われる基礎的な英語表現を考えなくても自然に口について出てくるようになるまで演習を行う。既存のe-learning教材“Viva! San Francisco”と洋楽にITを導入・活用して、4技能を総合的に高めるよう演習する。”	メッセージ 英語Ⅰに比べて、全体的に文章が少し長くなる。やり方は前期同様。Learning Management System (LMS)にアクセスして予習・復習を行う。学生はインターネットの環境があれば、いつでもどこでもそこにアクセスして予習・復習を行う。また欠席した場合には、自分でLMSにアクセスして学習し、期末テストなどに備えること。
	到達目標 ・英検2級程度までの英語力を身につけることができる。 ・海外のホームステイなど、いろんな場面で困らない英語表現が身につく。 ・日本人の苦手な発音を克服する。 ・英語4技能(とくにヒアリング)がさらに向上する。 ・e-learning systemやITを活用した英語学習ができるようになる。 ・英語への苦手意識や抵抗が減り英語の勉強が楽しくなる	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	コースガイダンスⅠ_e-learning教材使用の講義について	ログイン確認
	2	コースガイダンスⅡ_つぶやき英語使用の講義について	LMSをよく読むこと
	3	VSF11+♪#01 テストなし 合唱曲	Vivaの練習問題をLMSで解く
	4	S1 テストなし 座席確認。ペア練習の練習、合唱	LMSを使って学習する
	5	VSF12+♪#02 ①洋楽テスト♪#01	Vivaの練習問題をLMSで解く
	6	S9 ①つぶやきテストS1	LMSを使って学習する
	7	VSF13+♪#03 ②洋楽テスト♪#02	Vivaの練習問題をLMSで解く
	8	S16 ②つぶやきテストS9	LMSを使って学習する
	9	VSF14+♪#04 ③洋楽テスト♪#03	Vivaの練習問題をLMSで解く
	10	S23 ③つぶやきテストS16	LMSを使って学習する
	11	VSF15+♪#05 ④洋楽テスト♪#04	Vivaの練習問題をLMSで解く
	12	S24 ④つぶやきテストS23	LMSを使って学習する
	13	特別講義Ⅰ ⑤洋楽テスト♪#05 帳票出力・発表、追試受験確認、VivaSF課題仕上げ	Vivaの練習問題をLMSで解く
	14	特別講義Ⅰ ⑤つぶやきテストS24 RT点数入力 + 採点済返却 + 追試受験確認	LMSを使って学習する
	15	追試セッションⅠ 前半洋楽テスト5回分・・・洋楽♪#01～♪#05	総復習をする
	16	追試セッションⅠ 前半つぶやきテスト5回分・・・S1, S9, S16, S23, S24	総復習をする
	17	VSF16+♪#06 テストなし 成績シミュレーション、合唱曲	Vivaの練習問題をLMSで解く
	18	S26 テストなし 英文法	LMSを使って学習する
	19	VSF17+♪#07 ⑥洋楽テスト♪#06	Vivaの練習問題をLMSで解く
	20	S29 ⑥つぶやきテストS26	LMSを使って学習する
	21	VSF18+♪#08 ⑦洋楽テスト♪#07	Vivaの練習問題をLMSで解く
	22	S37 ⑦つぶやきテストS29	LMSを使って学習する
	23	VSF19+♪#09 ⑧洋楽テスト♪#08	Vivaの練習問題をLMSで解く
	24	S43 ⑧つぶやきテストS37	LMSを使って学習する
	25	VSF20 ⑨洋楽テスト♪#09 RT帳票出力・発表・確認、追試受験確認	Vivaの練習問題をLMSで解く
	26	特別講義Ⅱ ⑨つぶやきテストS43 採点済返却、つぶやきRT集計・追試確認	LMSを使って学習する
	27	特別講義Ⅱ 実力 Test	総復習をする
	28	追試セッションⅡ 後半つぶやきテスト4回分・・・S26, S29, S37, S43	総復習をする
	29	追試セッションⅡ 後半洋楽テスト4回分・・・洋楽#06～#09	総復習をする
30	特別講義Ⅲ 出欠確認、最終成績発表 + Jアンケート、合唱曲S08+S09	e-learning教材で学習する	
31	特別講義Ⅲ 追試調整 + 最終成績調整 + 総合演習/補講	e-learning教材で学習する	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>毎回教材をLMS経由で配布する。教材すべてはLearning Management System (LMS)にアップロードする。英和・和英・英英辞典、あるいは電子辞書、英文法書、インターネット上の文献・ホームページなど。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>"e-learning教材を学習するには、必ず"microsoft internet explorer"からLMSに入ること。間違ってほかのブラウザから入って学習すると、成績記録が残らないので注意する。"Viva Sanfrancisco"は、各章2部ごとに分かれているが、後半の"Face The Camera"の練習問題も解くこと。間違った場合は何度もチャレンジし、各設問で満点が取れるまで問題を解くこと。なお、欠席する場合は所定の欠席届けを事前に、無理な場合は後日できるだけ早い時期に提出すること。"</p>
	<p>評価</p> <p>中間試験(つぶやき英語)15%、中間試験(洋楽ほか)15%、期末試験(つぶやき英語)15%、期末試験((洋楽ほか)15%宿題(Viva SFの自主学习)30%、授業参加度10%、その他+/-5%。なお、「その他」とは授業態度や授業への貢献度などが総合的に加味される評価である。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>このコースの履修後は、本学のカリキュラムに組まれた英語講読系やその他の上級コース「英語IV・VI・VIII」などを履修し、さらに発展させることを希望する。また扱った洋楽はラジオなどでよく流れる曲なので、曲が流れるたびに英語の復習が生涯できる。是非その機会を生かし、またカラオケなどでくりかえし歌って曲の中の英語をすべて自分のものにして、生涯楽しく英語を学んでほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月1・木1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-新城 知子 [企業システム]	1年	ptt152@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語IIにおいてはリスニングとスピーキングに重点を置き、survival Englishの基礎を確立する。オンライン授業の制約の中で、Teamsを用いたディスカッションを通じてスピーキングの能力を高める。また、online searchを通じて異文化への理解意を深める。	Calabo Bridgeを用いた課題型学習と、Teamsを使用した演習型の学習を併用して、基礎的なサバイバルイングリッシュの習得を目指します。Calabo Bridgeを使用した課題型学習は繰り返しチャレンジできることがメリットです。時間をかけて課題に対する理解を深めるようにしてください。英語による3分間スピーチの発表があります。
到達目標	1. 英語による日常会話の基礎的な表現を習得し、発話できる。2. 英語を用いて情報収集することに慣れる。3. グループディスカッションにおいて集団の中で英語で意見を表明することができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction 9/20 (対面授業による講義概要の確認)	シラバスをきちんと確認する
	2	Viva! SF Chapter 11 9/27 (対面授業)	Review Quiz1, 2, 3の回答
	3	Viva! SF Chapter 11 9/30 (Teamsによる特例授業)	Online search
	4	Viva! SF Chapter 12 10/4 (対面授業)	Review Quiz1, 2, 3の回答
	5	Viva! SF Chapter 12 10/7 (Teamsによる特例授業)	Online search
	6	Viva! SF Chapter 13 10/11 (対面授業)	Review Quiz1, 2, 3の回答
	7	Viva! SF Chapter 13 10/14 (Teamsによる特例授業)	Online search
	8	Viva! SF Chapter 14 10/18 (対面授業)	Review Quiz1, 2, 3の回答
	9	Viva! SF Chapter 14 10/21 (Teamsによる特例授業)	Online search
	10	Viva! SF Chapter 15 10/25 (対面授業)	Review Quiz1, 2, 3の回答
	11	Viva! SF Chapter 15 10/28 (Teamsによる特例授業)	Online search
	12	Special Program: Film11/1 (Teamsのファイルから映画の視聴) (対面授業)	mp4の視聴
	13	Special Program: 11/4 (Teamsを使用した映画に関するディスカッション)	ディスカッションの準備
	14	Viva! SF Chapter 16 11/8 (対面授業)	Review Quiz1, 2, 3の回答
	15	Viva! SF Chapter 16 11/11 (Teamsによる特例授業)	Online search
	16	Viva! SF Chapter 17 11/15 (対面授業)	Review Quiz1, 2, 3の回答
	17	Viva! SF Chapter 17 11/18 (Teamsによる特例授業)	Online search
	18	Viva! SF Chapter 18 11/22 (対面授業)	Review Quiz1, 2, 3の回答
	19	Viva! SF Chapter 18 12/6 (対面授業)	Online search
	20	Viva! SF Chapter 19 12/9 (Teamsによる特例授業)	Review Quiz1, 2, 3の回答
	21	Viva! SF Chapter 19 12/13 (対面授業)	Online search
	22	Viva! SF Chapter 20 12/16 (Teamsによる特例授業)	Review Quiz1, 2, 3の回答
	23	Viva! SF Chapter 20 12/20 (対面授業)	Online search
	24	Special Program: Film12/23 (Teamsのファイルから映画の視聴) (特例授業)	映画に関するonline search
	25	Special Program: 12/27 (映画に関するディスカッション) (対面授業)	ディスカッションの準備
	26	3分間スピーチの発表 1/6 (Teamsによる特例授業)	スピーチ発表の準備
	27	3分間スピーチの発表 1/13 (Teamsによる特例授業)	スピーチ発表の準備
	28	3分間スピーチの発表 1/17 (対面授業)	スピーチ発表の準備
	29	3分間スピーチの発表 1/20 (Teamsによる特例授業)	スピーチ発表の準備
30	3分間スピーチの発表 1/24 (対面授業)	スピーチ発表の準備	
31	Conclusion/Review 1/27 (Teamsによる特例授業)		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>後期も引き続きCalabo Bridgeに登録された教材を使用するので、教科書購入の必要はありません。その代わりにonline searchを毎回行い、各自がそれぞれの興味や関心を通じてリサーチしたい事柄についての理解を深めていけるようにしましょう。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>沖国ポータルからLMSを通じていつでもどこでも課題に取り組むことができるので、繰り返し練習をして理解を深めていけるようにしましょう。また、Teamsを使用したディスカッションによりスピーキングの能力向上を目指します。Calabo Bridgeでの課題学習をディスカッションにつなげることができるよう、インプットとアウトプットの流れを意識しながら学習しましょう。</p>
	<p>評価</p> <p>Assignments on Calabo Bridge: 50%</p> <p>Speaking (Discussion): 25%</p> <p>Three-minute Speech : 25%</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語I、IIで習得した基礎的な知識と能力を活かして学びを深め、継続していけるような態勢を作るために、楽しんで学習する癖をつける。社会人としての国際的な視野を広げるために日本のメディアで報道されない情報も英語で収集することを習慣とする。</p>

※ポリシーとの関連性 英語の基礎であるリスニング、スピーキング能力の強化を目指す。
また、online searchを通じて、発見型の積極的な学びを目指す。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-新城 知子 [法律・地行]	1年	ptt152@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語IIにおいてはリスニングとスピーキングに重点を置き、サブイナルイングリッシュの基礎を確立する。オンライン授業の制約の中で、Teamsを用いたディスカッションを通じてスピーキングの能力を高める。また、online searchを通じて、異文化への理解を深める。	Calabo Bridgeを用いた課題型学習と、Teamsを使用した演習型の学習を併用して、基礎的なサブイナルイングリッシュの習得を目指します。Calaboを使用した課題型学習は繰り返しチャレンジできることがメリットです。時間をかけて課題に対する理解を深めるようにしてください。英語による3分間スピーチの発表があります。
到達目標	1. 英語による日常会話の基礎的な表現を習得し、発話できる。2. 英語を用いて情報収集することに慣れる。4. グループディスカッションにおいて集団の中で意見を表明することができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction 9/20(対面授業) 講義概要の説明	シラバスをきちんと確認する
	2	Viva! SF Chapter 11 9/27(対面授業)	Review Quiz 1,2,3の回答
	3	Viva! SF Chapter 11 9/30(特例授業 Teamsによる演習・ディスカッション)	Online search
	4	Viva! SF Chapter 12 10/4(対面授業)	Review Quiz 1,2,3の回答
	5	Viva! SF Chapter 12 10/7(特例授業 Teamsによる演習・ディスカッション)	Online search
	6	Viva! SF Chapter 13 10/11(対面授業)	Review Quiz 1,2,3の回答
	7	Viva! SF Chapter 13 10/14(特例授業 Teamsによる演習・ディスカッション)	Online search
	8	Viva! SF Chapter 14 10/18(対面授業)	Review Quiz 1,2,3の回答
	9	Viva! SF Chapter 14 10/21(特例授業 Teamsによる演習・ディスカッション)	Online search
	10	Viva! SF Chapter 15 10/25(対面授業)	Review Quiz 1,2,3の回答
	11	Viva! SF Chapter 15 10/28(特例授業 Teamsによる演習・ディスカッション)	Online search
	12	Special Program: Film11/ 1(Teamsのファイルから映画の視聴)(対面授業)	mp4の視聴
	13	Special Program: 11/4 映画に関するディスカッション(Teamsの特例授業)	ディスカッションの準備
	14	Viva! SF Chapter 16 11/8(対面授業)	Review Quiz 1,2,3の回答
	15	Viva! SF Chapter 16 11/11(特例授業 Teamsによる演習・ディスカッション)	Online search
	16	Viva! SF Chapter 17 11/15(対面授業)	Review Quiz 1,2,3の回答
	17	Viva! SF Chapter 17 11/18(特例授業 Teamsによる演習・ディスカッション)	Online search
	18	Viva! SF Chapter 18 11/22(対面授業)	Review Quiz 1,2,3の回答
	19	Viva! SF Chapter 18 12/6(対面授業)	Online search
	20	Viva! SF Chapter 19 12/9(特例授業 Teamsによる演習・ディスカッション)	Review Quiz 1,2,3の回答
	21	Viva! SF Chapter 19 12/13(対面授業)	Online search
	22	Viva! SF Chapter 20 12/16(特例授業 Teamsによる演習・ディスカッション)	Review Quiz 1,2,3の回答
	23	Viva! SF Chapter 20 12/20(対面授業)	Online search
	24	Special Program: Film12/23(Teamsのファイルから映画の視聴)(特例授業)	映画に関するonline search
	25	Special Program: 12/27映画に関するディスカッション(対面授業)	ディスカッションの準備
	26	3分間スピーチの発表 1/6(Teamsによる特例授業)	スピーチ発表の準備
	27	3分間スピーチの発表 1/13(Teamsによる特例授業)	スピーチ発表の準備
	28	3分間スピーチの発表 1/17(対面授業)	スピーチ発表の準備
	29	3分間スピーチの発表 1/20(Teamsによる特例授業)	スピーチ発表の準備
30	3分間スピーチの発表 1/24(対面授業)	スピーチ発表の準備	
31	Conclusion 1/27 授業と学習のまとめ(Teamsによる特例授業)		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>後期もCalabo Bridgeに登録された教材を引き続き使用するので、教科書購入の必要はありません。その代わりにonline searchを毎回行い、各自がそれぞれの興味や関心を通じてリサーチしたい事柄についてのを深めていけるようにしましょう。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>沖国ポータルからLMSを通じていつでも課題に取り組むことができるので、繰り返し練習をして理解を深めていけるようにしましょう。また、後期はTeamsを使用したディスカッションによりスピーキングの能力向上を目指します。Calabo Bridgeでの課題学習をディスカッションにつなげられるよう、インプットとアウトプットの流れを意識しながら学習しましょう。</p>
	<p>評価</p> <p>Assignments on Calabo Bridge: 50% Speaking (Discussion): 25% Three-minute speech: 25%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語I、IIで習得した基礎的な知識と能力を活かして学びを深め、継続していけるような態勢を作るために、楽しんで学習する癖をつける。社会人としての国際的な視野を広げるために日本のメディアで報道されない情報も英語で収集することを習慣とする。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	大城 明子[産業情報]	1年	akooshiro@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 英語コミュニケーションを用いる場面を想定したうえで、英語の理解と発信が可能な能力をみにつけるのがねらいである。	メッセージ オンラインでの学習となります。英語の基礎と特に海外旅行や留学等で使える英語を取り上げます。また、これらは日本（外国人との会話等）においての英語コミュニケーションにも役立つ表現です。ぜひ皆さんの将来、未来への足掛かりとなるようコツコツと吸収してください。
	到達目標 日本人の私達が必要となる場面（英語を用いる日常生活、海外旅行、留学）において、聞いて理解する（文化的な意味も含む）、話す（相手に理解してもらうように）の英語コミュニケーションができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	<特> オリエンテーション（テキスト案内、注意事項等）	英語Ⅱノート準備
	2	<特> 課題1 他	課題1を仕上げる
	3	<特> テキストUnit8-1	テキストUnit8-1復習
	4	<特> テキストUnit8-2, テキストe-learning	テキスト復習まとめとe-learning
	5	<特> Viva!Ch19-1	Viva!Ch19-1復習
	6	<特> Viva!Ch19-2	Viva!Ch19-2復習
	7	<特> テキストUnit9-1	テキスト復習Unit9-1復習
	8	<特> テキストUnit9-2, テキストe-learning	テキスト復習とe-learning
	9	<特> Viva!Ch18-1	Viva!Ch18-1復習
	10	<特> Viva!Ch18-2	Viva!Ch18-2復習
	11	<特> テキストUnit10-1	テキストUnit10-1復習
	12	<特> テキストUnit10-2, テキストe-learning	テキスト復習とe-learning
	13	<特> テキストe-learning前半Unit8-10見直しと学習、課題2	課題2を仕上げる
	14	<特> テキストUnit11-1	テキストUnit11-1復習
	15	<特> テキストUnit11-2, テキストe-learning	テキスト復習まとめとe-learning
	16	<特> テキストUnit12-1	テキストUnit12-1復習
	17	<特> テキストUnit12-2, テキストe-learning	テキスト復習とe-learning
	18	<特> Viva!Ch12-1	Viva! Ch12-1復習
	19	<特> Viva!Ch12-2	Viva! Ch12-2復習
	20	<特> テキストUnit13-1	テキストUnit13-1復習
	21	<特> テキストUnit13-2, テキストe-learning	テキスト復習とe-learning
	22	<特> テキストUnit14-1	テキストUnit14-1復習
	23	<特> テキストUnit14-2, テキストe-learning	テキスト復習とe-learning
	24	<特> Viva!Ch6-1	Viva! Ch6-1復習
	25	<特> Viva!Ch6-2	Viva! Ch6-2復習
	26	<特> テキストU15-1	テキストUnit15-1復習
	27	<特> テキストU15-2 テキスト-learning	テキスト復習とe-learning
	28	<特> Viva!Ch10-1	Viva! Ch10-1復習
	29	<特> Viva!Ch10-2	Viva! Ch10-2復習
	30	<特> e-learning後半Unit11-15見直しと学習、他	テキストe-learning後半仕上げる
31	<特> 総まとめ（ノート提出）他	英語Ⅱをふりかえる	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキストは、英語Ⅰと同じものを用います。テキストをまとめるB5サイズノートも必ず準備してください。他資料は、講義回に随時のせていきます。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>オンライン授業での各回の指示や案内をきちんと把握した上で、学習をすすめてください。また、疑問点等がある場合には、遠慮なく講師のメールをし聞いてください。自ら地道に学ぶ皆さんを応援します。</p>
	<p>評価</p> <p>テキスト学習ノート:40%, テキストe-learning:32%, Viva San Francisco学習:20%, 課題: 8%</p> <p>欠席 1回につき1点減点</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>2年次に履修する英語Ⅲ・Ⅳで、英語Ⅰ・Ⅱで培った英語力を特にリーディング、ライティングの増強を目指してください。また、それらの力を発揮するための英語力検定等をもとに学習する英語Ⅴ。Ⅵ。Ⅶ、Ⅷでキャリアに生かせる英語力をつけられます。ぜひ挑戦してください</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水4・土3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-渡慶次 マガレット 有子[日文]	1年	ptt1186@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>① 英語で聞き、英語で考え、英語で話す機会を多く取り入れて、コミュニケーション能力を磨く。</p> <p>② グループワークを通し、発信力や表現力を身に付ける。</p> <p>③ リスニングとスピーキングをうまく連動しながら、実践的な英語運用能力を高める。</p>	<p>① 英語はグローバル言語ともいわれている。積極的に英語を使って、授業に参加しましょう。</p> <p>② 自分の考えを発信することにより、話す自信が付き、会話のバリエーションが増える。</p> <p>③ グループワークやディスカッションを通し、多面的に物事を見ることで、発想力を養い、考える習慣を身につける。</p>
到達目標	<p>① ユニットのテーマについて、情報を集め、自分の考えを発信したり、レポートを書いたりすることができる。</p> <p>② 身近なことについて、英語でプレゼンテーションすることができる。</p> <p>③ 発表した内容について、質疑応答をすることができる。</p> <p>④ 文字情報に頼らず、音声情報だけで英語を聞き取り、簡単なリスニング問題に答えることができる。</p> <p>⑤ グループワークを通して自発性、積極性、協調性を高め、相互の理解を深める。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Syllabus, Introduction	Unit 7の予習
	2	Unit7 (1) Food and Drink Grammar	U7 Listeningの予習
	3	Unit7 (2) Listening activities	U7 Discussionの準備
	4	Unit7 (3) Group discussion (Food and Drink)	復習
	5	Unit7 (4) Listening activities	Unit8の予習
	6	Unit8 (1) Rules Grammar	U8 Listeningの予習
	7	Unit8 (2) Listening activities	U8 Discussionの準備
	8	Unit8 (3) Group discussion (Rules)	U8 自習
	9	Unit8 (4) Listening activities	Unit9の予習
	10	Unit9 (1) Adventure Grammar	U9 Listeningの予習
	11	Unit9 (2) Listening activities	U9 Discussionの準備
	12	Unit9 (3) Group discussion (Adventure)	U9 自習
	13	Unit9 (4) Listening activities	Unit10の予習
	14	Unit10 (1) Health Grammar	レポート1準備
	15	Unit10 (2) Listening activities (レポート1の提出)	U10Discussionの準備
	16	Unit10 (3) Group discussion (Health)	U10 自習
	17	Unit10 (4) Listening activities	Unit11の予習
	18	Unit11 (1) Comparisons Grammar	U11 Listeningの予習
	19	Unit11 (2) Listening activities (Presentation1)	U11Discussionの準備
	20	Unit11 (3) Group discussion (Comparisons) (Presentation1)	U11 自習
	21	Unit11 (4) Listening activities	Unit12 の予習
	22	Unit12 (1)The modern world Grammar	U12 Listeningの予習
	23	Unit12 (2) Listening activities	U12Discussionの準備
	24	Unit12 (3)Group discussion(The modern world)	U12 自習
	25	Unit12 (4) Listening activities	レポート2の準備
	26	Listening activities (レポート2の提出)	Presentationの準備
	27	Listenig activities	Presentationの準備
	28	(Presentation2)	Presentationの準備
29	(Presentation2)	Feedbackを確認する	
30	Review Lesson	Unit 7-12を復習する	
31	期末テスト		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>① テキスト：Breakthrough PLUS 2 Macmillan Language House, 2014 ② 参考文献：授業で紹介する。 ③ 資料：適宜必要なハンドアウトは授業で配布する。</p>																		
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>① 全体の1/3以上欠席した場合、単位は与えられない。 ② 3回遅刻=1回欠席とみなす。遅刻・欠席は成績に大きく影響するので、授業時間に間に合うように心がける。 ③ 予習・復習は欠かさず行い、積極的に、授業に貢献することを求める。わからないところは事前に調べ、予備知識を持って授業に参加すると、学習した内容が定着し理解しやすい。 ④ 計画を立てて学習し、レポートの提出期日は守るようにする。</p> <p>授業計画は授業の状況により変更する場合があります。</p>																		
	<p>評価</p> <table border="0"> <tr> <td>① レポート</td> <td>2回</td> <td>40%</td> <td>(20%X2)</td> <td>上記の到達目標</td> <td>1、3を評価</td> </tr> <tr> <td>② プレゼンテーション</td> <td>2回</td> <td>40%</td> <td>(20%X2)</td> <td>上記の到達目標</td> <td>1-5を評価</td> </tr> <tr> <td>③ 期末テスト</td> <td></td> <td>20%</td> <td>(20%X1)</td> <td>上記の到達目標</td> <td>1、4を評価</td> </tr> </table> <p>以上の割合で、総合的に判定する。</p>	① レポート	2回	40%	(20%X2)	上記の到達目標	1、3を評価	② プレゼンテーション	2回	40%	(20%X2)	上記の到達目標	1-5を評価	③ 期末テスト		20%	(20%X1)	上記の到達目標	1、4を評価
① レポート	2回	40%	(20%X2)	上記の到達目標	1、3を評価														
② プレゼンテーション	2回	40%	(20%X2)	上記の到達目標	1-5を評価														
③ 期末テスト		20%	(20%X1)	上記の到達目標	1、4を評価														
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>① 英字新聞や雑誌、インターネットやDVDなどを活用し、国内・国際情勢を、英語で学ぶことにもチャレンジしてみてください。 ② 海外の映画(DVD)なども、効果的な学習ツールだと思います。楽しみながら、英語の表現力、異文化理解力や、コミュニケーション能力を高めることができます。</p>																		

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	- 空閑 洋始[社文・人福]	1年	ptt1138@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 基礎的な英文法を復習するとともに、実際に使われている多くの英文・英会話に触れることによって、コミュニケーション能力の向上を目指します。	メッセージ 英語でのコミュニケーション力アップには2つのことが大事です。1つは、「あまり細かいことにこだわらずに、元気に大きな声で話す」。もう1つは、これと矛盾するようですが、「基礎的文法を身に付け、知っている単語の数を増やす」。授業は、この2面性を常に意識しながら進めていきます。
	到達目標 *英語を使うことの楽しさを実感する。 *英語スピーカーに突然話しかけられても、積極的に対応できるようになる。 *海外旅行に出かけた際に、必要最低限のコミュニケーションができる力を付ける。 *英語で書かれたインターネットのサイトで、世界の情報を楽しめるようになる。 *英語を学ぶことで、自分の可能性が広がることを実感する。 *英語の学習にパソコンを有効に使えるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業内容オリエンテーション	オリエン内容の復習
	2	各種ソフト・ネットワーク機器の操作等オリエンテーション	オリエン内容の復習
	3	教科書Unit 8 Social Issues: Listening & Reading	教科書・授業の予習および復習
	4	教科書Unit 8 Social Issues: Speaking & Writing	教科書・授業の予習および復習
	5	教科書Unit 8 Social Issues: Grammar & 補助教材による復習	教科書・授業の予習および復習
	6	教科書Unit 9 Study Skills: Listening & Reading	教科書・授業の予習および復習
	7	教科書Unit 9 Study Skills: Speaking & Writing	教科書・授業の予習および復習
	8	教科書Unit 9 Study Skills: Grammar & 補助教材による復習	教科書・授業の予習および復習
	9	教科書Unit 10 Health & Welfare: Listening & Reading	教科書・授業の予習および復習
	10	教科書Unit 10 Health & Welfare: Speaking & Writing	教科書・授業の予習および復習
	11	教科書Unit 10 Health & Welfare: Grammar & 補助教材による復習	教科書・授業の予習および復習
	12	Listening 強化に関する講義	授業の復習
	13	Speaking 強化に関する講義	授業の復習
	14	中間テストに向けて前半の総復習	授業の復習
	15	中間テスト (筆記およびスピーチ)	中間テストの準備
	16	中間テストの復習	授業の復習
	17	教科書Unit 11 Environmental Issues: Listening & Reading	教科書・授業の予習および復習
	18	教科書Unit 11 Environmental Issues: Speaking & Writing	教科書・授業の予習および復習
	19	教科書Unit 11 Environmental Issues: Grammar & 補助教材による復習	教科書・授業の予習および復習
	20	教科書Unit 12 Languages: Listening & Reading	教科書・授業の予習および復習
	21	教科書Unit 12 Languages: Speaking & Writing	教科書・授業の予習および復習
	22	教科書Unit 12 Languages: Grammar & 補助教材による復習	教科書・授業の予習および復習
	23	教科書Unit 13 Guide to Foreign Countries: Listening & Reading	教科書・授業の予習および復習
	24	教科書Unit 13 Guide to Foreign Countries: Speaking & Writing	教科書・授業の予習および復習
	25	教科書Unit 13 Guide to Foreign Countries: Grammar & 補助教材による復習	教科書・授業の予習および復習
	26	教科書Unit 14 Education Overseas: Listening & Reading	教科書・授業の予習および復習
	27	教科書Unit 14 Education Overseas: Speaking & Writing	教科書・授業の予習および復習
	28	教科書Unit 14 Education Overseas: Grammar & 補助教材による復習	教科書・授業の予習および復習
	29	期末テストに向けての後半の総復習	授業の復習
30	期末テスト (筆記)	期末テストの準備	
31	期末テスト及び今学期の復習、単語帳提出	単語帳の作成確認・提出準備	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など 前期と同じ教科書を使います。</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>①毎回出欠を確認します。欠席が10回以上だと単位を取得できません。また、遅刻3回で1回欠席とみなされます（オリエンテーション時に詳細を説明）。</p> <p>②授業には必ず辞書を持参してください。どのようなものでもけっこうです。</p> <p>③紙のプリントよりも、学内のシステムを利用した、インターネット経由での資料配布が多くなります。機器の扱いに慣れてください。</p>
	<p>評価</p> <p>①授業での課題などを含む平常点 30%</p> <p>②中間テスト 30%</p> <p>③期末テスト 30%</p> <p>④単語帳作成 10%</p> <p>*オリエンテーションの際に詳細を説明。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英検やTOEICなどに個人的にチャレンジするのもいいと思います。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	- 空閑 洋始[地域環境政策]	1年	ptt1138@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>基礎的な英文法を復習するとともに、実際に使われている多くの英文・英会話に触れることによって、コミュニケーション能力の向上を目指します。</p>	<p>英語でのコミュニケーション力アップには2つのことが大事です。1つは、「あまり細かいことにこだわらずに、元気に大きな声で話す」。もう1つは、これと矛盾するようですが、「基礎的文法を身に付け、知っている単語の数を増やす」。授業は、この2面性を常に意識しながら進めていきます。</p>
	到達目標	
	<p>*英語を使うことの楽しさを実感する。 *英語スピーカーに突然話しかけられても、積極的に対応できるようになる。 *海外旅行に出かけた際に、必要最低限のコミュニケーションができる力を付ける。 *英語で書かれたインターネットのサイトで、世界の情報を楽しめるようになる。 *英語を学ぶことで、自分の可能性が広がることを実感する。 *英語の学習にパソコンを有効に使えるようになる。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業内容オリエンテーション	オリエン内容の復習
	2	各種ソフト・ネットワーク機器の操作等オリエンテーション	オリエン内容の復習
	3	教科書Unit 8 Social Issues: Listening & Reading	教科書・授業の予習および復習
	4	教科書Unit 8 Social Issues: Speaking & Writing	教科書・授業の予習および復習
	5	教科書Unit 8 Social Issues: Grammar & 補助教材による復習	教科書・授業の予習および復習
	6	教科書Unit 9 Study Skills: Listening & Reading	教科書・授業の予習および復習
	7	教科書Unit 9 Study Skills: Speaking & Writing	教科書・授業の予習および復習
	8	教科書Unit 9 Study Skills: Grammar & 補助教材による復習	教科書・授業の予習および復習
	9	教科書Unit 10 Health & Welfare: Listening & Reading	教科書・授業の予習および復習
	10	教科書Unit 10 Health & Welfare: Speaking & Writing	教科書・授業の予習および復習
	11	教科書Unit 10 Health & Welfare: Grammar & 補助教材による復習	教科書・授業の予習および復習
	12	Listening 強化に関する講義	授業の復習
	13	Speaking 強化に関する講義	授業の復習
	14	中間テストに向けて前半の総復習	授業の復習
	15	中間テスト (筆記およびスピーチ)	中間テストの準備
	16	中間テストの復習	授業の復習
	17	教科書Unit 11 Environmental Issues: Listening & Reading	教科書・授業の予習および復習
	18	教科書Unit 11 Environmental Issues: Speaking & Writing	教科書・授業の予習および復習
	19	教科書Unit 11 Environmental Issues: Grammar & 補助教材による復習	教科書・授業の予習および復習
	20	教科書Unit 12 Languages: Listening & Reading	教科書・授業の予習および復習
	21	教科書Unit 12 Languages: Speaking & Writing	教科書・授業の予習および復習
	22	教科書Unit 12 Languages: Grammar & 補助教材による復習	教科書・授業の予習および復習
	23	教科書Unit 13 Guide to Foreign Countries: Listening & Reading	教科書・授業の予習および復習
	24	教科書Unit 13 Guide to Foreign Countries: Speaking & Writing	教科書・授業の予習および復習
	25	教科書Unit 13 Guide to Foreign Countries: Grammar & 補助教材による復習	教科書・授業の予習および復習
	26	教科書Unit 14 Education Overseas: Listening & Reading	教科書・授業の予習および復習
	27	教科書Unit 14 Education Overseas: Speaking & Writing	教科書・授業の予習および復習
	28	教科書Unit 14 Education Overseas: Grammar & 補助教材による復習	教科書・授業の予習および復習
	29	期末テストに向けての後半の総復習	授業の復習
30	期末テスト (筆記)	期末テストの準備	
31	期末テスト及び今学期の復習、単語帳提出	単語帳の作成確認・提出準備	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など 前期と同じ教科書を使います。</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>①毎回出欠を確認します。欠席が10回以上だと単位を取得できません。また、遅刻3回で1回欠席とみなされます（オリエンテーション時に詳細を説明）。</p> <p>②授業には必ず辞書を持参してください。どのようなものでもけっこうです。</p> <p>③紙のプリントよりも、学内のシステムを利用した、インターネット経由での資料配布が多くなります。機器の扱いに慣れてください。</p>
	<p>評価</p> <p>①授業での課題などを含む平常点 30%</p> <p>②中間テスト 30%</p> <p>③期末テスト 30%</p> <p>④単語帳作成 10%</p> <p>*オリエンテーションの際に詳細を説明。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英検やTOEICなどに個人的にチャレンジするのもいいと思います。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	ヘンジヤミン フォーゲル [法律・地行]	1年	E-mail or 授業終了後教室にて受け付けます	

学びの準備	ねらい This is an English speaking course, so we will focus on pronunciation, speaking and listening. You will do exercises in pairs. We will focus on responding to questions.	メッセージ I will speak in English as much as possible and expect you to speak with me and with your classmates in English as much as possible. 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 By the end of the course, you will feel more confident speaking English, have better pronunciation, have improved your vocabulary, be able to ask and answer questions using full sentences, and be able to understand basic English grammar.	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Unit 6 Grammar p.107, 108, 109 Adj + Prepositions, Adverbs, p.102 song	p.111, 112, 113
	2	HW p.111, 112, 113 - Questions, p.102 song, p103 pron, p.105 Vocab, p.110 Yes/No ex	Grammar take-home test
	3	HW Grammar take-home test - Questions, p. 111, p.114, p.115+116 (in pairs)	p.119+120
	4	HW p.119+120 - Questions, p. 114 again, p. 117+118, p.115 again	In Class test 1 U.6
	5	HW In Class Test 1 U.6 - Questions, Test for Unit 6 + Correct in class	Listen to Unit 7 song
	6	Unit 7 Grammar p.127, 128, 129 Possessive Pronouns, Commands, Future Tense, p.122 song	p.131, 132, 133
	7	HW p.131, 132, 133 - Questions, p.122 song, p123 pron, p.125 Vocab, p.130 Yes/No ex	Grammar take-home test
	8	HW Grammar take-home test - Questions, p. 131, p.134, p.135+136 (in pairs)	p.139+140
	9	HW p.139+140 - Questions, p. 134 again, p. 137+138, p.135 again	In Class test 1 U.7
	10	HW In Class Test 1 U.7 - Questions, Test for Unit 7 + Correct in class	Listen to Unit 8 song
	11	Unit 8 Grammar p.147, 148, 149 Possessive Pronouns, Commands, Future Tense, p.142 song	p.151, 152, 153
	12	HW p.151, 152, 153 - Questions, p.142 song, p143 pron, p.145 Vocab, p.150 Yes/No ex	Grammar take-home test
	13	HW Grammar take-home test - Questions, p. 151, p.154, p.155+156 (in pairs)	p.159+160
	14	HW p.159+160 - Questions, p. 154 again, p. 157+158, p.155 again	In Class test 1 U.8
	15	HW In Class Test 1 U.8 - Questions, Test for Unit 8 + Correct in class	Listen to Unit 9 song
	16	Unit 9 Grammar p.167, 168, 169 Possessive Pronouns, Commands, Future Tense, p.162 song	p.171, 172, 173
	17	HW p.171, 172, 173 - Questions, p.162 song, p163 pron, p.165 Vocab, p.170 Yes/No ex	Grammar take-home test
	18	HW Grammar take-home test - Questions, p. 171, p.174, p.175+176 (in pairs)	p.179+180
	19	HW p.179+180 - Questions, p. 174 again, p. 177+178, p.175 again	In Class test 1 U.9
	20	HW In Class Test 1 U.9 - Questions, Test for Unit 9 + Correct in class	Listen to Unit 10 song
	21	Unit 10 Grammar p.187, 188, 189 Possessive Pronouns, Commands, Future Tense, p.182 song	p.191, 192, 193
	22	HW p.191, 192, 193 - Questions, p.182 song, p183 pron, p.185 Vocab, p.190 Yes/No ex	Grammar take-home test
	23	HW Grammar take-home test - Questions, p. 191, p.194, p.195+196 (in pairs)	p.199+200
	24	HW p.199+200 - Questions, p. 194 again, p. 197+198, p.195 again	In Class test 1 U.10
	25	HW In Class Test 1 U.10 - Questions, Test for Unit 10 + Correct in class	Listen to Unit 11 song
	26	Game day	
	27	Unit 11 Grammar p.207, 208, 209 Possessive Pronouns, Commands, Future Tense, p.202 song	p.211, 212, 213
	28	HW p.211, 212, 213 - Questions, p.202 song, p203 pron, p.205 Vocab, p.210 Yes/No ex	Grammar take-home test
	29	HW Grammar take-home test - Questions, p. 211, p.214, p.215+216 (in pairs)	p.219+220
	30	HW p.219+220 - Questions, p. 214 again, p. 217+218, p.215 again	In Class test 1 U.11
31	HW In Class Test 1 U.11 - Questions, Test for Unit 11 + Correct in class	Enjoy the break!	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English Conversation for Japanese Speakers 3rd Edition Red Bird Books in Japan 2315 yen + tax Beni Fogel, Dr. Cary Rasof</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>Please do your homework so that you will be prepared to speak in class. We will be singing songs, listening to dialogues and speaking often in class.</p>
	<p>評価</p> <p>Quizzes : 40% Tests : 60%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語III Please keep practicing with the recordings on the website.</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	ヘンジヤミン フォーゲル[地域環境政策]	1年	E-mail or 授業終了後教室にて受け付けます	

学びの準備	ねらい This is an English speaking course, so we will focus on pronunciation, speaking and listening. You will do exercises in pairs. We will focus on responding to questions.	メッセージ I will speak in English as much as possible and expect you to speak with me and with your classmates in English as much as possible. 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 By the end of the course, you will feel more confident speaking English, have better pronunciation, have improved your vocabulary, be able to ask and answer questions using full sentences, and be able to understand basic English grammar.	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Unit 6 Grammar p.107, 108, 109 Adj + Prepositions, Adverbs, p.102 song	p. 111, 112, 113
	2	HW p.111, 112, 113 - Questions, p.102 song, p103 pron, p.105 Vocab, p.110 Yes/No ex	Grammar take-home test
	3	HW Grammar take-home test - Questions, p. 111, p.114, p.115+116 (in pairs)	p.119+120
	4	HW p.119+120 - Questions, p. 114 again, p. 117+118, p.115 again	In Class test 1 U.6
	5	HW In Class Test 1 U.6 - Questions, Test for Unit 6 + Correct in class	Listen to Unit 7 song
	6	Unit 7 Grammar p.127, 128, 129 Possessive Pronouns, Commands, Future Tense, p.122 song	p.131, 132, 133
	7	HW p.131, 132, 133 - Questions, p.122 song, p123 pron, p.125 Vocab, p.130 Yes/No ex	Grammar take-home test
	8	HW Grammar take-home test - Questions, p. 131, p.134, p.135+136 (in pairs)	p.139+140
	9	HW p.139+140 - Questions, p. 134 again, p. 137+138, p.135 again	In Class test 1 U.7
	10	HW In Class Test 1 U.7 - Questions, Test for Unit 7 + Correct in class	Listen to Unit 8 song
	11	Unit 8 Grammar p.147, 148, 149 Possessive Pronouns, Commands, Future Tense, p.142 song	p.151, 152, 153
	12	HW p.151, 152, 153 - Questions, p.142 song, p143 pron, p.145 Vocab, p.150 Yes/No ex	Grammar take-home test
	13	HW Grammar take-home test - Questions, p. 151, p.154, p.155+156 (in pairs)	p.159+160
	14	HW p.159+160 - Questions, p. 154 again, p. 157+158, p.155 again	In Class test 1 U.8
	15	HW In Class Test 1 U.8 - Questions, Test for Unit 8 + Correct in class	Listen to Unit 9 song
	16	Unit 9 Grammar p.167, 168, 169 Possessive Pronouns, Commands, Future Tense, p.162 song	p.171, 172, 173
	17	HW p.171, 172, 173 - Questions, p.162 song, p163 pron, p.165 Vocab, p.170 Yes/No ex	Grammar take-home test
	18	HW Grammar take-home test - Questions, p. 171, p.174, p.175+176 (in pairs)	p.179+180
	19	HW p.179+180 - Questions, p. 174 again, p. 177+178, p.175 again	In Class test 1 U.9
	20	HW In Class Test 1 U.9 - Questions, Test for Unit 9 + Correct in class	Listen to Unit 10 song
	21	Unit 10 Grammar p.187, 188, 189 Possessive Pronouns, Commands, Future Tense, p.182 song	p.191, 192, 193
	22	HW p.191, 192, 193 - Questions, p.182 song, p183 pron, p.185 Vocab, p.190 Yes/No ex	Grammar take-home test
	23	HW Grammar take-home test - Questions, p. 191, p.194, p.195+196 (in pairs)	p.199+200
	24	HW p.199+200 - Questions, p. 194 again, p. 197+198, p.195 again	In Class test 1 U.10
	25	HW In Class Test 1 U.10 - Questions, Test for Unit 10 + Correct in class	Listen to Unit 11 song
	26	Game day	
	27	Unit 11 Grammar p.207, 208, 209 Possessive Pronouns, Commands, Future Tense, p.202 song	p.211, 212, 213
	28	HW p.211, 212, 213 - Questions, p.202 song, p203 pron, p.205 Vocab, p.210 Yes/No ex	Grammar take-home test
	29	HW Grammar take-home test - Questions, p. 211, p.214, p.215+216 (in pairs)	p.219+220
	30	HW p.219+220 - Questions, p. 214 again, p. 217+218, p.215 again	In Class test 1 U.11
	31	HW In Class Test 1 U.11 - Questions, Test for Unit 11 + Correct in class	Enjoy the break!

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English Conversation for Japanese Speakers 3rd Edition Red Bird Books in Japan 2315 yen + tax Beni Fogel, Dr. Cary Rasof</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>Please do your homework so that you will be prepared to speak in class. We will be singing songs, listening to dialogues and speaking often in class.</p>
	<p>評価</p> <p>Quizzes : 40% Tests : 60%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語III Please keep practicing with the recordings on the website.</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-上里 博美 [日文・人福 (2年以上)]	2年	大学メールで受け付けます。メールアドレスは授業でお知らせします。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>リスニング力とスピーキング力向上を目指し、英語Iで学んだ内容のレベルアップを図る。英語IIでは、さらに語彙力を養い読解力もつける。意欲的に“発音”、“音読”に重点を置いた学習に取り組み「使える」英語を身につける。TextやInternet等の音源を利用して積極的に英語を聴く、話す等、英語を使う機会を増やし、意見交換ができるようになる。</p>	<p>英語 I 同様、英語 II でも英語を多用する機会はTeamsオンライン授業となります。ペアやグループで英語を発話する授業に集中して積極的に取り組んで下さい。耳と口を使って英語を訓練する場や回数を活用することが大切です。ある意味で特編授業では音読、発話練習を周りを気にせず集中して意図的に取り組めるはず。スピーキング力のレベルアップ図りましょう。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 易しい内容の英語を聞いて理解できる。 2. 自分の事を英語で伝えることができる。 3. 身近なことや自分の興味関心のあることを基本的な英語で表現できる。 4. 英語学習においてインターネット等を効果的に活用できる。 5. 英語学習を通して国際的な視野を広げることができる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	(特) Class Orientation, Self Introduction, Text Unit 7 Vocabulary	授業内容、進度、約束事等の確認
	2	(特) Text: Unit 7 (Grammar Point, Grammar Exercise, Song listening)	文法、基本文・表現確認、聴解
	3	(特) Viva San Francisco Chapter 11, Text Unit 8 Vocabulary	語彙・会話表現確認、音読、語彙調
	4	(特) Text: Unit 7 (Reading, Listening, Review)	語彙・表現確認、聴解、U7復習
	5	(特) Unit 7 Review Test, Viva San Francisco Chapter 12, Text Unit 9 Vocabulary	語彙・会話表現確認、音読、語彙調
	6	(特) Text: Unit 8 (Grammar Point, Grammar Exercise, Song listening)	文法、基本文・表現確認、聴解
	7	(特) Viva San Francisco Chapter 13, Halloween Songs, English in News	語彙・会話表現確認、音読、語彙調
	8	(特) Text: Unit 8 (Reading, Listening, Review)	語彙・表現確認、聴解、U8復習
	9	(特) Unit 8 Review Test, DVD鑑賞, Text Unit 10 Vocabulary	日常表現確認, 語彙発音練習
	10	(特) Text: Unit 9 (Grammar Point, Grammar Exercise, Song listening)	文法、基本文・表現確認、聴解
	11	(特) Viva San Francisco Chapter14, BBC "Medicine" Vocabulary	語彙・表現・文法確認、聴解・音読
	12	(特) Text: Unit 9 (Reading, Listening, Review)	語彙・表現確認、聴解、U9復習
	13	(特) Unit 9 Review Test, Viva San Francisco Chapter 15, "Medicine" Vocabulary Practice	語彙・会話表現確認, 語彙発音
	14	(特) Text: Unit 10 (Grammar Point, Grammar Exercise, Song listening)	文法、基本文・表現確認、聴解
	15	(特) 中間テスト	Unit7~9・VSF11~ 15復習
	16	(特) 中間テスト振返り、DVD 鑑賞、English in News, Text Unit 11 Vocabulary	中間振返り、日常英語表現確認等
	17	(特) Text Unit: 10 (Reading, Listening, Review)	語彙・表現確認、聴解、U10復習
	18	(特) Unit 10 Review Test, BBC "Medicine" Vocabulary Practice, Exercise, Check Test	語彙、表現、文法復習、聴解
	19	(特) Text Unit: 11 (Grammar Point, Grammar Exercise, Song listening)	文法、基本文・表現確認、聴解
	20	(特) Viva San Francisco Chapter 16, Text Unit 13 Vocabulary	語彙・会話表現確認、音読、語彙調
	21	(特) Text: Unit 11 (Reading, Listening, Review)	語彙・表現確認、聴解、U11復習
	22	(特) Unit 11 Review Test, Viva San Francisco Chapter 17, DVD 鑑賞	語彙・会話表現確認、音読
	23	(特) Text: Unite 13 (Grammar Point, Grammar Exercise, Song listening)	文法、基本文・表現確認、聴解
	24	(特) Viva San Francisco Chapter 18, Text Unit 12 Vocabulary	語彙・会話表現確認、音読、語彙調
	25	(特) Text:Unit 12 (Grammar Point, Grammar Exercise, Song listening)	文法、基本文・表現確認、聴解
	26	(特) Text: Unit 12 (Reading, Listening, Review)	語彙・表現確認、聴解、U12復習
	27	(特) Unit 12 Review Test, Viva San Francisco Chapter 19, Text Unit 14 Vocabulary	語彙・会話表現確認、音読、語彙調
	28	(特) Text: Unit 14 (Grammar Point, Grammar Exercise, Song listening)	文法、基本文・表現確認、聴解
	29	(特)Viva San Francisco Chapter 20, Text Unit 14 (Reading, Listening, Review)	語彙・表現確認、聴解、U14復習
	30	(特) Unit 14 Review Test, 英語 II 振返り、DVD 鑑賞	英語 II 振返り, 日常会話確認
31	(特) 期末テスト	期末テストに備える	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教科書は Let's Learn English with Pop Hits! (SEIBIDO) です。大学内の朝野書房で購入して下さい。 2. 授業課題とその正解・解説を綴る、ファイルを準備して下さい。 3. 課題は Word, オンライン授業は Teams を使っています。
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 授業連絡の既読を毎回行い連絡内容を確認すること(既読が特編授業出席となる)。 ② 学習の際(課題等)は辞書を多用すること。 ③ 課題は早めに取り組み、期限を守って提出すること。 ④ 教科書や教材の音源を活用し積極的に音読に励むこと。 ⑤ 時間管理を行い各自の責任で課題、復習をする時間を確保すること(2単位は60時間の自主学習必要)。 <p>*シラバスは学習状況により変更する可能性があります。</p>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題、復習・確認テスト (30%) ・ 中間テスト、期末テスト (30%) ・ Viva San Francisco (25%) ・ 課題提出、授業参加態度 (15%)
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語I、IIで学んだ基礎をもとに、英語検定試験やTOEICなどの資格試験に積極的に挑戦し、自発的に学べる姿勢を身につけ、将来は英語でも自分のやりたい事ができる環境を築いて下さい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-上里 博美 [法律・地行]	1年	大学メールで受け付けます。メールアドレスは授業でお知らせします。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>リスニング力とスピーキング力向上を目指し、英語Iで学んだ内容のレベルアップを図る。英語IIでは、さらに語彙力を養い読解力もつける。意欲的に“発音”、“音読”に重点を置いた学習に取り組み「使える」英語を身につける。教材やInternet等の音源を利用して積極的に英語を聴く、話す等、英語を使う機会を増やし、意見の交換ができるようになる。</p>	<p>英語I同様、英語IIでも英語を多用する機会はTeamsオンライン授業となります。ペアやグループで英語を発話する授業に集中して積極的に取り組んで下さい。耳と口を使って英語を訓練する場や回数を活用することが大切です。ある意味で特編授業では音読、発話練習を周りを気にせず集中して意図的に取り組めるはず。スピーキング力のレベルアップ図りましょう。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 易しい内容の英語を聞いて理解できる。 2. 自分の事を英語で伝えることができる。 3. 身近なことや自分の興味関心のあることを基本的な英語で表現できる。 4. 英語学習においてインターネットを効果的に活用できる。 5. 英語学習を通して国際的な視野を広げることができる。 	

学びの実践	学びのヒント			
	授業計画	回	テーマ	
			時間外学習の内容	
		1	(特) Class Orientation, Text Unit 8 Vocabulary, English Songs	授業内容、進度、約束事等の確認
		2	(特) Text Unit 8 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	語彙、聴解、音読、英文表現確認
		3	(特) Viva San Francisco Chapter 11, Text Unit 9 Vocabulary	語彙、会話表現確認、音読、語彙調
		4	(特) Text Unit 8 (Grammar, Reading, Writing)	文法、読解、英作文確認
		5	(特) Viva San Francisco Chapter 12, Text Unit 10 Vocabulary	語彙、会話表現確認、音読、語彙調
		6	(特) Text Unit 9 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	語彙、聴解、音読、英文表現確認
		7	(特) Viva San Francisco Chapter 13, English Songs, English in News	語彙、会話表現確認、音読、語彙調
		8	(特) Text Unit 9 (Grammar, Reading, Writing)	文法、読解、英作文確認
		9	(特) Unit 9 Review Test, DVD鑑賞, Text Unit 11 Vocabulary	語彙、日常会話表現確認、語彙調べ
		10	(特) Text Unit 10 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	語彙、聴解、音読、英文表現確認
		11	(特) Viva San Francisco Chapter 14, BBC "Medicine" Vocabulary	語彙、会話表現確認、音読、語彙調
		12	(特) Text Unit 10 (Grammar, Reading, Writing)	文法、読解、英作文確認
		13	(特) Unit 10 Review Test, VSF Chapter 15, "Medicine" Vocabulary Practice	語彙、会話表現確認、語彙発音
		14	(特) Text Unit 11 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	語彙、聴解、音読、英文表現確認
		15	(特) 中間テスト	Unit8~10・VSF11~15復習
		16	(特) 中間テスト振返り、DVD鑑賞、English in News, Text Unit 12 Vocabulary	中間振返り、日常英語表現確認等
		17	(特) Text Unit 11 (Grammar, Reading, Writing)	文法、読解、英作文確認
		18	(特) Unit 10 Review Test, BBC "Medicine" Vocabulary Practice, Exercise, Check Test	語彙、表現、文法復習、聴解
		19	(特) Text Unit 12 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	語彙、聴解、音読、英文表現確認
		20	(特) Viva San Francisco Chapter 16, Text Unit 13 Vocabulary	語彙、会話表現確認、音読、語彙調
		21	(特) Text Unit 12 (Grammar, Reading, Writing)	文法、読解、英作文確認
		22	(特) Unit 12 Review Test, Viva San Francisco Chapter 17, DVD鑑賞	語彙、表現、文法復習、聴解練習
		23	(特) Text Unit 13 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus), English Songs	語彙、聴解、音読、英文表現確認
		24	(特) Viva San Francisco Chapter 18, Text Unit 14 Vocabulary	語彙、会話表現確認、音読、語彙調
		25	(特) Text Unit 13 (Grammar, Reading, Writing)	文法、読解、英作文確認
		26	(特) Text Unit 14 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	語彙、聴解、音読、英文表現確認
		27	(特) Unit 13 Review Test, Viva San Francisco Chapter 19, TED Talk	語彙、会話表現確認、音読、聴解
		28	(特) Text Unit 14 (Grammar, Reading, Writing)	文法、読解、英作文確認
		29	(特) Unit 14 Review Test, Viva San Francisco Chapter 20, TED Talk	語彙、会話表現確認、音読、聴解
	30	(特) 英語II振返り、DVD鑑賞、English Songs	英語II振返り、日常会話表現確認	
	31	(特) 期末テスト	期末テストに備える	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指定教科書は英語I Text, New Connection (SEIBIDO) を継続使用します。 2. 授業課題とその正解・解説を綴る、ファイルを準備して下さい。 3. 課題は Word、オンライン授業は Teams を使っています。
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 授業連絡の既読を毎回行い連絡内容を確認すること(既読が特編授業出席となる)。 ② 学習の際(課題等)は辞書を多用すること。 ③ 課題は早めに取り組み、期限を守って提出すること。 ④ 教科書や教材の音源を活用し積極的に音読に励むこと。 ⑤ 時間管理を行い各自の責任で課題、復習をする時間を確保すること(2単位は60時間必要)。 <p>*シラバスは学習状況によって変更の可能性あります。</p>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題、復習・確認テスト (30%) ・ 中間、期末テスト (30%) ・ Viva San Francisco (25%) ・ 課題提出、授業参加態度 (15%)
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語I、IIで学んだ基礎をもとに、英語検定試験やTOEICなどの資格試験に積極的に挑戦し、自発的に学べる姿勢を身につけ、将来は英語でも自分のやりたい事ができる環境を築いて下さい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	大城 明子[法律・地行]	1年	akooshiro@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 英語コミュニケーションを用いる場面を想定したうえで、英語の理解と発信が可能な能力をみにつけるのがねらいである。	メッセージ オンラインでの学習となります。英語基礎力と様々な場面で使える英語を取り上げます。ぜひ皆さんの将来、未来への足掛かりとなるようコツコツと吸収してください。
	到達目標 日本人の私達が必要となる場面（英語を用いる日常生活、海外旅行、留学）において、聞いて理解する（文化的な意味も含む）、話す（相手に理解してもらうように）の英語コミュニケーションができる。	

学びの準備	到達目標 日本人の私達が必要となる場面（英語を用いる日常生活、海外旅行、留学）において、聞いて理解する（文化的な意味も含む）、話す（相手に理解してもらうように）の英語コミュニケーションができる。
-------	--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	<特> オリエンテーション（テキスト案内、注意事項等）	英語Ⅱノート準備
	2	<特> 課題1 他	課題1を仕上げる
	3	<特> テキストUnit8-1	テキストUnit8-1復習
	4	<特> テキストUnit8-2, テキストe-learning	テキストUnit8-2復習とe-learning
	5	<特> Viva!Ch19-1	Viva!Ch19-1復習
	6	<特> Viva!Ch19-2	テキスト復習とe-learning
	7	<特> テキストUnit9-1	テキスト復習Unit9-1復習
	8	<特> テキストUnit9-2, テキストe-learning	テキストUnit9-2復習とe-learning
	9	<特> Viva!Ch18-1	Viva!Ch18-1復習
	10	<特> Viva!Ch18-2	Viva! Ch18-2復習
	11	<特> テキストUnit10-1	テキストUnit10-1復習
	12	<特> テキストUnit10-2, テキストe-learning	テキスト復習e-learning
	13	<特> テキストe-learning学習 前半Unit8-10締め切り、課題2	課題2を仕上げる
	14	<特> テキストUnit11-1	テキストUnit11-1復習
	15	<特> テキストUnit11-2	テキスト復習とe-learning
	16	<特> テキストUnit12-1	テキストUnit12-1復習
	17	<特> テキストUnit12-2	テキスト復習とe-learning
	18	<特> Viva!Ch12-1	Viva! Ch12-1復習
	19	<特> Viva!Ch12-2	Viva! Ch12-2復習
	20	<特> テキストUnit13-1	テキストUnit13-1復習
	21	<特> テキストUnit13-2	テキスト復習とe-learning
	22	<特> テキストUnit14-1	テキストUnit14-1復習
	23	<特> テキストUnit14-2	テキスト復習とe-learning
	24	<特> Viva!Ch6-1	Viva! Ch6-1復習
	25	<特> Viva!Ch6-2	Viva! Ch6-2復習
	26	<特> テキストUnit15-1	テキストUnit12-1復習
	27	<特> テキストUnit15-2	テキスト復習とe-learning
	28	<特> Viva! Ch10-1	Viva! Ch10-1復習
	29	<特> Viva!Ch10-2	Viva! Ch10-1復習
30	<特> e-learning後半Unit11-15締め切り、他	テキストe-learning後半仕上げる	
31	<特> 総まとめ（ノート提出）	英語Ⅱをふりかえる	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキストは、英語Ⅰと同じものを用います。テキストを自主的にまとめるB5サイズノートも必ず準備してください。他資料は、講義回に随時のせていきます。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>オンライン授業での各回の指示や案内をきちんと把握した上で、学習をすすめてください。また、疑問点等がある場合には、遠慮なく講師のメールをし聞いてください。自ら地道に学ぶ皆さんを応援します。</p>
	<p>評価</p> <p>テキスト学習ノート:40%, テキストe-learning:32%, Viva San Francisco学習:20%, 課題: 8%</p> <p>欠席 1回につき1点減点</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>2年次に履修する英語Ⅲ・Ⅳで、英語Ⅰ・Ⅱで培った英語力を特にリーディング、ライティングの増強を目指してください。また、それらの力を発揮するための英語力検定等をもとに学習する英語Ⅴ。Ⅵ。Ⅶ、Ⅷでキャリアに生かせる英語力をつけられます。ぜひ挑戦してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	クイグ K ジャコブソン[経・環・企・産 (2年以上)]	2年	Office: 5-421 mail: jacobson@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい This course is designed to help students improve their English speaking and listening skills and their overall ability to communicate.	メッセージ Students must bring their textbook and a notebook to every class.
	到達目標 Develop autonomous learners and improve oral communication skills.	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Registration and course introduction	Syllabus review
	2	You and Me	Listening & vocabulary practice
	3	You and Me	Listening & vocabulary practice
	4	Growing Up	Listening & vocabulary practice
	5	Growing Up	Listening & vocabulary practice
	6	At Home and at School	Listening & vocabulary practice
	7	At Home and at School	Listening & vocabulary practice
	8	Review	Listening & vocabulary practice
	9	Going Out	Listening & vocabulary practice
	10	Going Out	Listening & vocabulary practice
	11	Food and Drink	Listening & vocabulary practice
	12	Food and Drink	Listening & vocabulary practice
	13	The Future	Listening & vocabulary practice
	14	The Future	Listening & vocabulary practice
	15	Review	Listening & vocabulary practice
	16	Travel	Listening & vocabulary practice
	17	Travel	Listening & vocabulary practice
	18	Entertainment	Listening & vocabulary practice
	19	Entertainment	Listening & vocabulary practice
	20	Staying Healthy	Listening & vocabulary practice
	21	Staying Healthy	Listening & vocabulary practice
	22	Review	Listening & vocabulary practice
	23	People I Know	Listening & vocabulary practice
	24	People I Know	Listening & vocabulary practice
	25	Storytelling	Listening & vocabulary practice
	26	Storytelling	Listening & vocabulary practice
	27	Society	Listening & vocabulary practice
	28	Society	Listening & vocabulary practice
	29	Review	Listening & vocabulary practice
30	Final Interview Test	Interview preparation	
31	Final Interview Test	Interview preparation	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など Textbook TBA Students must bring a notebook to each class.</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て Regular attendance and a willingness to communicate in English are crucial for this class.</p>
	<p>評価 Students will be evaluated based a variety of listening exams (75%) and presentations (25%). Students should note that there are no makeup exams for listening exams that they might miss. Missing one listening exam, however, will not have any impact on one's final grade. Points will be deducted for attendance problems. Failure to attend 2/3 of classes will result in failure. Being late three times counts as one missed class.</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 英語 III</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-宮平 勝行[法律・地行]	1年	Eメール (ptt900@okiu.ac.jp) と電話 (098-895-8303) による相談を受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語Ⅱに引き続き英語のリスニングとスピーキング力の向上を図ります。日本人大学生が米国留学する際に経験する英会話をラボ教材を用いて学びます。あわせて大学生にとって馴染みのある日常的な題材からグローバルな科学的トピックまで、様々な英会話やナレーションを聴き、自ら批判的に考え、英語で表現する訓練を繰り返しながら、大学生としての教養を身につけ、英語力を強化します。	授業は対面で行う予定ですが、新型コロナウイルスが収束していない場合は遠隔授業で行います。(遠隔授業の場合は、ZOOM、Google Classroom、そして沖国大ポータルを用いる予定です。) 対面、遠隔いずれの場合も、講義だけでなく、小グループの学習活動や個人による口頭発表を行います。授業ではマルチメディア教材を利用し、常にネイティブの英語に触れる学習環境を用意しています。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 継続して英語を学習する習慣をつけ、楽しみながら英語が学習できるようになる。 2. 英語の語彙力を伸ばし、簡単な英会話や英語のナレーションを理解できるようになる。 3. グローバル化した現代の様々な話題に親しみ、自らの基本的な見解について簡単な英語で表現できるようになる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション 遠隔授業について、英語によるクラスメート紹介	シラバスを事前に読むこと
	2	[Pathway1] Art and Music, Day 1	Unit 8の予習
	3	[Pathway1] Art and Music, Day 2	Unit 8の予習
	4	[Pathway1] Art and Music, Day 3	Unit 8の予習
	5	[Pathway1] Art and Music, Day 4	Unit 8の予習
	6	[Pathway1] Out Relationship with Nature, Day 1	Unit 9の予習
	7	[Pathway1] Out Relationship with Nature, Day 2	Unit 9の予習
	8	[Pathway1] Out Relationship with Nature, Day 3	Unit 9の予習
	9	[Pathway1] Out Relationship with Nature, Day 4	Unit 9の予習
	10	[Pathway1] How We Communicate, Day 1	Unit 10の予習
	11	[Pathway1] How We Communicate, Day 2	Unit 10の予習
	12	[Pathway1] How We Communicate, Day 3	Unit 10の予習
	13	[Pathway1] How We Communicate, Day 4	Unit 10の予習
	14	中間テスト	既習教材の復習・試験準備
	15	[Pathway 2] Staying Healthy in the Modern World, Day 1	Book 2 Unit 1の予習
	16	[Pathway 2] Staying Healthy in the Modern World, Day 2	Book 2 Unit 1の予習
	17	[Pathway 2] Staying Healthy in the Modern World, Day 3	Book 2 Unit 1の予習
	18	[Pathway 2] Staying Healthy in the Modern World, Day 4	Book 2 Unit 1の予習
	19	[Pathway 2] Energy and Our Planet, Day 1	Book 2 Unit 2の予習
	20	[Pathway 2] Energy and Our Planet, Day 2	Book 2 Unit 2の予習
	21	[Pathway 2] Energy and Our Planet, Day 3	Book 2 Unit 2の予習
	22	[Pathway 2] Culture and Tradition, Day 1	Book 2 Unit 3の予習
	23	[Pathway 2] Culture and Tradition, Day 2	Book 2 Unit 3の予習
	24	[Pathway 2] Culture and Tradition, Day 3	Book 2 Unit 3の予習
	25	[Pathway 2] A Thirsty World, Day 1	Book 2 Unit 4の予習
	26	[Pathway 2] A Thirsty World, Day 2	Book 2 Unit 4の予習
	27	[Pathway 2] A Thirsty World, Day 3	Book 2 Unit 4の予習
	28	[Pathway 2] Inside the brain, Day 1	Book 2 Unit 5の予習
	29	[Pathway 2] Inside the brain, Day 2	Book 2 Unit 5の予習
	30	[Pathway 2] Inside the brain, Day 3	Book 2 Unit 5の予習
31	期末テスト	既習教材の復習・試験準備	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Chase, Becky T. (2017). Pathways 1: Listening, speaking, and critical thinking 1 Student book 1 (2nd ed.). Boston, MA: Heinle-Cengage ELT. (英語Iの教科書を継続使用) 2. Kristin Johannsen. (2018). Pathways: Listening, speaking, and critical thinking 2: Student book 2 A (2nd ed.). Boston, MA: Heinle-Cengage ELT. ISBN: 978-1337562577
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業活動への貢献度は、授業中の発言を通してどれだけクラス全体の知識の向上に貢献したかで主に判断します。 2. 出欠状況は「授業への貢献度」として評価します。正当な理由がなく講義を欠席した場合は、1回ごとに総合点(100点)から2点ずつ減点します。3回の遅刻は1回の欠席とみなしますので注意しましょう。 3. 予習(特にオンライン学習)を欠かさず行い、授業中はクラス・ディスカッションに当てましょう。 4. 学期中、1/3(10回)以上授業を欠席した場合は、学則により自動的に「不可」の成績となります。 5. やむを得ぬ理由で授業に出席できない学生は、事前に電話もしくは電子メールで申し出てください。事前の申し出がない限り追試などを行いません。また、事前の申し出がなく、予定された日に試験やクイズを受けられない場合、得点は0点となります。
	<p>評価</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 語彙力とリスニング力養成のためのオンライン・クイズを実施します。(5~7回, 20%) 2. 中間テスト(30%) 3. 期末テスト(30%) 4. 受講態度及び授業への貢献度を評価します(20%)
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語IIIからは到達度別(習熟度別)クラス編成になります。できるだけ高い到達度を達成するよう、この授業で頑張りましょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-島村 麗[産業情報]	1年	*E-mail : ptt929@okiu.ac.jp 携帯 : 080-3968-8867	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	文法にとらわれず、比較的簡単な英語を使って諸外国の人々とコミュニケーションをとれるようになることを目標とする。	英語Ⅰでは大学生活における日常英語を学習したが、英語Ⅱでは沖縄、日本の諸事情を学び、外国人に対して簡単な英語を通して自国のことを説明できるような学習を中心とする。

到達目標	沖縄あるいは日本の諸事情について学び、簡単な英語で外国人にもそれらを説明できるような力をつけることを目標とする。
------	--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation (授業形態・テキスト紹介) / 講師自己紹介	特になし
	2	General Information of Okinawa	Review for Mini Test
	3	The Beginning of the Ryukyu Kingdom	Review for Mini Test
	4	Under the Rule of China and Japan	Review for Mini Test
	5	The End of the Ryukyu Kingdom	Review for Mini Test
	6	The Battle of Okinawa	Review for Mini Test
	7	The Himeyuri	Review for Mini Test
	8	Under U.S Rule	Review for Mini Test
	9	The U.S Bases	Review for Mini Test
	10	The Corner Stone of Peace Memorial	Review for Mini Test
	11	The World Heritage Sites	Review for Mini Test
	12	Art and Craft of Okinawa	Review for Mini Test
	13	Foods in Okinawa	Review for Mini Test
	14	Important People in Okinawa	Review for Mini Test
	15	Language in Okinawa	Review for Mini Test
	16	Review Test (2~15)	Review for Midterm Exam(Okinawa)
	17	Landscape of Japan	Review for Mini Test
	18	The Population of Japan	Review for Mini Test
	19	Tokyo・Edo	Review for Mini Test
	20	Japanese Characters	Review for Mini Test
	21	The Imperial Family	Review for Mini Test
	22	The Art of Japan(Ukiyoe / Kabuki)	Review for Mini Test
	23	karaoke	Review for Mini Test
	24	izakaya	Review for Mini Test
	25	Food in Japan	Review for Mini Test
	26	Manga/ Anime	Review for Mini Test
	27	kyoto/Osaka	Review for Mini Test
	28	Religion of Japan	Review for Mini Test
	29	The Family Register and Resident Card System	Review for Mini Test
30	Review Test (17~29)	Review for Final Exam (Japan)	
31	Presentation (bout a famous person of Okinawa)	Preparation for Presentation	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など テキストは講師自身が作成したものを使用する。購入の必要はない。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 講義への参加：出席は重要である。毎回のミニテスト提出を必ず提出すること。（提出期限あり。） 質問等は、メール (ptt929@okiu.ac.jp) にて受け付ける。</p>
	<p>評価 評価は：(1) 毎回のMiniTestの結果(20%) (2) Midterm/ Final Exam (30%) (3) Presentation(50%) で評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 この講義は遠隔授業で、Reading を中心に行うので、次のステップとしては、 writing 及び Listening を中心にした授業を受講し、英語の4技能を習得する努力をして欲しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-赤嶺 ゆかり [法律・地行・社文(2年以上)]	2年	ptt807@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい (1) 感情や事実、考えや意図等を伝える活動(ペアワークやグループワーク)を通して、スピーキングおよびリスニングスキルを高める。 (2) 他者を受容し多様な価値観を受容するコミュニケーション能力を高める。	メッセージ 共に学びあう学習環境を作り上げるコミュニティの一員であるという自覚をもち、主体性を持って(対面でも遠隔でも)授業に参加しましょう。Google Classroomで課題と事前学習に取り組める方は大歓迎です。(スマホ、ipad、ノートパソコンなど持ち込み可能。)
	到達目標 (1) 日常生活での出来事について説明したり、用件を伝えたりすることができる。 (2) 日常生活での情報・説明を聞きとったり、まとまりのある内容を理解することができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Week1 イン트로ダクション(授業の進め方の説明) 授業内容は変わる場合があります。	シラバスの確認
	2	Week1 イン트로ダクション(前期の復習)	音読
	3	Week2 Summer Vacation (Travel, Event, Meeting, Work and etc.,)	予習 音読 復習 課題
	4	Week2 Summer Vacation (Travel, Event, Meeting, Work and etc.,)	予習 音読 復習 課題
	5	Week3 Giving Advice	予習 音読 復習 課題
	6	Week3 Giving Advice	予習 音読 復習 課題
	7	Week4 Getting Information	予習 音読 復習課題
	8	Week4 Getting Information	予習 音読 復習課題
	9	Week5 Getting Information	予習 音読 復習課題
	10	Week5 Getting Information	予習 音読 復習課題
	11	Week6 Comparing & Contrasting	予習 音読 復習課題
	12	Week6 Comparing & Contrasting	予習 音読 復習課題
	13	week7 Comparing & Contrasting	予習 音読 復習課題
	14	Week 7Comparing & Contrasting	予習 音読 復習課題
	15	Week8 Speakingテスト	テスト勉強&映画
	16	Week8 Speaking テスト	テスト勉強&映画
	17	Week9 Speaking テスト	テスト勉強&映画
	18	Week9 Talking about Experiences	予習 音読 復習課題
	19	Week10 Talking about Experiences	予習 音読 復習課題
	20	Week10 Talking about Experiences	予習 音読 復習課題
	21	Week11Talking about Experiences	予習 音読 復習課題
	22	Week11 Orientation for Group Project	発表に向けて準備
	23	Week12 Orientation for Group Project	音読練習
	24	Week12 Presentation	発表練習
	25	Week13Presentation	発表練習
	26	Week13 Interviewing	予習 音読 復習課題
	27	Week14 Interviewing	予習 音読 復習課題
	28	Week14 Interviewing	予習 音読 復習課題
	29	Week15 Interviewing	予習 音読 復習課題
30	Week15 テスト対策	テスト勉強	
31	Week16 期末テスト(後期の範囲全て)		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Google Classroomにて授業で使用する全ての教材資料（文書・音声・動画等）を一斉配布します。
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ★履修の心構え：対面でも遠隔授業でもペアワークやグループワークを行う。そのため、共同学習に協力的であること。 ★学びを深めるために：授業内容で理解が難しい場合は、直ぐに講師に相談してください。
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Google Classroom 内に配布されたTask（課題）（Listening Task, Speaking Task, ペア・グループワークへの参加と貢献なども含む） 70% ・ 期末テスト 30 % <p>**欠席数が全体の1/3 以上の場合は不可となります。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>(1) (できれば) 英語Ⅲ・Ⅳ</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水4・土3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-富里 明美 [日文]	1年	メールを送信するか、授業終了後に教室で直接問い合わせること。	

学びの準備	ねらい コミュニケーション能力向上のため、CALL教室においては英会話学習用ソフトを使用してネイティブスピーカーの発音を学び、応用できるようにする。講義中はテキストを使用し、リスニング・スピーキングの技能を向上させる。	メッセージ 語学の学習においては、発言することが重要であるので、評価方法の中に「講義への貢献度」を設けた。講義中の学生の積極的な発言や参加を重視する。講義へは毎回辞書を持参すること。提出物は、指定がない限り、B5サイズのルーズリーフを使用すること。
	到達目標 基本的な英会話の能力を養う。 英語で簡単な討論ができる。 平易な英語で書かれた物語を理解できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Class Orientation (Text Unit 7~12)	Text: Unit 7 予習
	2	Call class orientation (Viva! San Francisco)	Subtext: Chapter 11 予習
	3	Unit 7	Text: Unit 7 Dialogue 予習
	4	Chapter 11, Viva! San Francisco	Subtext: Chapter 11 予習
	5	Unit 7	Text: Unit 7 Practice 1-4 予習
	6	Chapter 12, Viva! San Francisco	Subtext: Chapter 12 予習
	7	Unit 7	Text: Unit 7 Practice 5-8 予習
	8	Chapter 13, Viva! San Francisco	Subtext: Chapter 13 予習
	9	Unit 8	Text: Unit 8 Dialogue 予習
	10	Chapter 14, Viva! San Francisco	Subtext: Chapter 14 予習
	11	Unit 8	Text: Unit 8 Practice 1-8 予習
	12	Chapter 15, Viva! San Francisco	Subtext: Chapter 15 予習
	13	Unit 9	Text: Unit 9 Dialogue 予習
	14	Unit 9	Text: Unit 9 Practice 1-4 予習
	15	Review Unit 7~9	Text: Unit 9 Practice 5-8 予習
	16	Mid-term Examination	Text: Unit 7-9 復習
	17	Review Mid-term exam & Unit 10	Text: Unit 10 Dialogue 予習
	18	Chapter 16, Viva! San Francisco	Subtext: Chapter 16 予習
	19	Unit 10	Text: Unit 10 Practice 1-4 予習
	20	Chapter 17, Viva! San Francisco	Subtext: Chapter 17 予習
	21	Unit 10	Text: Unit 10 Practice 1-8 予習
	22	Chapter 18, Viva! San Francisco	Subtext: Chapter 18 予習
	23	Unit 11	Text: Unit 11 Dialogue 予習
	24	Chapter 19, Viva! San Francisco	Subtext: Chapter 19 予習
	25	Unit 11	Text: Unit 11 Practice 1-8 予習
	26	Chapter 20, Viva! San Francisco	Subtext: Chapter 20 予習
	27	Unit 11 & 12	Text: Unit 12 Dialogue 予習
	28	Unit 12	Text: Unit 12 Practice 1-4 予習
	29	Unit 12	Text: Unit 12 Practice 5-8 予習
30	Review Unit 10~12 and Final Examination	Text: Unit 10-12 学習	
31	Review Final Examination & Make-up Exam	Text: Unit 10-12 復習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト： Journeys - Communication for the Future - ASAHI PRESS (2000円+tax)</p>								
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 15分までの遅刻は、3回で1回の欠席とみなす。15分以上30分までの遅刻は、2回で1回の欠席とみなす。 講義中に課せられた課題および宿題の提出の期限は厳守すること。 								
	<p>評価</p> <table border="0"> <tr> <td>中間テスト：15%</td> <td>期末テスト：15%</td> </tr> <tr> <td>クイズ：5%</td> <td>提出物：30%</td> </tr> <tr> <td>課題(presentation)：15%</td> <td>授業参加率：10%</td> </tr> <tr> <td>講義への貢献度：10%</td> <td></td> </tr> </table>	中間テスト：15%	期末テスト：15%	クイズ：5%	提出物：30%	課題(presentation)：15%	授業参加率：10%	講義への貢献度：10%	
中間テスト：15%	期末テスト：15%								
クイズ：5%	提出物：30%								
課題(presentation)：15%	授業参加率：10%								
講義への貢献度：10%									
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語 III & 英語 IV 「上位科目」</p>								

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-ジョーン ターバート [英米]	1年	Joan Tarbert Uezu ptt500@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>The purpose of this class is to help students develop conversational skills while working on improving their reading and writing skills. Students will learn new vocabulary and how to use the vocabulary they already know in daily conversation. They will also study grammar as it is used in daily conversation. 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】</p>	<p>As a native speaker of English, I will teach you English as it is used in real life. This class will give you many chances to practice speaking in English. In general, I will only speak in English in class. Japanese will sometimes be used on handouts and quizzes, but I will do what I can to help students who are not Japanese.</p>
	到達目標	
	<ul style="list-style-type: none"> • You will be able to have basic English conversations more smoothly and naturally. • You will be able to write basic English sentences more accurately and clearly. • You will be able to use the vocabulary and grammar you learn in daily conversation. • You will be able to give short presentations in English. 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Summer vacation activity	Review classroom English
	2	Unit 8 (Review)	Study for quiz
	3	Quiz / Correct common mistakes	Finish correcting mistakes
	4	Unit 9 (Time)	Review time
	5	Unit 9 (Time)	Study for quiz
	6	Quiz / Unit 10 (Numbers)	p. 70-73
	7	Unit 10 (Numbers)	Study for quiz
	8	Quiz / Unit 10 (Numbers)	Population questions
	9	Numbers	Study for quiz
	10	Quiz / Unit 11 (Comparative)	p. 78-81
	11	Unit 11 (Comparative)	Study for quiz
	12	Quiz / Unit 12 (Superlative)	Comparative handout
	13	Unit 12 (Superlative)	Wh-questions handout
	14	How often	Write sentences
	15	How often	Study for quiz
	16	Quiz / Unit 13 (Present perfect)	Study for quiz
	17	Quiz / Unit 13 (Present perfect)	Study for quiz
	18	Quiz / Unit 14 (Future)	p. 104
	19	Unit 14 (Future)	p. 105
	20	Unit 14 (Future)	Prepare conversation
	21	Eating out	Food survey
	22	New Year's resolutions	Resolutions handout
	23	Christmas/New Year	Christmas/New Year handout
	24	Christmas activity	Winter vacation homework
	25	Winter vacation activity	Prepare for interview
	26	Work on speech and interview	Work on speech/interview
	27	Review	Prepare for speech
	28	Speech	Prepare for interview
	29	Interview test	Review for exam
30	Final exam	Review for listening test	
31	Listening test		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English II will cover the second half of the text, On Your Marks! (Intercom Press). In addition, the instructor will provide handouts. Please buy an A4 file for this class. Also, students should bring dictionaries (paper or electronic) to class. Cell phone dictionaries cannot be used in class.</p>
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> • More than 30 minutes late to class= 1 absence / Being late twice= 1 absence • Less than 66% attendance= 不可 • Homework must be done on time. Late homework=0 • If you are absent when homework is due, please hand it in at the beginning of the next class. • If you are absent when there is a quiz, there will be no makeup quiz. • Students should use English in class as much as possible. • Cell phones cannot be used in class. They should be set to silent mode and put away during class. • Students should be quiet when the instructor is speaking.
	<p>評価</p> <p>Final exam/listening test/quizzes/homework (60%) Interview test (20%) Class participation (10%) Presentation (10%) Note: If classes are held online, the information above may change.</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>Students should continue working to improve their communication skills in classes such as Oral Communication III.</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	山川 満夫 [法律・地行]	1年	myamakawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 英語Ⅰの発展として、さらにスピーキング力とリスニング力の育成を中心に、総合的な英語力のレベルアップを図り、英語による自己表現活動に力を入れます。英語Ⅰに引き続き全学教材のViva! San FranciscoのCh.11～20を学習し、英会話力アップを目指します。	メッセージ 中学校教諭としての経験を活かし、英語Ⅰでの指導内容を踏まえ、基礎的事項から学習しますので、英語に苦手意識を持っている方にとっても、学び直す絶好のチャンスです。一緒に英語を勉強しましょう。
	到達目標 ・基礎的な英文を聞いて、内容を理解することができる。 ・身近な事柄について、英語を使って話すことができる。 ・英語に対して興味・関心を高め、さらに学び続ける意欲を持つようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	英語Ⅱオリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	英語Ⅰの総復習	前期の既習事項に目を通す
	3	Viva! San Francisco Ch.12	役立つ表現(12)の暗唱
	4	英語の基礎力養成 14	English Ace Unit 9の復習
	5	Viva! San Francisco Ch.13他	役立つ表現(13)の暗唱
	6	英語の基礎力養成 15	語彙力アップ(1)
	7	Viva! San Francisco Ch.14他	役立つ表現(14)の暗唱
	8	英語の基礎力養成 16	English Ace Unit 10の復習
	9	Viva! San Francisco Ch.15他	役立つ表現(15)の暗唱
	10	英語の基礎力養成 17	語彙力アップ(2)
	11	Viva! San Francisco Ch.16他	役立つ表現(16)の暗唱
	12	英語の基礎力養成 18	English Ace Unit 11の復習
	13	Viva! San Francisco Ch.12～16総まとめ	役立つ表現の復習
	14	英語の基礎力養成 19	語彙力アップ(3)
	15	Viva! San Francisco Ch.17他	役立つ表現(17)の暗唱
	16	英語の基礎力養成 14～19(中間点検)	English Ace Unit 9～11の総復習
	17	Viva! San Francisco Ch.18他	役立つ表現(18)の暗唱
	18	英語の基礎力養成 20	English Ace Unit 12の復習
	19	Viva! San Francisco Ch.19他	役立つ表現(19)の暗唱
	20	英語の基礎力養成 21	English Ace Unit139の復習
	21	Viva! San Francisco Ch.20他	役立つ表現(20)の暗唱
	22	英語の基礎力養成 22	English Ace Unit 14の復習
	23	映画を通して学ぶ表現(1)	役立つ表現(21)の暗唱
	24	英語の基礎力養成 23	English Ace Unit 15の復習
	25	映画を通して学ぶ表現(2)	役立つ表現(22)の暗唱
	26	英語の基礎力養成 24	English Ace Unit 15の復習
	27	第2回スピーチテストへの取組	インタビューテストへの準備
	28	英語の基礎力養成 25	同上
	29	第2回スピーチテスト	同上
30	英語の基礎力養成 20～25総復習	English Ace Unit 12～15の総復習	
31	英語の基礎力養成 20～25(期末点検)	同上	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Viva! San Francisco (ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし) 2. 講師指定の教科書 (オリエンテーション時に連絡する。)
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義への出欠確認は、毎回厳格に行うので、やむを得ず欠席する場合は、事前にメールで連絡すること。 ・ペア学習をよく取り入れるので、積極的な態度で臨むように心がけること。 ・講義時間以外にも、指定教材e-learningを積極的に活用すること。
	<p>評価</p> <p>①授業参加度 (15%)、②インタビューテスト (20%)、③中間テスト (30%)、④期末テスト (35%)、の結果を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この講義で学んだことを活かし、英語で「書くこと」や「読むこと」の力を高めるために、英語Ⅲ及び英語Ⅳを履修することが望ましい。

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-山入端 由美子[経済]	1年	講義室にて、もしくはメールにて受付ます。 ptt1230@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 英語Ⅰをさらに発展させ、英語コミュニケーションの力を日常の多くの場面で自ずから発信、受容し英語を使用できるようにするのがねらいである。よって、問題練習だけでなくさまざまな活動を通して学習者がその習得を実現かつ気づいて自信をつけるようにする。	メッセージ 英語Ⅰの学習内容を基礎とし、2種類のウェブ学習教材を有効に活用しさらに多くの表現を身につけ実践的英語力の強化を図りましょう。
	到達目標 ・ポプスを聞きリスニング力を高める。歌詞中の基本的表現・口語的言い回し・文法事項等に注目し、それらを活用できるようになる。 ・海外旅行・留学等で想定される言語活動に触れる。英語Ⅰの発展学習として、より込み入った内容の会話もできるようになる。 ・自分の意見や好みを適切な英語を用いて発表することができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	English II Class Orientation	Read English II course syllabus
	2	Textbook Unit 8 You Are Not Alone	Listen to a song in Unit 8
	3	Textbook Unit 8 You Are Not Alone	LMS Viva! SF chapter 11
	4	Textbook Unit 8 You Are Not Alone	Linguaporta Unit 8
	5	Textbook Unit 9 You Gotta Be	Listen to a song in Unit 9
	6	Textbook Unit 9 You Gotta Be	LMS Viva SF chapter 12
	7	Textbook Unit 9 You Gotta Be	Linguaporta Unit 9
	8	Textbook Unit 10 How Crazy Are You?	Listen to a song in Unit 10
	9	Textbook Unit 10 How Crazy Are You?	LMS Viva SF chapter 13
	10	Textbook Unit 10 How Crazy Are You?	Linguaporta Unit 10
	11	Textbook Unit 12 Desperado	Listen to a song in Unit 12
	12	Textbook Unit 12 Desperado	LMS Viva SF chapter 14
	13	Textbook Unit 12 Desperado	Linguaporta Unit 12
	14	The Mid-term Exam	Review Unit8,9,10,12
	15	Reviewing the Mid-term Exam	Prepare for your essay
	16	Essay Writing	Prepare for your essay
	17	Essay Writing	LMS Viva! SF chapter 15
	18	Textbook Unit 11 Last Christmas	Listen to a song in Unit 11
	19	Textbook Unit 11 Last Christmas	LMS Viva! SF chapter 16
	20	Textbook Unit 11 Last Christmas	Linguaporta Unit 11
	21	Textbook Unit 13 All I Want For Christmas Is You	Listen to a song in Unit 13
	22	Textbook Unit 13 All I Want For Christmas Is You	LMS Viva! SF chapter 17
	23	Textbook Unit 13 All I Want For Christmas Is You	Linguaporta Unit 13
	24	Textbook Unit 14 Sunday Morning	Listen to a song in Unit 14
	25	Textbook Unit 14 Sunday Morning	LMS Viva SF chapter 18,19,20
	26	Textbook Unit 14 Sunday Morning	Linguaporta Unit 14
	27	PP Presentation 1	Prepare for PP Presentation
	28	PP Presentation 2	Prepare for PP Presentation
29	PP Presentation 3	Review Unit11,13,14	
30	The Final Exam	Study for the final exam	
31	Reviewing the Final Exam & Make-up Exam		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>*使用テキストは、前期の英語 I と同じものです。未購入の方は必ず購入してください。 テキスト名：Let's Learn English with Pop Hits! ポップスでスタート! 基礎英語 (成美堂) *Viva! San Franciscoは使用テキストはありません。沖国ポータルよりLMSに入ってウェブ学習します。 *沖国ポータルサイトにある「授業連絡」を用いて必要に応じて連絡をすることがあります。常にチェックする習慣をつけてください。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①授業出席数が単位修得にとって重要な鍵となります。欠席が10回以上あると単位修得できません。 ②授業遅刻15分以上は減点となります。 ③体調不良で欠席する際は講師に直接メールで連絡してください。E-mail: ptt1230@okiu.ac.jp ④授業には積極的・主体的に参加してください。 ⑤ウェブ学習にも積極的に取り組んでください。</p>
	<p>評価</p> <p>Review tests, Exams, Essays, PP presentations (85%) Web learnings; LMS, Linguaporta (15%)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次は、英語リーディングやライティングでの力を養成する英語Ⅲ・Ⅳで学ぶことをお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	野口 正樹 [英米]	1年	noguchi@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 本講義は、warm-up 終了後、課題である暗唱例文の dictation を行います。続いて、quick response に移ります。それから、語法・文法・異文化理解に関する質疑応答を英語または日本語で実践します。後半は、pair/group に分かれて自己表現活動に取り組みます。	メッセージ 自分の英語を駆使して、表現する楽しさを味わおう。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 sentence-level の英文を即座に reproduce できる。 日常生活に関わる事柄を discourse-level で表現できる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation	syllabus の熟読
	2	Worksheet 1	quiz予習, 課題学習
	3	Worksheet 2	quiz予習, 課題学習
	4	Worksheet 3	quiz予習, 課題学習
	5	Worksheet 4	quiz予習, 課題学習
	6	Worksheet 5	quiz予習, 課題学習
	7	Worksheet 6	quiz予習, 課題学習
	8	Worksheet 7	quiz予習, 課題学習
	9	Worksheet 8	quiz予習, 課題学習
	10	Worksheet 9	quiz予習, 課題学習
	11	Worksheet 10	quiz予習, 課題学習
	12	Worksheet 11	quiz予習, 課題学習
	13	Worksheet 12	quiz予習, 課題学習
	14	Worksheet 13	quiz予習, 課題学習
	15	Review (worksheets 1-13)	worksheets 総復習
	16	Worksheet 14	quiz予習, 課題学習
	17	Worksheet 15	quiz予習, 課題学習
	18	Worksheet 16	quiz予習, 課題学習
	19	Worksheet 17	quiz予習, 課題学習
	20	Worksheet 18	quiz予習, 課題学習
	21	Worksheet 19	quiz予習, 課題学習
	22	Worksheet 20	quiz予習, 課題学習
	23	Worksheet 21	quiz予習, 課題学習
	24	Worksheet 22	quiz予習, 課題学習
	25	Worksheet 23	quiz予習, 課題学習
	26	Worksheet 24	quiz予習, 課題学習
	27	Worksheet 25	quiz予習, 課題学習
	28	Worksheet 26	quiz予習, 課題学習
	29	Worksheet 27	quiz予習, 課題学習
30	Review (worksheets 14-27)	worksheets 総復習	
31	Final	packet 提出	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 講義内で配布する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 複数の辞書を活用して答えを導きだそう。 English-English dictionary を役立てる。</p>
	<p>評価 ① 授業参加度 20% ② quick response / homework 30% ③ 期末試験 30% ④ 課題提出 20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 Oral Communication II と関連づける。 English III につなげる。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-小橋川 里美 [地域環境政策]	1年	ptt016@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語の歌を通して英語圏の文化に触れながら、語彙や発音、英文法、リスニングの基礎力を身に付ける。また、短い英語の文章を読み、読解力をつける。それに加えて、教科書以外の英語学習教材の動画を用いて、更なる英語力の向上を目指す。学期最後に1人4～5分程度の英語スピーチをしてもらう（テーマは自由）。	積極的な授業態度を強く望みます。必ず、事前に単語の意味を調べ、練習問題をやってきてください。英語力の向上に役立ちますので、前期に引き続き、ノート作りをしましょう。一年間の締めくくりとして、英語スピーチで実力を発揮してください。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な英文法を理解し、問題を8割以上正解できる ・英語による日常会話と英語のポップスの歌の内容を理解し、聞き取りと書き取りをすることができる ・英語の歌に関する短い英語の文章を理解し、問題を8割以上解くことができる ・自分の言いたいことを英語で4～5分間発表できる 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション、教科書 Unit 8 pp.62-63、曲、単語と文法（現在完了形）、DVD英語学習(9)	今日の復習とU8 pp.64-65予習
	2	Unit 8 pp.64-65、歌詞の内容について学習	今日の復習とU8 pp.66-67予習
	3	Unit 8 pp.66-67、文法問題と読解問題	pp.68-69の問題をLMSで解いて提出
	4	Unit 9 pp.70-71、曲、単語と文法（比較） 練習問題	今日の復習とU9 pp.72-73予習
	5	Unit 9 pp.72-73、歌詞の内容について学習	今日の復習とU9 pp.74-75予習
	6	Unit 9 pp.74-75、文法問題と読解問題	pp.76-77の問題をLMSで解いて提出
	7	DVD英文法学習(10)(11)と練習問題	今日の復習とU10 pp.78-79予習
	8	Unit 10 pp.78-79、曲、単語と文法（分詞） 練習問題	今日の復習とU10 pp.80-81予習
	9	Unit 10 pp.80-81、歌詞の内容について学習	今日の復習とU10 pp.82-83予習
	10	Unit 10 pp.82-83、文法問題と読解問題	pp.84-85の問題をLMSで解いて提出
	11	DVD英文法学習(12)(13)と練習問題	今日の復習とU11 pp.86-87予習
	12	Unit 11 pp.86-87、曲、単語と文法（不定詞） 練習問題	今日の復習とU11 pp.88-89予習
	13	Unit 11 pp.88-89、歌詞の内容について学習	今日の復習とU11 pp.90-91予習
	14	Unit 11 pp.90-91、文法問題と読解問題	pp.92-93の問題をLMSで解いて提出
	15	DVD英文法学習(14)(15)と練習問題	units 8-11復習
	16	Special lecture	今日の復習とU12 pp.94-95予習
	17	Unit 12 pp.94-95、曲、単語と文法（関係詞） 練習問題	今日の復習と中間テストの勉強
	18	Midterm Examination (Units 8-11)	U12 pp.96-97予習
	19	Unit 12 pp.96-97、歌詞の内容について学習	今日の復習とU12 pp.98-99予習
	20	Unit 12 pp.98-99、文法問題と読解問題	pp.100-101問題をLMSで解いて提出
	21	DVD英文法学習(16)(17)と練習問題	今日の復習とU13 pp.102-103予習
	22	Unit 13 pp.102-103、曲、単語と文法（接続詞・前置詞） 練習問題	今日の復習とU13 pp.104-105予習
	23	Unit 13 pp.104-105、歌詞の内容について学習	今日の復習とU13 pp.106-107予習
	24	Unit 13 pp.106-107、文法問題と読解問題	pp.108-109問題をLMSで解いて提出
	25	DVD英文法学習(18)(19)と練習問題	今日の復習とU14 pp.110-111予習
	26	Unit 14 pp.110-111、曲、単語と文法（動名詞） 練習問題	今日の復習とU14 pp.112-113予習
	27	Unit 14 pp.112-113、歌詞の内容について学習	今日の復習とU14 pp.114-115予習
	28	Unit 14pp.114-115、文法問題と読解問題	pp.116-117問題をLMSで解いて提出
	29	英語スピーチ（1人4～5分）	スピーチの準備と練習
30	英語スピーチ（1人4～5分）	期末テスト勉強 Units 12-14復習	
31	Final Examination (Units 12-14)	今学期の振り返り	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>「Let's Learn English with Pop Hits! ポップスでスタート! 基礎英語」(成美堂、2020) (前学期に引き続き使用します)</p>
	<p>学びの手立て</p> <p><履修の心構え>大学の規定により、欠席10回で単位はありません(不可になります)。20分以上の遅刻3回で欠課扱いにします。遅刻しないようにしてください。</p> <p><学びを深めるために>必ず、予習をして授業に臨んでください。前学期と同様、授業にはノートを持参して、学習内容を書き留めるようにしましょう。それが自分の英語力となって結果的には成績にも反映されるでしょう。ネイティブの発音を何度も聴き、声に出して練習すること。リスニングの向上に繋がります。英語学習のツールとして、映画、ドラマ、歌、英語ニュースなどたくさんありますので、普段から英語に触れることをお勧めします。*シラバスの授業計画は進捗状況により変更する場合があります。</p>
	<p>評価</p> <p>中間テスト ---- 30%、 期末テスト ---- 30%</p> <p>オンラインLMS上の練習問題 ---- 15%</p> <p>英語スピーチ ---- 20%、 授業への貢献度 ---- 5%</p> <p>90%以上は「秀」、80-89%は「優」、70-79%は「良」、60-69%は「可」、59%以下は「不可」となります。ただし、欠席が10回になると単位は与えません。20分以上の遅刻3回で1回の欠課とみなします。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>TOEFL、TOEIC、英検を積極的に受験して、英語力アップを目指してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水4・土3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-芦峰 隆章 [日文]	1年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい 英文法の基礎を理解したうえで、英語の4技能のうち特に「聴く」、「話す」の技能向上を目指して学習していく。「ブロークン」ではない、正しい英語で書いたり話したりできるようにする。	メッセージ 前期の英語Ⅰよりもレベルアップします。後期は例年前期に比べて、遅刻、欠席が多くなる傾向があります。今年はそのジंकスを打破しましょう
	到達目標 ①様々な状況で取り交わされる英語の内容を聴き取ることができる。 ②英語で日常会話ができ、自分の考えや意見を英語で伝達することができる。 ③会話文を英語で書くことができる。 ④平易な短い英文を読み、その内容を的確に理解し、読解の質問に対して、日本語でも英語でも答えることができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Unit8(1): Clothes	Unit8 Review1
	2	Unit8(2): Clothes	Unit8 Review2
	3	Unit8(3): Clothes	Unit8 Review3
	4	Unit8(4): Clothes	Unit8 Review4
	5	Unit9(1): Food	Unit9 Review1
	6	Unit9(2): Food	Unit9 Review2
	7	Unit9(3): Food	Unit9 Review3
	8	Unit9(4): Food	Unit9 Review4
	9	Unit10(1): Health	Unit10 Review1
	10	Unit10(2): Health	Unit10 Review2
	11	Unit10(3): Health	Unit10 Review3
	12	Unit10(4): Health	Unit10 Review4
	13	Unit11(1): Making Plans	Unit11 Review1
	14	Unit11(2): Making Plans	Unit11 Review2
	15	Unit11(3): Making Plans	Unit11 Review3
	16	Unit11(4): Making Plans	Unit11 Review
	17	中間テスト	オフ日
	18	Unit12(1): On the Move	Unit12 Review1
	19	Unit12(2): On the Move	Unit12 Review2
	20	Unit12(3): On the Move	Unit12 Review3
	21	Unit12(4): On the Move	Unit12 Review4
	22	From "World English 1" Unit11(1): Achievements	WE1 Unit11 Review1
	23	From "World English 1" Unit11(2): Achievements	WE1 Unit11 Review2
	24	From "World English 1" Unit11(3): Achievements	WE1 Unit11 Review3
	25	From "World English 1" Unit11(4): Achievements	WE1 Unit11 Review4
	26	From "World English 1" Unit9(1): Types of Clothing	WE1 Unit9 Review1
	27	From "World English 1" Unit9(2): Types of Clothing	WE1 Unit9 Review2
	28	From "World English 1" Unit9(3): Types of Clothing	WE1 Unit9 Review3
	29	From "World English 1" Unit9(4): Types of Clothing	WE1 Unit9 Review4
30	Review	ReviewのReview	
31	期末テスト	オフ日	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など WORLD ENGLISH Intro (Third Edition) NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING, 3,000円</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>(1) 極力遅刻、欠席をしないこと。 (2) 常に生産的学習に取り組むこと。あなたの熱意は授業への参加度に反映されます。 (3) 毎回辞書を持参すること。(電子辞書でもよい。) (4) 提出すべき課題は、提出期限を守ること。</p>
	<p>評価</p> <p>中間・期末テスト... 60% (上記の到達目標の①、④を評価) 英会話テスト..... 20% (上記の到達目標の②、③を評価) 授業への参加度..... 20% (上記の到達目標の①、②、③、④を評価)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語講読に興味のある方は「英語Ⅲ」、「英語Ⅳ」に進んでください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月1・木1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-芦峰 隆章 [企業システム]	1年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい 英文法の基礎を理解したうえで、英語の4技能のうち特に「聴く」、「話す」の技能向上を目指して学習していく。「ブロークン」ではない、正しい英語で書いたり話したりできるようにする。	メッセージ 前期の英語Ⅰよりもレベルアップします。後期は例年前期に比べて、遅刻、欠席が多くなる傾向があります。今年はそのジंकスを打破しましょう
	到達目標 ①様々な状況で取り交わされる英語の内容を聴き取ることができる。 ②英語で日常会話ができ、自分の考えや意見を英語で伝達することができる。 ③会話文を英語で書くことができる。 ④平易な短い英文を読み、その内容を的確に理解し、読解の質問に対して、日本語でも英語でも答えることができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Unit8(1): Clothes	Unit8 Review1
	2	Unit8(2): Clothes	Unit8 Review2
	3	Unit8(3): Clothes	Unit8 Review3
	4	Unit8(4): Clothes	Unit8 Review4
	5	Unit9(1): Food	Unit9 Review1
	6	Unit9(2): Food	Unit9 Review2
	7	Unit9(3): Food	Unit9 Review3
	8	Unit9(4): Food	Unit9 Review4
	9	Unit10(1): Health	Unit10 Review1
	10	Unit10(2): Health	Unit10 Review2
	11	Unit10(3): Health	Unit10 Review3
	12	Unit10(4): Health	Unit10 Review4
	13	Unit11(1): Making Plans	Unit11 Review1
	14	Unit11(2): Making Plans	Unit11 Review2
	15	Unit11(3): Making Plans	Unit11 Review3
	16	Unit11(4): Making Plans	Unit11 Review
	17	中間テスト	オフ日
	18	Unit12(1): On the Move	Unit12 Review1
	19	Unit12(2): On the Move	Unit12 Review2
	20	Unit12(3): On the Move	Unit12 Review3
	21	Unit12(4): On the Move	Unit12 Review4
	22	From "World English 1" Unit11(1): Achievements	WE1 Unit11 Review1
	23	From "World English 1" Unit11(2): Achievements	WE1 Unit11 Review2
	24	From "World English 1" Unit11(3): Achievements	WE1 Unit11 Review3
	25	From "World English 1" Unit11(4): Achievements	WE1 Unit11 Review4
	26	From "World English 1" Unit9(1): Types of Clothing	WE1 Unit9 Review1
	27	From "World English 1" Unit9(2): Types of Clothing	WE1 Unit9 Review2
	28	From "World English 1" Unit9(3): Types of Clothing	WE1 Unit9 Review3
	29	From "World English 1" Unit9(4): Types of Clothing	WE1 Unit9 Review4
30	Review	ReviewのReview	
31	期末テスト	オフ日	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など WORLD ENGLISH Intro (Third Edition) NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING, 3,000円</p>
	<p>学びの手立て (1) 極力遅刻、欠席をしないこと。 (2) 常に生産的学習に取り組むこと。あなたの熱意は授業への参加度に反映されます。 (3) 毎回辞書を持参すること。(電子辞書でもよい。) (4) 提出すべき課題は、提出期限を守ること。</p>
	<p>評価 中間・期末テスト... 60% (上記の到達目標の①、④を評価) 英会話テスト..... 20% (上記の到達目標の②、③を評価) 授業への参加度..... 20% (上記の到達目標の①、②、③、④を評価)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 英語講読に興味のある方は「英語Ⅲ」、「英語Ⅳ」に進んでください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-松田 順子 [経済]	1年	クラスにて、または沖国大ポータルのG-mailを活用して連絡を取り合う。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語Ⅰに引き続き、日常生活における身近な場面に焦点をあて、実用性の高い教材を用いて臨場感あふれる生き生きとした表現を習得することを旨とする。中学・高校・英語Ⅰを通して学んだ英語の基礎を整理し、実生活において活用できるようにすることを目標とする。	コロナ・ウィルス感染の状況にもよるが、実際に対面して会話の練習をすることが難しい状況が続くとしても、音声教材等を活用して各自で発音・発話の学修ができるよう工夫していく。各学生がそれぞれに更なる一歩前進を目指してほしい。(授業計画の内容は変更する場合もあるので、連絡事項には留意して欲しい。)
到達目標	1) 日常生活のあらゆる場で使われる英語の①語彙、②表現、③文法、④音声、⑤文化的側面について学ぶ。 2) 英語を使って自分の考えなどを表現できる。 3) 英語で表現された資料や告知文などを理解できる。 4) 他の方の意見を聞き、時にはアドバイスをしたり、自分の考えを示したりして、協力・共存できるような英語のコミュニケーション能力を高める。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション&テーマに沿ってはがきを書く：『夏休みはどう過ごしましたか』	後期の学修目標を確認する
	2	『夏休みはどう過ごしましたか』	夏休みまつわる英語表現
	3	Unit 13 機内での会話	数字を聞き取る
	4	Viva! San Francisco : Chapter 11	Home stay
	5	Unit 14 空港にて	出会いの場面まつわる英語表現
	6	Unit 15 ホテルにて	Offering to help
	7	Viva! San Francisco : Chapter 12	ホテルまつわる英語表現
	8	Unit 16 レストランにて	Self-introduction
	9	Viva! San Francisco : Chapter13	外食まつわる英語表現
	10	Viva! San Francisco : Chapter14	Getting advice
	11	Unit 17 ショッピングをする	買い物まつわる英語表現
	12	Viva! San Francisco : Chapter15	Checking out a book
	13	Unit 13~17のまとめ	スポーツまつわる英語表現
	14	Viva! San Francisco : Chapter 11~15まとめ	後期前半のまとめ
	15	中間試験	後期前半のまとめ
	16	Viva! San Francisco : Chapter16	Opening a bank account
	17	Unit 18 スポーツ(野球)	携帯電話・メールについて
	18	Viva! San Francisco : Chapter17	Sending a package
	19	Unit 19 ミュージカル鑑賞	チケットの予約
	20	Unit 20 旅行案内	観光名所を説明する
	21	Viva! San Francisco : Chapter18	Inviting a friend
	22	Unit 21 問題発生と対応	クリスマス・カードを書こう
	23	Christmas Holidayまつわる英会話	物語のあらすじを英語でまとめる
	24	Unit 22 体調不良	体調管理まつわる英語表現
	25	Viva! San Francisco : Chapter 19	Buying medicine
	26	Unit 23 電話での申し込み	電話での会話
	27	Unit 24 アメリカ旅行を終えて	メールを送る
	28	Viva! San Francisco : Chapter20	Saying good-bye
	29	テキストUnit 18~24&Viva! San Francisco 16~20のまとめ	後期後半のまとめ①
30	期末試験(1)	後期後半のまとめ②	
31	期末試験(2)	英語IIのまとめ	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など テキスト：①Forerunner toPower-Up English（前期で購入したテキストの後半） ②配布資料・教材</p>
	<p>学びの手立て ① 3分の1（10回）以上欠席すると単位を取得することはできない。 ② 毎回クラスのはじめに前回の復習としてミニ・クイズを実施するので、遅刻しないように。 ③ 辞書を活用する習慣を身につける。 ④ 質問はおおいに歓迎します。</p>
	<p>評価 1) 毎回のミニ・クイズや発表・質問などのクラスへの貢献度：60% 2) 中間・期末テスト：40%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 英語 I・IIを通して学んだ知識や、辞書を活用するなどのような、語学を学習するために役立つ習慣等を日常生活で実践するよう心がける。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	井上 泉 [社文・人福]	1年	基本的にメールで連絡を行ってください。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語Ⅰの発展教科であるこの授業では、実社会で使える英語力の養成を目指します。海外での諸場面で必要なコミュニケーション能力を伸ばすとともに、英語圏の人々が日本・沖縄に来たときにアルバイトやプライベートで適切なコミュニケーションを図れることも学修の目的とします。	英語でコミュニケーションをはかるうえで必要な知識と自信を培ってほしいと思います。英語・日本語両文化をさらに掘り下げて学んでいきましょう！特例授業となりますが、通常の授業と遜色ない設計をしていますので、安心してください。【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> * 外国から日本に来た人々と適切にコミュニケーションが図れる * 英語圏での生活において、基本的なコミュニケーションを適切に図れる * 自分について・相手について・お互いに興味のあることに関する情報を英語で共有できる * 英語を用いて異文化への理解に積極的に取り組める 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画	テーマ	時間外学習の内容
	回		
	1	[特]Introduction to the unit	翌週の予習
	2	[特]Viva San Francisco (VSF) Chap 11	振り返り
	3	[特]You're welcome! (YW) Unit 1	振り返り
	4	[特][VSF] Chap 12	振り返り
	5	[特][YW] Unit 2	振り返り
	6	[特][VSF] Chap 13	振り返り
	7	[特][YW] Unit 3	振り返り
	8	[特][VSF] Chap 14	振り返り
	9	[特][YW] Unit 4	振り返り
	10	[特][VSF] Chap 15	振り返り
	11	[特][YW] Unit 5	レビュークイズ準備
	12	[特][VSF] 中間 review	振り返り
	13	[特][YW] Unit 6	振り返り
	14	[特][VSF] 中間点検	振り返り
	15	[特][YW] 中間 review	振り返り
	16	[特][VSF] Chap 16	振り返り
	17	[特][YW] Unit 7	振り返り
	18	[特][VSF] Chap 17	振り返り
	19	[特][YW] Unit 8	振り返り
	20	[特][VSF] Chap 18	振り返り
	21	[特][YW] Unit 9	振り返り
	22	[特][VSF] Chap 19	振り返り
	23	[特][YW] Unit 10	振り返り
	24	[特][VSF] Chap 20	振り返り
	25	[特][YW] Unit 11	振り返り
	26	[特][YW] Unit 12	振り返り
	27	[特]Group presentations 1	プレゼン準備
	28	[特]Group presentations 2	プレゼン準備
	29	[特]Group presentations 3	プレゼン準備
30	[特]Group presentations 4, wrap up	プレゼン準備	
31	[特]End-semester exam	テスト準備	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>*指定教科書：① You're Welcome! (Cengage Learning - 学内書店にて購入要) ② Viva! San Francisco (Macmillan Language House; LMS教材のため、購入不要)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> - 講義への出欠は、評価対象となる(三分の一以上の欠席は、自動的に不可となります)とともに、毎回確認を行います。オンライン授業の場合はタスクやアクティビティをきちんと行ったか否かが対象となります。妥当かつやむを得ない理由で欠席する際は、事前にメールで連絡してください。 - インタラクティブなアクティビティを多用しますので、毎回積極的な参加姿勢が求められます。 - 英語力アップに予習・復習は必要不可欠なものです。予習・復習を行った前提で授業をすすめます。
	<p>評価</p> <p>授業への参加姿勢 (10%), タスクへの取り組み (30%), 中間テスト (20%), グループプロジェクト (20%), 期末テスト (20%) 詳細はUnit outlineに記載し、第1回講義にて配布します。併せて熟読してください。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>本教科で学んだことを基に、英語III, IVに応用・活用しましょう。</p>

※ポリシーとの関連性

「リスニング・スピーキング力を重点的に訓練する」と同時に、語彙力や文法力にも力を入れ、総合的な基礎英語力向上を目指す。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	上原 千登勢 [産業情報]	1年	c.uehara@okiu.ac.jp 9号館502号室	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>前期と同様、テキストに登場する様々なトピックを通して英語の4つのスキル(Listening, Reading, Writing, Speaking)、語彙力、そして文法をバランスよく学習する。クラスメートと楽しく学ぶ環境の中、より英語学習に積極的に取り組み、英語力の向上を実感することを目指す。</p>	<p>【実務経験】2001年から様々な現場で英語講師をしてきた経験を活かし、学生が更に英語を好きになるようなそんな授業にしていきたいと思っています。英語Ⅱは、英語Ⅰで学んだことの応用となります。ロールプレイやアクティブラーニングをパワーアップさせ、自ら考え学習したくなるような授業を目指します！</p>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 英語で沖縄について、基礎的な単語や表現を用いて話すことができる。 英語で・クラスメートと協力し合い、学習やアクティビティを進めていくことができる。 タスクを行うための情報収集・問題解決方法を自ら考え、実行できる。 授業以外でも積極的に英語を学び、使う努力をすることを常に心掛ける。 「英語の壁」に遭遇した場合、自分なりに解決方法を考え、モチベーション向上を図ることができる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画	テーマ	時間外学習の内容
	回		
	1	オリエンテーション&ガイダンス	Unit 8の予習
	2	Unit 8: Where I live	Unit 8の復習
	3	Unit 8: Where I live	Unit 8の復習
	4	Unit 8: Where I live	Unit 8の復習
	5	Unit 8: Review & Test	Unit 9の予習
	6	Unit 9: Times past	Unit 9の復習
	7	Unit 9: Times past	Unit 9の復習
	8	Unit 9: Times past	Unit 9の復習
	9	Unit 9: Review & Test	Unit 10の予習
	10	Unit 10: We had a great time!	Unit 10の復習
	11	Unit 10: We had a great time!	Unit 10の復習
	12	Unit 10: We had a great time!	Unit 10の復習
	13	Unit 10: Review & Test	Unit 8-10の復習
	14	Unit 8-10 :Midterm Test 中間テスト・課題発表	The Singer課題
	15	"The Singer"	Unit 11の予習
	16	Unit 11: I can do that!	Unit 11の復習
	17	Unit 11: I can do that!	Unit 11の復習
	18	Unit 11: I can do that!	Unit 11の復習
	19	Unit 11: Review & Test	Unit 12の予習
	20	Unit 12: Please and thank you	Unit 12の復習
	21	Unit 12: Please and thank you	Unit 12の復習
	22	Unit 12: Please and thank you	Unit 12の復習
	23	Unit 12: Review & Test	Unit 13の予習
	24	Unit 13: Here and now	Unit 13の復習
	25	Unit 13: Here and now	Unit 13の復習
	26	Unit 13: Here and now	Unit 13の復習
	27	Unit 13: Review & Test	Unit 14の予習
	28	Unit 14: It's time to go!	Unit 14の復習
	29	Unit 14: It's time to go!	Unit 14の復習
	30	Unit 14: Review & Test	Unit 8-14の復習・テスト準備
31	Final Exam 期末テスト		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：American Headway Third Edition Level Starter Student Book with Oxford Online Skills：Oxford University Press * 前期の英語 I で購入済みなら不要。 参考書・資料など：必要に応じて随時授業で紹介する。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に出席することは基本である。全体の1/3以上欠席した時点で単位は認められない。30分以上の遅刻を欠席、また2回の遅刻は1回の欠席とみなす。 ・私語、居眠り、他の教科の宿題など、授業に関係のないことを行った場合欠席扱い、または退室してもらうことがあるので注意してほしい。積極的に授業に取り組み、発言や質問をすること。 ・ほぼ毎回小テストやクイズを行い、学習経過をチェックするので予習、復習は自主的かつ積極的に行うこと。 ・スタディグループを作り、授業以外でも定期的に学習する環境作りをすること。欠席した際、クラスメートより授業内容を教えてもらい、配布物を預かってもらうようにすること。
	<p>評価</p> <p>①授業態度、授業への参加・積極性・貢献度(20%) ②中間試験(20%) ③期末試験(20%) ④課題(20%) ⑤クイズ・小テスト・Review&Reflection(20%)を総合的に判断して評価する。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>今後自分なりにどういった形で英語学習を継続できるかを考えてほしい。特に英検やTOEICなどは、資格取得と同時にモチベーション向上にもなるのでチャレンジしてほしい。また産業情報学科で開講されている「ビジネス英語」や「グローバルオフィスコミュニケーション」などの受講を勧める。異文化や海外に興味のある学生は「グローバルメディアスタディーズ」や「国際理解課題研究I、II」も受講して欲しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月1・木1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	山川 満夫 [企業システム]	1年	myamakawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 英語Ⅰの発展として、さらにスピーキング力とリスニング力の育成を中心に、総合的な英語力のレベルアップを図り、英語による自己表現活動の育成に力を入れます。英語Ⅰに引き続き全学教材のViva! San FranciscoのCh.11～20を学習し、英会話力アップを目指します。	メッセージ 中学校教諭としての経験を活かし、英語Ⅰでの指導内容を踏まえ、基礎的事項から指導しますので、英語に苦手意識を持っている方にとっても、学び直す絶好のチャンスです。一緒に英語を勉強しましょう。
	到達目標 ・基礎的な英文を聞いて、内容を理解することができる。 ・身近な事柄について、英語を使って話すことができる。 ・英語に対して興味・関心を高め、さらに学び続ける意欲を持つようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	英語Ⅱオリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	英語Ⅰの総復習	前期の既習事項に目を通す
	3	Viva! San Francisco Ch.12	役立つ英語表現(12)の暗唱
	4	英語の基礎力養成 14	English Ace Unit 9の復習
	5	Viva! San Francisco Ch.13他	役立つ英語表現(13)の暗唱
	6	英語の基礎力養成 15	語彙力アップ(1)
	7	Viva! San Francisco Ch.14他	役立つ英語表現(14)の暗唱
	8	英語の基礎力養成 16	English Ace Unit 10の復習
	9	Viva! San Francisco Ch.15他	役立つ英語表現(15)の暗唱
	10	英語の基礎力養成 17	語彙力アップ(2)
	11	Viva! San Francisco Ch.16他	役立つ英語表現(16)の暗唱
	12	英語の基礎力養成 18	English Ace Unit 11の復習
	13	Viva! Ch.12～16総まとめ	役立つ表現の復習
	14	英語の基礎力養成 19	語彙力アップ(3)
	15	Viva! San Francisco Ch.17他	役立つ英語表現(17)の暗唱
	16	英語の基礎力養成 14～19(中間点検)	English Ace Unit 9～11の総復習
	17	Viva! San Francisco Ch.18他	役立つ英語表現(18)の暗唱
	18	英語の基礎力養成 20	English Ace Unit 12の復習
	19	Viva! San Francisco Ch.19他	役立つ英語表現(19)の暗唱
	20	英語の基礎力養成 21	English Ace Unit 13の復習
	21	Viva! San Francisco Ch.20他	役立つ英語表現(20)の暗唱
	22	英語の基礎力養成 22	English Ace Unit 14の復習
	23	映画を通して学ぶ表現(1)	役立つ英語表現(21)の暗唱
	24	英語の基礎力養成 23	English Ace Unit 14の復習
	25	映画を通して学ぶ表現(2)	役立つ英語表現(22)の暗唱
	26	英語の基礎力養成 24	English Ace Unit 15の復習
	27	第2回スピーチテストへの取組	インタビューテストへの準備
	28	英語の基礎力養成 25	同上
	29	第2回スピーチテスト	同上
30	英語の基礎 20～25総復習	English Ace Unit 12～15の総復習	
31	英語の基礎力養成 20～25(期末点検)	同上	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Viva! San Francisco (ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし) 2. 講師指定の教科書 (オリエンテーション時に連絡する。)
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義への出欠確認は、毎回厳格に行うので、やむを得ず欠席する場合は、事前にメールで連絡すること。 ・ペア学習をよく取り入れるので、積極的な態度で臨むように心がけること。 ・講義時間以外にも、指定教材のe-learningを積極的に活用すること。
	<p>評価</p> <p>①授業参加度 (15%)、②インタビューテスト (20%)、③中間テスト (30%)、④期末テスト (35%)、の結果を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この講義で学んだことを活かし、英語で「書くこと」や「読むこと」の力を高めるために、英語Ⅲ及び英語Ⅳを履修することが望ましい。

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-宮城 和文 [全学科(全学年)]	1年	ptt758@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 4技能のバランスのとれた伸長を最終目標に据えながらも、本講座では基礎的な「読み」「書き」の演習活動に焦点をあてる。	メッセージ ・正当な理由がない限り初回の講義を欠席しないこと。・外国語の習得に近道はありません。日々の積み上げが大事です。真剣な中にも、楽しく学んでいける環境作りを心がけますので、みなさんの積極的な授業参加を期待しています。※遠隔講義に移行せざるを得ない場合に備えて、日ごろから本学ポータル、Gmail、Moodleなどへスムーズにアクセスし情報確認ができるようにしておきましょう。
	到達目標 (1)まとまりのある英文を効率的かつ正確に読めるようになる。そのためにskimming, scanningなどの有効なreading skillsを身につけることができる。(2)期間中、Vocab-Notebookとよぶ「単語ノート」を自主作成し、継続的に語彙力増強に努めることができる。(3)読んだ内容について読後感を短文の英文でつづり、それをクラスで共有することができる。(4)毎週実施する語彙クイズでは、8割以上の正答率をめざし努力する。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Course Introduction, Reading Skill Exercise 1	・開講時に配布されるシラバスをよく読んで理解すること。不明な点があれば曖昧にせず、講師に質問を行い自ら解決すること。
	2	Unit 1: A World of Color -Task 1, 2, 3 & 4	
	3	Task 6, 7 & 8, Quiz 01	
	4	Unit 2: The Olympics -Task 1, 2, 3 & 4	
	5	Task 6, 7 & 8, Quiz 02	
	6	Unit 3: Power Foods -Task 1, 2, 3 & 4	
	7	Task 6, 7 & 8, Quiz 03	学期を通して以下の自主学習を行う
	8	Unit 4: With a Little Help from Animals -Task 1, 2, 3 & 4	・毎回、単語ノート(10語)を作成する。
	9	Task 6, 7 & 8, Quiz 04	・大学ポータルサイトより音声教材にアクセスし、2回以上本文の音読をすませて毎回の授業にのぞむ。
	10	Unit 5: You Know My Name -Task 1, 2, 3 & 4	・課題問題は、事前に解いて発表に備える。
	11	Task 6, 7 & 8, Quiz 05	・週1回のクイズに備え、8割以上の得点獲得を目標にする。
	12	Unit 6: The Quest for Beauty -Task 1, 2, 3 & 4	・正答率の低いクイズ問題を復習し、定期テストに備える。
	13	Task 6, 7 & 8, Quiz 06	
	14	Unit 7: Social Networking -Task 1, 2, 3 & 4	
	15	Task 6, 7 & 8, Quiz 07	
	16	Review the Quizzes 1, Midterm Examination	
	17	Unit 8: Coming of Age -Task 1, 2, 3 & 4	
	18	Task 6, 7 & 8, Quiz 08	
	19	Unit 9: Hidden Messages -Task 1, 2, 3 & 4	
	20	Task 6, 7 & 8, Quiz 09	
	21	Unit 10: Boys and Girls -Task 1, 2, 3 & 4	
	22	Task 6, 7 & 8, Quiz 10	
	23	Unit 11: The Art of Monet -Task 1, 2, 3 & 4	
	24	Task 6, 7 & 8, Quiz 11	
	25	Unit 12: Extreme Sports -Task 1, 2, 3 & 4	
	26	Task 6, 7 & 8, Quiz 12	
	27	Unit 13: Life of an Astronaut -Task 1, 2, 3 & 4	
	28	Task 6, 7 & 8, Quiz 13	
	29	Unit 14: Cycling-friendly Cities -Task 1, 2, 3 & 4	
30	Task 6, 7 & 8, Quiz 14		
31	Review the Quizzes 2, Final Examination		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Reading Success 3 (リーディング・サクセス3), Akihiko Sato & Valerie Tidwell (成美堂), 2018 ※朝野書房にて販売。全受講生必携!</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>①「単語ノート」用に学習ノートを1冊準備すること。デザイン・サイズは問わないが、ルーズリーフおよび他教科との併用ノートは不可。②授業日数の3分の1を超えて欠席すると、学則により単位は認められない。なお遅刻3回で、欠席1回とみなす。③やむを得ず講義を休む(休んだ)場合は、すみやかに所定の様式で欠席届を提出すること。④積極的な辞書利用を奨励する。しかし、辞書機能のついた通信端末機器(スマートフォン等)については誤認を避けるため講義中の使用を認めない。⑤ 定期試験およびクイズ等は、原則として追・再試験は行わない。やむを得ない事情で受験できない場合は、すみやかに講師に申し出て対応を協議すること。⑥ 以下の行為は講義進行の妨げになるので厳に慎む：遅刻、私語、居眠り、ガム噛および飲食、携帯通信機器の使用、理由不明の離席および退席。</p>
	<p>評価</p> <p>①Final Examination -30%, ②Quizzes -30%, ③Vocab-Notebook -20%, ④In-Class Contributions etc.-20%</p> <p>※重要! 単位取得には、①～④のすべての課題に取り組んでいることが必須。 ※遠隔講義に移行せざるを得ない状況になったときは、評価基準に変更を加えることがある。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>扱われているトピックの背景的知識を深めるために、新聞等の報道メディアに日ごろから積極的にふれておきましょう。また、Iネットなどを活用し、題材に関連した情報を収集・整理しておくことより効果的な講読活動につながるでしょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-松田 順子[法律・地行]	2年	学内メールや授業の前後に教室にて受け付ける。連絡事項をまめに確認してください。	

学びの準備	ねらい これまでに学んだ英語の知識を整理しつつ、あらゆるタイプの英文に触れる。日常生活に即した表現、学生の専攻に添った読物、今日的な話題を取り入れた新聞や雑誌の記事、フィクション・ノンフィクションなどを幅広く読み進める。	メッセージ 英文読解と英作文が中心となるが、それに必要な英文法の確認も行う。教材の内容に関してそれぞれが考え、自分の意見を持つことを期待する。英語が得意な学生も苦手とする学生も、楽しみながら、英語を今後の生活に活かすことを目指して欲しい。
	到達目標 生活の中で出会う英語の文章を読む力・書く力・辞書を活用する力を身につける。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	英語で自己紹介文を書く
	2	センテンス・リーディング 1	文法・関連する英作文
	3	センテンス・リーディング 2	文法・関連する英作文
	4	センテンス・リーディング 3	文法・関連する英作文
	5	センテンス・リーディング 4	文法・関連する英作文
	6	パラグラフ・リーディング 1	文法・関連する英作文
	7	パラグラフ・リーディング 2	文法・関連する英作文
	8	パラグラフ・リーディング 3	文法・関連する英作文
	9	パラグラフ・リーディング 4	文法・関連する英作文
	10	パラグラフ・リーディング 5	文法・関連する英作文
	11	新聞記事 1	文法・関連する英作文
	12	新聞記事 2	文法・関連する英作文
	13	新聞記事 3	文法・関連する英作文
	14	新聞記事 4	文法・関連する英作文
	15	中間試験	前期前半のまとめ
	16	雑誌記事 1	文法・感想を英語で書く
	17	雑誌記事 2	文法・感想を英語で書く
	18	雑誌記事 3	文法・感想を英語で書く
	19	雑誌記事 4	文法・感想を英語で書く
	20	ノン・フィクション 1	文法・感想を英語で書く
	21	ノン・フィクション 2	文法・感想を英語で書く
	22	ノン・フィクション 3	文法・感想を英語で書く
	23	ノン・フィクション 4	文法・感想を英語で書く
	24	ノン・フィクション 5	文法・感想を英語で書く
	25	フィクション 1	文法・感想を英語で書く
	26	フィクション 2	文法・感想を英語で書く
	27	フィクション 3	文法・感想を英語で書く
	28	フィクション 4	文法・感想を英語で書く
	29	フィクション 5	文法・感想を英語で書く
30	フィクション 6	文法・感想を英語で書く	
31	期末試験	前期後半のまとめ	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など テキスト：配布教材 参考文献は随時紹介する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て ①コツコツと小さなトライを重ねて、英語の力をつけていこう。 ②辞書を活用する習慣を身につける。 ③毎回のクラスのはじめにミニ・クイズを行うので、遅刻しないよう留意すること。 ④大いに質問しよう。 ⑤3分の1（10回）以上欠席すると単位の取得はできない。</p>
	<p>評価 毎回のミニ・クイズや質問・発表などのクラスへの貢献度：60% 中間・期末テスト：40%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 後期に提供される英語IV。 ラジオやネットなどで英語のニュースを理解すること。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 ジュエヨール デビット[法律・地行]	2年	Itokazu_david@yahoo.com 090-3797-8665	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>The purpose of reading and writing is to enhance basic English Communication and establish socio-economic relationships among the English speaking countries. Students will become familiar with current topics and social issues through reading and writing about them.</p>	<p>Learning English as a second language will give students a tremendous advantage in terms of personal growth and career opportunity. In other words, by just learning one additional language, English could make students “global citizen”. It is our responsibility to motivate them to study hard and to learn English as a second language.</p>
	到達目標	
	<p>Students should continue learning English and develop the skill for global communication. . The most important requirement for Japanese is English as a second language + a degree from University for entry level job position. This class aims to get students to read and write about current topics and social issues.</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation	Review syllabus
	2	Introduction to Reading in English	Review classwork
	3	Introduction to Writing in English	Review classwork
	4	Unit 1: How Artificial Intelligence Impacts Senior Care (1)	Review Unit 1
	5	Unit 1: How Artificial Intelligence Impacts Senior Care (2)	Review Unit 1
	6	Unit 1: How Artificial Intelligence Impacts Senior Care (3)	Review Unit 1
	7	Unit 2: China Could be the Future of the Sharing Economy (1)	Review Unit 2
	8	Unit 2: China Could be the Future of the Sharing Economy (2)	Review Unit 2
	9	Unit 2: China Could be the Future of the Sharing Economy (3)	Review Unit 2
	10	Unit 3: Plastic Microbeads Ban Enters Force in UK (1)	Review Unit 3
	11	Unit 3: Plastic Microbeads Ban Enters Force in UK (2)	Review Unit 3
	12	Unit 3: Plastic Microbeads Ban Enters Force in UK (3)	Review Unit 3
	13	Unit 4: Japan Considers Crime Prediction System Using Big Data and AI (1)	Review Unit 4
	14	Unit 4: Japan Considers Crime Prediction System Using Big Data and AI (2)	Review Unit 4
	15	Unit 4: Japan Considers Crime Prediction System Using Big Data and AI (3)	Review Unit 4
	16	Review Unit 1-4	Review Unit 1-4
	17	Unit 5: The Toll of American Obesity (1)	Review Unit 5
	18	Unit 5: The Toll of American Obesity (2)	Review Unit 5
	19	Unit 5: The Toll of American Obesity (3)	Review Unit 5
	20	Unit 6: Sex Education Given LGBT-inclusive Overhaul in Wales (1)	Review Unit 6
	21	Unit 6: Sex Education Given LGBT-inclusive Overhaul in Wales (2)	Review Unit 6
	22	Unit 6: Sex Education Given LGBT-inclusive Overhaul in Wales (3)	Review Unit 6
	23	Unit 7: Autonomous Cars Likely to Benefit Elderly in Future (1)	Review Unit 7
	24	Unit 7: Autonomous Cars Likely to Benefit Elderly in Future (2)	Review Unit 7
	25	Unit 7: Autonomous Cars Likely to Benefit Elderly in Future (3)	Review Unit 7
	26	Unit 8: Millennials Go Minimal (1)	Review Unit 8
	27	Unit 8: Millennials Go Minimal (2)	Review Unit 8
	28	Unit 8: Millennials Go Minimal (3)	Review Unit 8
	29	Extensive Reading & Creative Writing (1)	Review classwork
30	Extensive Reading & Creative Writing (2)	Prepare for Finals	
31	Final Exam		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など Title of textbook: "15 Topics for Tomorrow' s World" . Shohakusha</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て Students are expected to come on time. Three 15 minutes late is equivalent to one absence. No talking / yuntaku during class hours except class discussion.</p>
	<p>評価 Grading System: Discussion: 50%, Homework: 25%, Tests: 25% *10 or more absences= NO CREDIT</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 English IV Reading with Writing and discussion</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 淳子 [法律・地行]	2年	授業の初日に講座案内を配布します(メールアドレスも記載されています)	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>様々なITメディアが発達した今日、英語で書かれた文献を理解し、外国の研究者と接点を持つことは実現可能である。又英語力があれば最新のデータや最先端の研究を活用することができる。しかし、実用的な英語力を身に着けるには、英文独特の文章構造やスタイルを学び、様々な読み物を多読、熟読し、論理的思考、クリティカル思考を鍛え自分の考えを英語で発信するトレーニングが必要。</p> <p>到達目標 英文の読解力や文章力を養成する事を主目的とする。物語をチャプターごとに購読、分析、そしてディスカッションすることで自然に英語の文章に馴染む。又エッセイの書き方のノウハウを学び毎週英作文の課題を提出する。文章の基本構造、テーマ等を意識しつつ、内容を論理的に把握し分析する力を身に着け、ディスカッションやプレゼンテーションを通して文章をより深く理解し表現する力を強化する。</p>	<p>基本的テキストとして購読用(「星の王子さま」の英語版)、英作文用の2冊購入が必要。各チャプターのテーマに沿ってディスカッションを活性化させるため様々な追加資料を配布、ビデオクリップや著名人のトークを視聴する。個人、グループ、クラス全体で対話し考える講座。Speaking に自信のある方、又は英語による発信力を高めるのに興味のある方、ぜひご参加ください。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション(遠隔授業)	シラバス熟読
	2	英語購読 Introduction	Review & 単語テスト対策
	3	英作文1 Introduction	エッセイテキストから課題
	4	英語購読 Chapter 1	Review & 単語テスト対策
	5	英作文 Chapter 1	エッセイテキストから課題
	6	英語購読 Chapter 2	Review & 単語テスト対策
	7	英作文 Chapter 1	エッセイテキストから課題
	8	英語購読 Chapter 2	Review & 単語テスト対策
	9	英作文 Chapter 2	エッセイテキストから課題
	10	英語購読 Chapter 3	Review & 単語テスト対策
	11	英作文 Chapter 2	エッセイテキストから課題
	12	英語購読 Chapter 4	Review & 単語テスト対策
	13	英作文 Chapter 3	エッセイテキストから課題
	14	英語購読 Chapter 4	Review & 単語テスト対策
	15	英作文 Chapter 3	エッセイテキストから課題
	16	英語購読 Chapter 5	Review & 単語テスト対策
	17	英作文 Chapter 4	エッセイテキストから課題
	18	英語購読 Chapter 6	Review & 単語テスト対策
	19	英作文 Chapter 4	エッセイテキストから課題
	20	英語購読 Chapter 6	Review & 単語テスト対策
	21	英作文 Chapter 5	エッセイテキストから課題
	22	英語購読 Chapter 7	Review & 単語テスト対策
	23	英作文 Chapter 5	エッセイテキストから課題
	24	英語購読 Chapter 8	Review & 単語テスト対策
	25	英作文 Chapter 6	エッセイテキストから課題
	26	英語購読 Chapter 9	Review & 単語テスト対策
	27	英作文 Chapter 6	エッセイテキストから課題
	28	英語購読 Chapter 9	Review & 単語テスト対策
	29	英作文 Review	エッセイテキストから課題
30	期末テスト	期末レヴュー	
31	Evaluation	なし	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>購読用の基本テキスト（『The Little Prince』）及びエッセイ学習用のテキストを各自購入する事（初日に詳細説明）。両方とも前期・後期通して使用予定。基本テキスト以外にも読み物や資料配布予定。</p>
	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業初日のオリエンテーションに出席できない場合は受講できない場合があります（やむを得ない事情で初日欠席する場合は事前にitokazu@okilc.orgまで連絡する） 2 対象：英検準2級～英検2級程度（英語でのやり取りが基本） 3 授業を休む場合はやむを得ない事情以外は必ず事前に連絡する事（ディスカッションなど参加型の授業なので休みが多い学生は評価が低くなります） 4 期末試験以外に、単語クイズ、プレゼンテーション（1～2回）、エッセイ提出（6回程度）予定。 5 頻繁な遅刻、授業態度（私語やいねむり）の悪い生徒は退室となる場合があるので注意。
	<p>評価</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. エッセイ提出（6回程度）20% 2. 単語テスト（10回程度）20% 3. 中間プレゼンテーション 20% 4. 期末プレゼンテーション 20% 5. ディスカッションへの貢献、態度、提出物 20%
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次のステップとして、英語のエッセイの発展クラスで更に書く力を伸ばすことが望ましい。又、購読の授業で論理思考、クリティカル思考を高める。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-渡久山 幸功 [法律・地行]	2年	Email: realrealgone123@yahoo.co.jp	

学びの準備	ねらい 英語購読・英作文のテキストを使用し、基本的な英文法を学習・体得しながら、英語によるリーディングおよびライティングのレベルアップを図る。時事的なトピックを扱ったメディア英語の基礎になれるようにする。	メッセージ 多読的な学習方法で講義を進めていきます。受講生は根気強く課題（新聞や短編小説）を読んで授業に臨んでください。積極的に授業に参加することを心がけてください。
	到達目標 文法的に平易な英文（口語的な英文）の長文を読むことができるようになる。アメリカ英語の日常英会話的な表現を理解できるようになる。基礎的な英文法を使用して自分の気持ち・意見を平易な英作文で表現できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	クラス・オリエンテーション	リーディングの課題
	2	English Song Lyrics 1	ライティングとリーディングの課題
	3	Composition Preposition 1	リーディングの課題
	4	English Song Lyrics 2	ライティングとリーディングの課題
	5	Composition Preposition 2	リーディングの課題
	6	English Song Lyrics 3	ライティングとリーディングの課題
	7	Composition Preposition 3	リーディングの課題
	8	English Song Lyrics 4	ライティングとリーディングの課題
	9	Composition Infinitives and Gerund 1	リーディングの課題
	10	Newspaper Articles 1	ライティングとリーディングの課題
	11	Composition Infinitives and Gerund 2	リーディングの課題
	12	Newspaper Articles 2	リーディングの課題
	13	Composition Infinitives and Gerund 3	ライティングとリーディングの課題
	14	Newspaper Articles 3	ライティングとリーディングの課題
	15	Composition Infinitives and Gerund 4	中間試験の準備
	16	Midterm Exam 中間試験	
	17	Film School of Rock	リーディングの課題
	18	Film School of Rock	ライティングとリーディングの課題
	19	Newspaper Articles 4	リーディングの課題
	20	Composition Conjunction 1	ライティングとリーディングの課題
	21	Newspaper Articles 5	リーディングの課題
	22	Composition Conjunction 2	ライティングとリーディングの課題
	23	Short Story A Rose for Emily 1	リーディングの課題
	24	Composition Conjunction 3	ライティングとリーディングの課題
	25	Short Story A Rose for Emily 2	リーディングの課題
	26	Composition Relative Pronoun 1	ライティングとリーディングの課題
	27	Short Story The Moths 1	リーディングの課題
	28	Composition Relative Pronoun 2	ライティングの課題
	29	Short Story The Moths 2	ライティングとリーディングの課題
30	Composition Relative Pronoun 3	ライティングの課題	
31	Final Exam 期末試験		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など Meet the World: English through Newspapers 2017 (若手 保彦 編著 成美堂 2017年)</p>
	<p>学びの手立て ① 履修の心得： 「英語I」と「英語Ii」の単位を取得していることが望ましい。クラスの最初の20分間で、12回のクイズあるいはパラグラフ・ライティングをほぼ毎回実施するので、できるだけ出席をするように心がけてほしい。3分の1以上欠席した場合（このクラスは10回以上）には、大学の規定により単位を与えることはできません。30分以上遅刻した場合には、欠席とみなします。また、講義中の居眠りや授業内容に関係のないおしゃべり、スマートフォンや携帯電話の使用を禁止します。講義には英文辞書を持参してください。② 学びを深めるために： 講義時間外での予習・復習は外国語学習・習得には極めて重要です。毎日教科書を読むようにして、英文を読むことになれるように努力してください。</p>
	<p>評価 中間試験 25% 期末試験 25% 英文レポート（テキスト・映画の感想文）20% クイズとライティングの課題 20% プレゼンテーション（口頭発表）10% *中間試験と期末試験の両方を受験しない場合には単位を取得できません。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 (1) 関連科目：英語IV（後期学期提供）を受講を勧めます。(2) 次のステージ：英語の長編小説、文量の多い雑誌記事（特集記事）などを読む努力をすることが望ましい。</p>

※ポリシーとの関連性

様々な分野の英文に多く触れて、基礎的な読解力を身につけます。
また自分の意見を相手に伝える訓練を通して表現力を磨きます。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	阿嘉 奈月[全学科(全学年)]	1年	問い合わせ方法については授業内で周知します。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>本講義では主に(1)主にやさしい英文で書かれた多読用図書を通して読解力を伸ばし(2)学んだ知識を活用して実践的なコミュニケーション能力を身につけます。様々な分野の英文に触れることで、そのまま英文を理解するといった直読直解の技能を習得することができます。また、音読やディクテーション活動を通して、英文構造を身につけ自己表現力のバリエーションを増やします。</p>	<p>好きこそものの上手なれ!楽しみながら英語学習に取り組みましょう。授業は積極的に参加してください。授業内で質問することは恥ずかしいことはありません。</p>
到達目標	<p>1) 多読活動を通して、英文をそのまま理解する直読直解の技能を身につけることができる。 2) 基本語1,000~2,000語レベルの英文を毎分100語以上で読むことができる。 3) 音読トレーニングやディクテーション活動を通して、英文構造の型を定着させることができる。 4) 音読トレーニングやディクテーション活動を通して、自己表現力を高めることができる。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション(図書館での多読授業について)	事前にシラバスを確認する。
	2	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	1) 音読音読トレーニング
	3	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	4	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	2) 音読音読トレーニング
	5	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	6	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	3) 音読音読トレーニング
	7	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	8	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	4) 音読音読トレーニング
	9	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	10	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	5) 音読音読トレーニング
	11	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	12	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	6) 音読音読トレーニング
	13	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	14	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	7) 音読音読トレーニング
	15	前期中間試験&自己評価(多読語数・速読スピードなどの確認)&振り返り	試験準備:小テストや要約を確認
	16	試験返却と解説・多読活動・ブックシェア	試験準備:小テストや要約を確認
	17	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	8) 音読音読トレーニング
	18	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	19	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	9) 音読音読トレーニング
	20	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	21	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	10) 音読音読トレーニング
	22	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	23	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	11) 音読音読トレーニング
	24	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	25	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	26	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	27	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	28	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	29	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
30	前期末試験	試験準備:小テストや要約を確認	
31	試験返却と解説&自己評価(多読語数・速読スピードなどの確認)		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 浅場眞紀子・愛場吉子（2018）『1日10分で始める・続ける 話せる英語ドリル300文』東京：アルク.</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 授業内外での自主的な多読活動へ積極的に取り組みましょう。 2) 図書館でのマナーを守り、他者の迷惑にならないように心がけましょう。 3) 提出期限を守り課題を提出してください。 4) 欠席届を提出した場合でも、欠席回数が1 / 3 に達した場合には自動的に不可とします。遅刻は0.5でカウントします。
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 試験 50% ・ 提出物 30% ・ 小テスト 20%
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 関連科目：英語Ⅳ（後期開講クラス）の受講を勧めます。 2) 次へのステージ：図書館には、英語で書かれた書物（多読用図書・児童書・英字新聞など）が多く保管されています。日頃から英語に触れて、継続した英語学習に取り組んでください。

※ポリシーとの関連性 あらゆる分野の英文に多く触れて、基礎的な読解力を身につけます。また自分の意見を相手に伝える訓練を通して表現力を磨きます。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	阿嘉 奈月[全学科(全学年)]	1年	問い合わせ方法については授業内で周知します。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>本講義では主に(1)主にやさしい英文で書かれた多読用図書を通して読解力を伸ばし(2)学んだ知識を活用して実践的なコミュニケーション能力を身につけます。様々な分野の英文に触れることで、そのまま英文を理解するといった直読直解の技能を習得することができます。また、音読やディクテーション活動を通して、英文構造を身につけ自己表現力のバリエーションを増やします。</p>	<p>好きこそものの上手なれ!楽しみながら英語学習に取り組みましょう。授業は積極的に参加してください。授業内で質問することは恥ずかしいことはありません。</p>
到達目標	<p>1) 多読活動を通して、英文をそのまま理解する直読直解の技能を身につけることができる。 2) 基本語1,000~2,000語レベルの英文を毎分100語以上で読むことができる。 3) 音読トレーニングやディクテーション活動を通して、英文構造の型を定着させることができる。 4) 音読トレーニングやディクテーション活動を通して、自己表現力を高めることができる。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション(図書館での多読授業について)	事前にシラバスを確認する。
	2	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	1) 音読トレーニング
	3	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	4	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	2) 音読トレーニング
	5	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	6	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	3) 音読トレーニング
	7	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	8	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	4) 音読トレーニング
	9	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	10	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	5) 音読トレーニング
	11	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	12	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	6) 音読トレーニング
	13	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	14	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	7) 音読トレーニング
	15	前期中間試験&自己評価(多読語数・速読スピードなどの確認)	試験準備:小テストや要約を確認
	16	試験返却と解説・多読活動・ブックシェア	試験準備:小テストや要約を確認
	17	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	8) 音読トレーニング
	18	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	19	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	9) 音読トレーニング
	20	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	・英文要約のプリント提出
	21	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	10) 音読トレーニング
	22	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	・英文要約のプリント提出
	23	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	11) 音読トレーニング
	24	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	・英文要約のプリント提出
	25	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	26	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	27	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	28	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	29	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
30	前期末試験	試験準備:小テストや要約を確認	
31	試験返却と解説&自己評価(多読語数・速読スピードなどの確認)		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 浅場眞紀子・愛場吉子（2018）『1日10分で始める・続ける 話せる英語ドリル300文』東京：アルク。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 授業内外での自主的な多読活動へ積極的に取り組みましょう。 2) 図書館でのマナーを守り、他者の迷惑にならないように心がけましょう。 3) 提出期限を守り課題を提出してください。 4) 欠席届を提出した場合でも、欠席回数が1 / 3 に達した場合には自動的に不可とします。遅刻は0.5でカウントします。
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 試験 50% ・ 提出物 30% ・ 小テスト 20%
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 関連科目：英語Ⅳ（後期開講クラス）の受講を勧めます。 2) 次へのステージ：図書館には、英語で書かれた書物（多読用図書・児童書・英字新聞など）が多く保管されています。日頃から英語に触れて、継続した英語学習に取り組んでください。

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-奥間 隆伸 [全学科 (全学年)]	1年	ptt059@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	総合的な英語の運用能力向上を授業の目的とします。教科書を中心に「話す」、「読む」、「書く」、「聞く」事に関連した様々な形での学習を行う。「話す」活動では日常会話の表現を覚え、「読む」活動では350～400語程度の英文の精読をする。また「書く」事に関しては文法・表現を学ぶ活動をする。さらに「聞く」事に関しては本文のリスニング等により英語の音声に慣れていく。	皆さんの中には、英語が好き、嫌い、どちらでもない。また、英語が得意、苦手な人もいます。英語が好き、得意な方々はそれをどんどん伸ばしていきましょう。苦手意識のある方はその苦手意識をちょっと側に置いてみてください。一緒に英語に触れ、使い、そして少しでも英語を「コミュニケーションの道具」として使うことができることを目指しましょう。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日常生活レベルの会話ができる。 2. 状況に応じた表現を使用できる。 3. 中級レベルの語が理解できる。 4. 読解のコツを活用できる。 5. 中級レベルの文章を理解できる。 6. 中級レベルの英文法が理解できる。 7. 英文の基本構成が理解できる。 8. 平易な英文が書ける。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation	シラバスをよく読む
	2	Chapter 1: Fake Online Reviews	教科書Ch1を事前に読む
	3	Ch1 & Chapter 2 Could I Become a Youtuber?	教科書Ch1&Ch2を事前に読む
	4	Ch2	教科書Ch2を事前に読む
	5	Ch3 Selling Viral Videos Makes Big Money	教科書Ch3を事前に読む
	6	Ch3 & Ch5 Why Don't We Ask Siri?	教科書Ch3 & Ch5を事前に読む
	7	Ch5	教科書 Ch5を事前に読む
	8	Ch7 Toddlers and Technology	教科書Ch7 を事前に読む
	9	Ch7 & Ch8 No More Game Changing Technology	教科書Ch7 & Ch8を事前に読む
	10	Ch8	教科書Ch8を事前に読む
	11	Ch9 Waiting in Line for Delicious New Food	教科書Ch9を事前に読む
	12	Ch9 & 中間試験の準備	教科書Ch9を事前に読む
	13	中間試験 Ch1, 2, 3, 5, 7, 8, 9	試験対策をする
	14	Ch10 Sympathy for the Delivery Man	教科書Ch10 を事前に読む
	15	中間試験返却 & Ch10	教科書Ch10を事前に読む
	16	Ch12 Graduation Trips	教科書Ch12を事前に読む
	17	Ch12 & Ch13 Aspects of Sneaker Culture	教科書Ch12& Ch13を事前に読む
	18	Ch13	教科書Ch13を事前に読む
	19	Ch15 Trends in Fitness	教科書Ch15を事前に読む
	20	Ch15& Ch16 Smart Rings	教科書Ch15& Ch16を事前に読む
	21	Watching a DVD(Writing an essay)	DVDに関連した資料チェック
	22	Watching a DVD(Writing an essay) & Ch16	教科書Ch16 を事前に読む
	23	Ch17 Photogenicity	教科書Ch17を事前に読む
	24	Ch17 & Ch18 Stress Relief	教科書Ch17&Ch18を事前に読む
	25	Ch18	教科書Ch18を事前に読む
	26	Ch19 Young Women Turn to Gaming	教科書Ch19 を事前に読む
	27	Ch19 & Ch20 Young People and Criticism	教科書Ch19 & Ch20 を事前に読む
	28	Ch20	教科書Ch20を事前に読む
	29	期末試験対策	期末試験対策をする
30	期末試験 Ch10, 12, 13, 15, 16, 17, 18, 19, 20	期末試験対策をする	
31	期末試験返却等 (試験に関する講評・解説等)	教師の指示を確認する	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など Trend Watching 2 (2020年 第3刷) Jonathan Lynch/ 委文光太郎 成美堂 税別：1900円</p> <p>参考文献：プリントを随時使用する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業初日のオリエンテーションは非常に大切なので出席してください。 2. 積極的に授業に参加してください。自主的、意欲的な学習態度が必要です。 3. 総授業時数の3分の1以上（このクラスは10回以上）を欠席すると大学の規定により成績評価は「不可」となります。 4. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。 5. 遅刻、私語、居眠り、授業に関係ない携帯電話の使用等は授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。
学 び の 実 践	<p>評価</p> <p>平常点（授業参加度）30%、宿題・課題（レポートなど）・小テスト 30%、中間試験20%、期末試験20%の結果により総合的に評価する。総授業時数の3分の1以上（このクラスでは10回以上）を欠席すると大学の規定により成績評価は「不可」となります。20分以上遅刻した場合には欠席とみなし、遅刻2回で欠席1回とみなします。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>この授業で総合的、基本的な英語力（話す、読む、書く、聞く）の習得を目指し、さらなる英語の運用能力（特にリーディングとライティング）の向上を目指しましょう。</p> <p>関連科目としては、「英語IV」</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-奥間 隆伸 [法律・地行]	2年	ptt059@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	総合的な英語の運用能力向上を授業の目的とします。教科書を中心に「話す」、「読む」、「書く」、「聞く」事に関連した様々な形での学習を行う。「話す」活動では、日常会話の表現を覚え、「読む」活動では350～400語程度の英文の精読をする。また「書く」事に関しては文法・表現を学ぶ活動をする。さらに「聞く」事に関しては本文のリスニング等により英語の音声に慣れていく。	皆さんの中には、英語が好き、嫌い、どちらでもない。また、英語が得意、苦手な人もいます。英語が好き、得意な方々はそれをどんどん伸ばしていきましょう。苦手意識のある方はその苦手意識をちょっと側に置いてみてください。一緒に英語に触れ、使い、そして少しでも英語を「コミュニケーションの道具」として使うことができることを目指しましょう。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 日常生活レベルの会話ができる。 状況に応じた表現を使用できる。 中級レベルの語が理解できる。 読解のコツを活用できる。 中級レベルの文章を理解できる。 中級レベルの英文法が理解できる。 英文の基本構成が理解できる。 平易な英文が書ける。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation	シラバスをよく読む
	2	Chapter 1 Fake Online Reviews	教科書Ch1を事前に読む
	3	Ch1 & Chapter 2: Could I Become a Youtuber?	教科書Ch1& Ch2を事前に読む
	4	Ch2	教科書Ch2を事前に読む
	5	Ch3 Selling Viral Videos Makes Big Money	教科書Ch3を事前に読む
	6	Ch3 & Ch5 Why Don't We Ask Siri?	教科書Ch3 & Ch5を事前に読む
	7	Ch5	教科書Ch5を事前に読む
	8	Ch7 Toddlers and Technology	教科書Ch7を事前に読む
	9	Ch7 & Ch8 No More Game Changing Technology	教科書Ch6 & Ch7を事前に読む
	10	Ch8	教科書 Ch8を事前に読む
	11	Ch9 Waiting in Line for Delicious New Food	教科書Ch9を事前に読む
	12	Ch9 & 中間試験の準備	教科書Ch9を事前に読む
	13	中間試験 Ch1, 2, 3, 5, 7, 8, 9	試験対策をする
	14	Ch10 Sympathy for the Delivery Man	教科書Ch10を事前に読む
	15	中間試験返却 & Ch10	教科書Ch10を事前に読む
	16	Ch12 Graduation Trips	教科書Ch12を事前に読む
	17	Ch12 & Ch13 Aspects of Sneaker Culture	教科書Ch12 & Ch13を事前に読む
	18	Ch13	教科書Ch13を読む
	19	Ch15 Trends in Fitness	教科書 Ch15を事前に読む
	20	Ch15& Ch16 Smart Rings	教科書Ch15 & Ch16を事前に読む
	21	Watching a DVD(Writing an essay)	DVDに関連した資料チェック
	22	Watching a DVD(Writing an essay) & Ch16	教科書Ch16を事前に読む
	23	Ch17 Photogenicity	教科書Ch17を事前に読む
	24	Ch17 & Ch18 Stress Relief	教科書Ch17 & Ch18を事前に読む
	25	Ch18	教科書Ch18を事前に読む
	26	Ch19 Young Women Turn to Gaming	教科書Ch19を事前に読む
	27	Ch19 & Ch20 Young People and Criticism	教科書Ch19 & Ch20を事前に読む
	28	Ch20	教科書Ch20を事前に読む
29	期末試験対策	期末試験対策をする	
30	期末試験 Ch10, 12, 13, 15, 16, 17, 18, 19, 20	期末試験対策をする	
31	期末試験返却等 (試験に関する講評・解説等)	教師の指示を確認する	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など Trend Watching 2 (2020年 第3刷) Jonathan Lynch/ 委文光太郎 成美堂 税別：1900円 参考文献：プリントを随時使用する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業初日のオリエンテーションは非常に大切なので出席してください。 2. 積極的に授業に参加してください。自主的、意欲的な学習態度が必要です。 3. 総授業時数の3分の1以上（このクラスは10回以上）を欠席すると大学の規定により成績評価は「不可」となります。 4. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。 5. 遅刻、私語、居眠り、授業に関係ない携帯電話の使用等は授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。
学 び の 実 践	<p>評価</p> <p>平常点（授業参加度）30%、宿題・課題（レポートなど）・小テスト 30%、中間試験20%、期末試験20%の結果により総合的に評価する。総授業時数の3分の1以上（このクラスでは10回以上）を欠席すると大学の規定により成績評価は「不可」となります。20分以上遅刻した場合には欠席とみなし、遅刻2回で欠席1回とみなします。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>この授業で総合的、基本的な英語力（話す、読む、書く、聞く）の習得を目指し、さらなる英語の運用能力（特にリーディングとライティング）の向上を目指しましょう。 関連科目としては、「英語IV」</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-親泊 かおり [法律・地行]	2年	講義終了時に教室で受け付け；musakaori8@gmail.com	

学びの準備	ねらい 本講義においては、法律・地域行政を学ぶ学生を対象に、世界各地で起こっている様々な出来事を通じてその問題を考えながら、英語を学んでいくことに焦点を当てます。特に社会問題、歴史、カルチャー等の様々な現代の話題に触れながらリーディングスキルを磨きます。さらに、本文中の重要構文を覚えながら、自分の伝えたいことを英語で表現できるようライティングスキルを学びます。	メッセージ この講義では英文の全体の構造を意識しながら英文の大意をつかむ練習をします。特に英文を左から右へと読んでいく練習を重ねる事により、英文を速く読む訓練をします。同時に毎週各ユニットのモデル英文を暗誦する事により基礎的ライティング能力を養成します。
	到達目標 ①英語長文を正しく読み取ることができる。②自分自身の考えていることを平易な英語で伝えることができる	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	ガイダンス：文法基礎 サイトトランスレーション・スラッシュリーディングについて	
	3	UNIT1 Japan: Unusual Rental Universe—You can Even Rent a Famil	UNIT 予習および復習
	4	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	5	UNIT2 Is Coffee the Secret to a Longer Life	UNIT 予習および復習
	6	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	7	UNIT3 Lost in Translation: How China is Cracking Down on Poor English Translations	UNIT 予習および復習
	8	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	9	UNIT4 Lack of Sleep Costs Americans Billions of Dollars Each Ye	UNIT 予習および復習
	10	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	11	UNIT5 Your Smartphone is Making You a Workplace Slacke	UNIT 予習および復習
	12	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	13	UNIT6 Do Happy People Live Long?	UNIT 予習および復習
	14	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	15	UNIT7 Selling Charit	UNIT 予習および復習
	16	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	17	UNIT8 The Power of Music: Using Music to Help Unlock Alzheimer’s Patients’ Memories	UNIT 予習および復習
	18	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	19	UNIT9 A Stitch in Time: Teen Turns Thrift Store Finds into Trendy Clothing for Homeless	UNIT 予習および復習
	20	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	21	UNIT10 How Microfibers in Clothes are Polluting Our Oceans	UNIT 予習および復習
	22	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	23	UNIT11 True Meaning of Christmas Found in Family’s Magical Reunion	UNIT 予習および復習
	24	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	25	UNIT12 The Joy of Cleaning: The Life-Changing Magic of Tidying Up	UNIT 予習および復習
	26	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	27	UNIT13 High Schooler’s “Sit With Us” App Tackles Lunchtime Bullying	UNIT 予習および復習
	28	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	29	UNIT14 Japan Battles Population Decline with Robot	UNIT 予習および復習
30	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習	
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 初回講義にて提示</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て ①ユニット毎の小テストをする。 ②30分以上の遅刻2回で1回の欠席とみなす。 ③10回以上の欠席は単位を与えない。 ④予習を必ずして、辞書を授業に持ってくる事。</p>
	<p>評価 ①小テスト 40% ②期末テスト 40% ③宿題および講義参加率 20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 本講義で習得した英語の基本的技能を用いて、さらに様々な分野に関心を持ち世界に目を向け、国際的視野に立って自分の意見を英語でまとめられるようになる。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-渡久山 幸功 [法律・地行]	2年	Emai : l_realrealgone123@yaoao.co.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語購読・英作文のテキストを使用し、基本的な英文法を学習・体得しながら、英語によるリーディングおよびライティングのレベルアップを図る。英語I及び英語IIで学んだ英会話・コミュニケーション表現を多く含むベストセラーHOW-to 本 Skinny Bitch (2009) を購読することによって、平易な英文理解を強化していきます。	多読的な学習方法で講義を進めていきます。受講生は根気強くテキスト Skinny Bitch (2009) を繰り返し読んで授業に臨んでください。また、このクラスは全学の学生が受講するクラスなので、クラスメートと友人になって楽しい授業になるように、積極的に授業に参加することを心がけてください。
到達目標	現代アメリカ英文の長文を読むことができるようになる。現代アメリカ英語の日常英会話的な表現を理解できるようになる。基礎的な英文法を使用して基礎的な英文法を使用して自分の気持ち・意見を平易な英作文で表現できるようになる。現代社会における食の安全と環境破壊などの社会問題を理解することができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	クラス・オリエンテーション	リーディングの課題
	2	Skinny Bitch Chater 1	リーディングの課題
	3	Skinny Bitch Chater 1	ライティングの課題
	4	Composition	リーディングの課題
	5	Skinny Bitch Chater 2	ライティングの課題
	6	Composition	リーディングの課題
	7	Skinny Bitch Chapaer 3	リーディングの課題
	8	Skinny Bitch Chapter 3 Supersize Me (2008)	リーディングとライティングの課題
	9	Skinny Bitch Chapaer 3	ライティングの課題
	10	Composition	リーディングの課題
	11	Skinny Bitch Chapter 4	リーディングの課題
	12	Skinny Bitch Chapter 4 King Corn (2008)	リーディングとライティングの課題
	13	Skinny Bitch Chapter 4	ライティングの課題
	14	Composition	リーディングの課題
	15	Skinny Bitch Chapter 5	リーディングの課題
	16	Skinny Bitch Chapter 5	ライティングの課題
	17	Composition	中間試験の準備学習
	18	Midterm Exam	リーディングの課題
	19	Skinny Bitch Chapter 6	リーディングの課題
	20	Skinny Bitch Chapter 6 Food Inc. (2009)	リーディングとライティングの課題
	21	Skinny Bitch Chapter 6	ライティングの課題
	22	Composition	リーディングの課題
	23	Skinny Bitch Chapter 7 & 8	ライティングの課題
	24	Composition	リーディングの課題
	25	Skinny Bitch Chapter 9	リーディングの課題
	26	Skinny Bitch Chapter 9	リーディングの課題
	27	Skinny Bitch Chapter 9	リーディングの課題
	28	Skinny Bitch Chapter 10 Forks Over Knives	リーディングとライティングの課題
	29	Skinny Bitch Chapter 10	リーディングの課題
30	Skinny Bitch Chapter 10	期末試験の準備学習	
31	Final Exam	ライティングの課題	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など Skinny Bitch Roy Fredman and Barnouin Running Press (2009)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て ① 履修の心得：「英語III」の単位を取得していること。3分の1以上欠席した場合（このクラスは10回以上）には、大学の規定により単位を与えることはできません。30分以上遅刻した場合には、欠席とみなします。また、講義中の居眠りや授業内容に関係のないおしゃべり、スマートフォンや携帯電話の使用を禁止します。講義には英文辞書を持参してください。② 学びを深めるために：講義時間外での予習・復習は外国語学習・習得には極めて重要です。毎日教科書を読むようにして、英文を読むことになれるように努力してください。</p>
	<p>評価 中間試験 25% 期末試験 25% 英文レポートと（テキスト・映画の感想文）と各章毎のクイズ40% プレゼンテーション（口頭発表）10% *中間試験と期末試験のの両方を受験しない場合には単位を取得できません。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 (1) 関連科目：英語 V, 英語 VI、英語 VII、英語VIII のクラスを継続して受講して、英語力をアップせるように努力してほしい。(2) 次のステージ：英語の小説、新聞、雑誌などを読む努力をすることが望ましい。特に、Skinny Bitch はビジネス英語の語彙が頻出するので、TOEICテストを大学卒業までに受験してほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 ジュニョール デビット[法律・地行]	2年	Itokazu_david@yahoo.com 090-3797-8665	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>The purpose of reading and writing is to enhance basic English Communication and establish socio-economic relationships among the English speaking countries. Students will become familiar with current topics and social issues through reading and writing about them.</p>	<p>Learning English as a second language will give students a tremendous advantage in terms of personal growth and career opportunity. In other words, by just learning one additional language, English could make students “global citizen”. It is our responsibility to motivate them to study hard and to learn English as a second language.</p>
	到達目標	
	<p>Students should continue learning English and develop the skill for global communication. . The most important requirement for Japanese is English as a second language + a degree from University for entry level job position. This class aims to get students to read and write about current topics and social issues.</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation	Review syllabus
	2	Introduction to Reading in English	Review classwork
	3	Introduction to Writing in English	Review classwork
	4	Special Unit: Namie Amuro, “Madonna of Japan” (1)	Review Special Unit
	5	Special Unit: Namie Amuro, “Madonna of Japan” (2)	Review Special Unit
	6	Special Unit: Namie Amuro, “Madonna of Japan” (3)	Review Special Unit
	7	Unit 9: Esports-FIFA’s eWorld Cup Catching Up with the Real Thing (1)	Review Unit 9
	8	Unit 9: Esports-FIFA’s eWorld Cup Catching Up with the Real Thing (2)	Review Unit 9
	9	Unit 9: Esports-FIFA’s eWorld Cup Catching Up with the Real Thing (3)	Review Unit 9
	10	Unit 10: Is ‘Snapchat Dysmorphia’ Really Soemthing to Be Worried About? (1)	Review Unit 10
	11	Unit 10: Is ‘Snapchat Dysmorphia’ Really Soemthing to Be Worried About? (2)	Review Unit 10
	12	Unit 10: Is ‘Snapchat Dysmorphia’ Really Soemthing to Be Worried About? (3)	Review Unit 10
	13	Unit 11: English Food Ignorance: Education is Too Important to Leave to Big Food (1)	Review Unit 11
	14	Unit 11: English Food Ignorance: Education is Too Important to Leave to Big Food (2)	Review Unit 11
	15	Unit 11: English Food Ignorance: Education is Too Important to Leave to Big Food (3)	Review Unit 11
	16	Review SP Unit -11	Review SP Unit -11
	17	Unit 12: Tech CEOs Back Call for Basic Income (1)	Review Unit 12
	18	Unit 12: Tech CEOs Back Call for Basic Income (2)	Review Unit 12
	19	Unit 12: Tech CEOs Back Call for Basic Income (3)	Review Unit 12
	20	Unit 13: Cramer Pinpoints the ‘Best Scular Trend’ in the Market (1)	Review Unit 13
	21	Unit 13: Cramer Pinpoints the ‘Best Scular Trend’ in the Market (2)	Review Unit 13
	22	Unit 13: Cramer Pinpoints the ‘Best Scular Trend’ in the Market (3)	Review Unit 13
	23	Unit 14: World Bank Warns Over South Asian Climate ‘Hotspots’ (1)	Review Unit 14
	24	Unit 14: World Bank Warns Over South Asian Climate ‘Hotspots’ (2)	Review Unit 14
	25	Unit 14: World Bank Warns Over South Asian Climate ‘Hotspots’ (3)	Review Unit 14
	26	Unit 15: First-of-its-kind Clinical Trial Will Use Reprogrammed Adult Stem Cells (1)	Review Unit 15
	27	Unit 15: First-of-its-kind Clinical Trial Will Use Reprogrammed Adult Stem Cells (2)	Review Unit 15
	28	Unit 15: First-of-its-kind Clinical Trial Will Use Reprogrammed Adult Stem Cells (3)	Review Unit 15
	29	Extensive Reading & Creative Writing (1)	Review classwork
30	Extensive Reading & Creative Writing (2)	Review classwork	
31	Final Exam		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など Title of textbook: "15 Topics for Tomorrow's World". Shohakusha</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て Students are expected to come on time. Three 15 minutes late is equivalent to one absence. No talking / yuntaku during class hours except class discussion.</p>
	<p>評価 Grading System: Discussion: 50%, Homework: 25%, Tests: 25% *10 or more absences= NO CREDIT</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 English V & VI (Eiken) and English VII (TOEIC)</p>

※ポリシーとの関連性 あらゆる分野の英文に多く触れて、基礎的な読解力を身につけます。また自分の意見を相手に伝える訓練を通して表現力を磨きます。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	阿嘉 奈月[全学科(全学年)]	1年	問い合わせ方法については授業内で周知します。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>本講義では主に(1)主にやさしい英文で書かれた多読用図書を通して読解力を伸ばし(2)学んだ知識を活用して実践的なコミュニケーション能力を身につけます。様々な分野の英文に触れることで、そのまま英文を理解するといった直読直解の技能を習得することができます。また、音読やディクテーション活動を通して、英文構造を身につけ自己表現力のバラエティーを増やします。</p>	<p>好きこそものの上手なれ!楽しみながら英語学習に取り組みましょう。授業は積極的に参加してください。授業内で質問することは恥ずかしいことはありません。</p>
到達目標	<p>1) 多読活動を通して、英文をそのまま理解する直読直解の技能を身につけることができる。 2) 基本語1,000~3,000語レベルの英文を毎分100語以上で読むことができる。 3) 音読トレーニングやディクテーション活動を通して、英文構造の型を定着させることができる。 4) 音読トレーニングやディクテーション活動を通して、自己表現力を高めることができる。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション(図書館での多読授業について)	事前にシラバスを確認する。
	2	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	1) 音読ドリルの小テスト準備
	3	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	4	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	2) 音読ドリルの小テスト準備
	5	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	6	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	3) 音読ドリルの小テスト準備
	7	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	8	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	4) 音読ドリルの小テスト準備
	9	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	10	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	5) 音読ドリルの小テスト準備
	11	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	12	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	6) 音読ドリルの小テスト準備
	13	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	14	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	7) 音読ドリルの小テスト準備
	15	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	試験準備:小テストや要約を確認
	16	後期中間試験&自己評価(多読語数・速読スピードなどの確認)&振り返り	試験準備:小テストや要約を確認
	17	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	8) 音読ドリルの小テスト準備
	18	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	19	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	9) 音読ドリルの小テスト準備
	20	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	21	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	10) 音読ドリルの小テスト準備
	22	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	23	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	11) 音読ドリルの小テスト準備
	24	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	25	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	12) 音読ドリルの小テスト準備
	26	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	・英文要約のプリント提出
	27	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	13) 音読ドリルの小テスト準備
	28	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	・英文要約のプリント提出
	29	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	試験準備:小テストや要約を確認
30	後期末試験	試験準備:小テストや要約を確認	
31	試験返却と解説&自己評価(多読語数・速読スピードなどの確認)		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 浅場眞紀子・愛場吉子（2018）『1日10分で始める・続ける 話せる英語ドリル300文』東京：アルク.</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 授業内外での自主的な多読活動へ積極的に取り組みましょう。 2) 図書館でのマナーを守り、他者の迷惑にならないように心がけましょう。 3) 提出期限を守り課題を提出してください。基本的には授業内での提出が主になります。 4) 欠席届を提出した場合でも、欠席回数が1／3に達した場合には自動的に不可とします。遅刻は0.5でカウントします。
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 試験 50% ・ 提出物 30% ・ 小テスト 20%
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 関連科目：英語Vの受講を勧めます。 2) 次へのステージ：図書館には、英語で書かれた書物（多読用図書・児童書・英字新聞など）が多く保管されています。日頃から英語に触れて、継続した英語学習に取り組んでください。

※ポリシーとの関連性 あらゆる分野の英文に多く触れて、基礎的な読解力を身につけます
 。また自分の意見を相手に伝える訓練を通して表現力を磨きます。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	阿嘉 奈月[全学科(全学年)]	1年	問い合わせ方法については授業内で周知します。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>本講義では主に(1)主にやさしい英文で書かれた多読用図書を通して読解力を伸ばし(2)学んだ知識を活用して実践的なコミュニケーション能力を身につけます。様々な分野の英文に触れることで、そのまま英文を理解するといった直読直解の技能を習得することができます。また、音読やディクテーション活動を通して、英文構造を身につけ自己表現力のバリエーションを増やします。</p>	<p>好きこそものの上手なれ!楽しみながら英語学習に取り組みましょう。授業は積極的に参加してください。授業内で質問することは恥ずかしいことはありません。</p>
到達目標	<p>1) 多読活動を通して、英文をそのまま理解する直読直解の技能を身につけることができる。 2) 基本語1,000~3,000語レベルの英文を毎分100語以上で読むことができる。 3) 音読トレーニングやディクテーション活動を通して、英文構造の型を定着させることができる。 4) 音読トレーニングやディクテーション活動を通して、自己表現力を高めることができる。 *コロナ感染者が増えた場合にはオンライン授業へ変更します。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション(図書館での多読授業について)	事前にシラバスを確認する。
	2	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	1) 音読ドリルの小テスト準備
	3	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	4	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	2) 音読ドリルの小テスト準備
	5	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	6	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	3) 音読ドリルの小テスト準備
	7	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	8	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	4) 音読ドリルの小テスト準備
	9	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	10	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	5) 音読ドリルの小テスト準備
	11	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	12	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	6) 音読ドリルの小テスト準備
	13	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	14	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	7) 音読ドリルの小テスト準備
	15	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	試験準備:小テストや要約を確認
	16	前期中間試験&自己評価(多読語数・速読スピードなどの確認)&振り返り	試験準備:小テストや要約を確認
	17	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	8) 音読ドリルの小テスト準備
	18	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	・英文要約のプリント提出
	19	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	9) 音読ドリルの小テスト準備
	20	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	・英文要約のプリント提出
	21	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	10) 音読ドリルの小テスト準備
	22	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	・英文要約のプリント提出
	23	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	11) 音読ドリルの小テスト準備
	24	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	・英文要約のプリント提出
	25	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	12) 音読ドリルの小テスト準備
	26	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	・英文要約のプリント提出
	27	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	13) 音読ドリルの小テスト準備
	28	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	・英文要約のプリント提出
	29	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	試験準備:小テストや要約を確認
30	前期末試験	試験準備:小テストや要約を確認	
31	試験返却と解説&自己評価(多読語数・速読スピードなどの確認)		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 浅場眞紀子・愛場吉子（2018）『1日10分で始める・続ける 話せる英語ドリル300文』東京：アルク.</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 授業内外での自主的な多読活動へ積極的に取り組みましょう。 2) 図書館でのマナーを守り、他者の迷惑にならないように心がけましょう。 3) 提出期限を守り課題を提出してください。基本的には授業内での提出が主になります。 4) 欠席届を提出した場合でも、欠席回数が1／3に達した場合には自動的に不可とします。遅刻は0.5でカウントします。
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 試験 50% ・ 提出物 30% ・ 小テスト 20%
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 関連科目：英語Ⅴの受講を勧めます。 2) 次へのステージ：図書館には、英語で書かれた書物（多読用図書・児童書・英字新聞など）が多く保管されています。日頃から英語に触れて、継続した英語学習に取り組んでください。

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-松田 順子[法律・地行]	2年	沖国大ポータルのG-mailを活用し、連絡を取り合う。連絡事項をまめに確認して欲しい。	

学びの準備	ねらい 英語IIIで学んだ英語の知識をさらに深める。読む速度を早くし、読む量を増やし、英語を読み書きする楽しさを覚える。	メッセージ 前期同様、毎回配布される教材に取り組み、課題に取り組む。質問を大いに歓迎します。学生のみなさん一人ひとりが英語III・IVを通して読解力・作文力が身についたと実感することができるようサポートしたいと思います。不安なことがあれば気軽に声かけしてください。メールも活用し、連携を深めてお互いに学んでいきましょう。
	到達目標 辞書を引く習慣を身につけると同時に、辞書なしでも生活の中で出会う英語の文章を読む力・書く力を身につける。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション & 英文読解 1	夏休みに関する英作文
	2	英作文 1	文法・表現
	3	英文読解 2	関連する語彙・表現
	4	英作文 2	文法・表現
	5	英文読解 3	関連する語彙・表現
	6	英作文 3	文法・表現
	7	英文読解 4	関連する語彙・表現
	8	英作文 4	文法・表現
	9	英文読解 5	関連する語彙・表現
	10	英作文 5	文法・表現
	11	英文読解 6	関連する語彙・表現
	12	英作文 6	文法・表現
	13	英語読解 7	関連する語彙・表現
	14	英作文 7	文法・表現
	15	中間試験	後期前半のまとめ
	16	英文読解 8	関連する語彙・表現
	17	英作文 8	文法・表現
	18	英文読解 9	関連する語彙・表現
	19	英作文 9	文法・表現
	20	英文読解 10	関連する語彙・表現
	21	英作文 10	文法・表現
	22	英文読解 11	関連する語彙・表現
	23	英作文 11	文法・表現
	24	英文読解 12	関連する語彙・表現
	25	英作文 12	文法・表現
	26	英文読解 13	関連する語彙・表現
	27	英作文 13	文法・表現
	28	英文読解 14	関連する語彙・表現
	29	英作文 15	文法・表現
30	期末試験 (1)	後期後半のまとめ	
31	期末試験 (2)	後期のまとめ	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：配布教材（新聞・雑誌の記事、実話、短編の物語、長編物語の抜粋など）</p> <p>参考文献：随時紹介する</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①辞書を活用する力と同時に、辞書がなくても読み物の概要を把握する力を身につけることを目指したい。</p> <p>②毎回ミニ・クイズを実施するので、予習・復習する習慣を身につけよう。</p> <p>③大いに質問しよう。</p> <p>④欠席が3分の1（10回）以上ある場合は単位を修得することはできないので、留意すること。</p>
	<p>評価</p> <p>毎回のクラスでの活動（ミニ・クイズ / 発表・質問などのクラスへの貢献度）：60%</p> <p>中間・期末試験：40%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>ラジオやネットなどで英語のニュースを理解すること。</p> <p>生活の中で必要とされる時、英語を活用できる。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-奥間 隆伸 [全学科 (全学年)]	1年	ptt059@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>基本的な英語の運用能力向上を授業の目的とします。教科書を中心に特に「読む」事や「書く」事に関連した様々な形での学習を行う。「読む」活動では幅広い話題に関連した300語程度の英文の精読（時には音読も）をし、リーディング力の養成をする。「書く」事に関しては文法、語彙、表現を段階的に学び、ライティング力の養成に努める。又、簡単なリスニングも行う。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎英文法が理解できる。 2. 英語の基本表現が使用できる。 3. 300語程度の英文を読み（音読も含む）、理解できる。 4. 簡単な英文のリスニングができる。 5. 簡単な英文の文章が書ける。 	<p>授業の中でわからないことは、遠慮無く質問して下さい。自主的、意欲的な学習態度が必要です。英語を効果的に習得する鍵は皆さん自身が握っています。「間違いを恐れる」から「間違いから学ぶ」へ発想の転換し、基本的な英語を習得し、自分の世界をもっと広げていきましょう。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	Ch1 Fast Food: Nothing New under the Sun!	教科書Ch1を事前に読む
	3	Ch1 & Ch 2 Famous Dogs	教科書Ch1& Ch2を事前に読む
	4	Ch2	教科書Ch2を読む
	5	Ch3 When Was it Invented?	教科書Ch3を事前に読む
	6	Ch3 & Ch4 Never Give Up: Anti-Bullying Songs	教科書Ch3&Ch4を事前に読む
	7	Ch4	教科書Ch4を読む
	8	Ch5 The Migration of the Monarch Butterflies	教科書Ch5を事前に読む
	9	Ch5 & Ch6 New Foods from the New World	教科書Ch5& Ch6を事前に読む
	10	Ch6	教科書Ch6を読む
	11	Ch7 Foreign Language Study Makes You a Global Citizen	教科書Ch7読む
	12	Ch7 & Preparation for the Mid-term exam	中間試験対策をする
	13	中間試験 Chapter 1-7	中間試験対策をする
	14	Ch8 Isaac Lufkin: The Armless Football Player	教科書Ch8を事前に読む
	15	Ch8 & Ch9 Atlantis, the Lost Empire: Fact or Fiction?	教科書Ch8&Ch9を事前に読む
	16	Ch9	教科書Ch9を読む
	17	Ch10 Pope Francis: A New Kind of Pope	教科書Ch10を事前に読む
	18	Ch10 & Ch11 The Power of Meditation	教科書Ch10&Ch11を事前に読む
	19	Ch11	教科書Ch11を読む
	20	Watching a DVD (Writing an essay)	DVDに関連した資料チェック
	21	Watching a DVD (Writing an essay) & Ch12 Sedona: Harmony with Nature	教科書Ch12を事前に読む
	22	Ch12	教科書Ch12を事前に読む
	23	Ch12 & Ch13 Malala: Champion of Education	教科書Ch12 & Ch13を事前に読む
	24	Ch13	教科書Ch13を事前に読む
	25	Ch14 Universities: Past, Present and Future	教科書Ch14を読む
	26	Ch14 & Ch15 Lighting up the Future	教科書Ch14 & Ch15を事前に読む
	27	Ch15	教科書Ch15を読む
	28	Other reading materials	リーディング教材を事前に読む
	29	Preparation for the Final Exam	期末試験対策をする
30	Final Exam (期末試験) Ch8-15	期末試験対策をする	
31	期末試験返却等(試験に関する講評・解説等)	期末試験の範囲を再度確認する	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Read Well, Write Better (2020年 第8刷) Joan McConnell, 武田修一、山内圭 成美堂 2,000円 (税別) を使用予定ですが、変更の可能性があります。変更がある場合は学生の皆さんにお伝えします。</p> <p>参考文献：プリントを随時使用する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業初日のオリエンテーションは非常に大切なので出席してください。 2. 積極的に授業に参加してください。自主的、意欲的な学習態度が必要です。 3. 総授業時数の3分の1以上（このクラスでは10回以上）を欠席すると大学の規定により成績評価は「不可」となります。 4. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。 5. 遅刻、私語、居眠り、授業に関係ない携帯電話の使用等は授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。
学 び の 実 践	<p>評価</p> <p>平常点（授業参加度）30%、宿題・課題（レポートなど）・小テスト30%、中間試験20%、期末試験20%の結果により総合的に評価する。総授業時数の3分の1以上（このクラスでは10回以上）を欠席すると大学の規定により、成績評価は「不可」となります。20分以上遅刻した場合には欠席とみなし、遅刻2回で欠席1回とみなします。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>この授業で学習した基本的な英語運用能力（特にリーディングとライティング）を実生活や専門科目で応用できることを目指して欲しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-奥間 隆伸 [法律・地行]	2年	ptt059@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>基本的な英語の運用能力向上を授業の目的とします。教科書を中心に特に「読む」事や「書く」事に関連した様々な形での学習を行う。「読む」活動では幅広い話題に関連した300語程度の英文の精読（時には音読も）をし、リーディング力の養成をする。「書く」事に関しては文法、語彙、表現を段階的に学び、ライティング力の養成に努める。又、簡単なリスニングも行う。</p>	<p>授業の中でわからないことは、遠慮なく質問して下さい。自主的意欲的な学習態度が必要です。英語を効果的に習得する鍵は皆さん自身が握っています。「間違いを恐れる」から「間違いから学ぶ」へ発想の転換し、基本的な英語を習得し、自分の世界をもっと広げていきましょう。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎英文法が理解できる。 2. 英語の基本表現が使用できる。 3. 300語程度の英文を読み（音読も含む）、理解できる。 4. 簡単な英文のリスニングができる。 5. 簡単な英文の文章が書ける。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	Ch1 Fast Food: Nothing New under the Sun!	教科書Ch1を事前に読む
	3	Ch1 & Ch 2 Famous Dogs	教科書Ch1&Ch2を事前に読む
	4	Ch2	教科書Ch2を事前に読む
	5	Ch3 When Was it Invented?	教科書Ch3を事前に読む
	6	Ch3 & Ch4 Never Give Up: Anti-Bullying Songs	教科書Ch3&Ch4を事前に読む
	7	Ch4	教科書Ch4を事前に読む
	8	Ch5 The Migration of the Monarch Butterflies	教科書Ch5を事前に読む
	9	Ch5 & Ch6 New Foods from the New World	教科書Ch5&Ch6を事前に読む
	10	Ch6	教科書Ch6を読む
	11	Ch7 Foreign Language Study Makes You a Global Citizen	教科書Ch7を事前に読む
	12	Ch7 & Preparation for the Mid-term exam	中間試験対策をする
	13	中間試験 Chapter1-7	中間試験対策をする
	14	Ch8 Isaac Lufkin: The Armless Football Player	教科書Ch8を事前に読む
	15	Ch8 & Ch9 Atlantis, the Lost Empire: Fact or Fiction?	教科書Ch8&Ch9を事前に読む
	16	Ch9	教科書Ch9を読む
	17	Ch10 Pope Francis: A New Kind of Pope	教科書Ch10を事前に読む
	18	Ch10 & Ch11 The Power of Meditation	教科書Ch10&Ch11を事前に読む
	19	Ch11	教科書Ch11を読む
	20	Watching a DVD (Writing an essay)	DVDに関連した資料チェック
	21	Watching a DVD (Writing an essay) & Ch12 Sedona: Harmony with Nature	教科書Ch12を事前に読む
	22	Ch12	教科書Ch12を事前に読む
	23	Ch12 & Ch13 Malala: Champion of Education	教科書Ch12 & Ch13を事前に読む
	24	Ch13	教科書Ch13を事前に読む
	25	Ch14 Universities: Past, Present and Future	教科書Ch14を読む
	26	Ch14 & Ch15 Lighting up the Future	教科書Ch14 & Ch15を事前に読む
	27	Ch15	教科書Ch15を読む
	28	Other reading materials	リーディング教材を事前に読む
	29	Preparation for the Final Exam	期末試験対策をする
30	Final Exam (期末試験) Ch8-15	期末試験対策をする	
31	期末試験返却等(試験に関する講評・解説等)	期末試験の範囲を再度確認する	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Read Well, Write Better (2020年 第8刷) Joan McConnell, 武田修一、山内圭 成美堂 2,000円 (税別) を使用予定ですが、変更の可能性があります。変更がある場合は学生の皆さんにお伝えします。</p> <p>参考文献：プリントを随時使用する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業初日のオリエンテーションは非常に大切なので出席してください。 2. 積極的に授業に参加してください。自主的、意欲的な学習態度が必要です。 3. 総授業時数の3分の1以上（このクラスでは10回以上）を欠席すると大学の規定により成績評価は「不可」となります。 4. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。 5. 遅刻、私語、居眠り、授業に関係ない携帯電話の使用等は授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。
学 び の 継 続	<p>評価</p> <p>平常点（授業参加度）30%、宿題・課題（レポートなど）・小テスト30%、中間試験20%、期末試験20%の結果により総合的に評価する。総授業時数の3分の1以上（このクラスでは10回以上）を欠席すると大学の規定により、成績評価は「不可」となります。20分以上遅刻した場合には欠席とみなし、遅刻2回で欠席1回とみなします。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>この授業で学習した基本的な英語運用能力（特にリーディングとライティング）を実生活や専門科目で応用できることを目指して欲しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-親泊 かおり [法律・地行]	2年	ZOOMにて個別に対応 または musakaori8@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>本講義においては、アメリカの3大ネットワークの一つ、CBS看板ニュース報道番組の”CBS Evening New”と”CBS This Morning”の中で取り上げられた様々なニュースをもとに講義を行う。アメリカの家庭でアメリカ人が実際に見ている生の新しいニュースを視聴することで、英語をより身近なものとして感じ、英語に対する興味を高めながら、英語を学んでいくことに焦点を当てます。</p>	<p>授業は、すべて遠隔になります。講義では英文の全体の構造を意識しながら英文の大意をつかむ練習をします。英文を返り読みすることなしに、意味の切れ目ごとに、左から右へと読んでいく練習を重ねる事により、英文を速く読む訓練をします。同時に毎週各ユニットのモデル英文を暗誦する事により基礎的ライティング能力を養成します。</p>
到達目標	<p>①英語を正しく聞き取ることができる。 ②英文を正しく読み取ることができる ③自分自身の考えていることを平易な英語で伝えることができる</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	(特) ガイダンス	
	2	(特) ガイダンス：文法基礎 サイトトランスレーション・スラッシュリーディングについて	
	3	(特) UNIT1 What's for Lunch? In Japanese Schools It's Always Healthy	UNIT 予習および復習
	4	(特) UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	5	(特) UNIT2 BYOB: California Bans Single-Use Plastic Bags	UNIT 予習および復習
	6	(特) UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	7	(特) UNIT3 How a Dog Can Improve Your Health	UNIT 予習および復習
	8	(特) UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	9	(特) UNIT4 The Shoe That Grows: Expandable Shoes Aim to Keep Up with Kids' Growing Feet	UNIT 予習および復習
	10	(特) UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	11	(特) UNIT5 "Cat Library" Offers Purrfect Solution to Stress	UNIT 予習および復習
	12	(特) UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	13	(特) UNIT6 The Evolution of Comic Books in the Digital Age	UNIT 予習および復習
	14	(特) UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	15	(特) UNIT7 Can Drinking Soda Make You Age Faster?	UNIT 予習および復習
	16	(特) UNIT まとめ 小テスト	UNIT まとめ 小テスト
	17	(特) UNIT8 What You Like on Facebook Could Affect Your Job Search	UNIT まとめ 小テスト
	18	(特) UNIT まとめ 小テスト	UNIT まとめ 小テスト
	19	(特) UNIT9 Is Sitting the New Smoking?	UNIT まとめ 小テスト
	20	(特) UNIT まとめ 小テスト	UNIT まとめ 小テスト
	21	(特) UNIT10 Matcha Madness Sparks New Tea Craze	UNIT まとめ 小テスト
	22	(特) UNIT まとめ 小テスト	UNIT まとめ 小テスト
	23	(特) UNIT11 Daddy Duty: Stay-at-Home Dads Putting Kids Before Careers	UNIT まとめ 小テスト
	24	(特) UNIT まとめ 小テスト	UNIT まとめ 小テスト
	25	(特) UNIT12 One Man's Long Journey to Help a Stranger Walk Again	UNIT まとめ 小テスト
	26	(特) UNIT まとめ 小テスト	UNIT まとめ 小テスト
	27	(特) UNIT13 Slurping to Success: A Look into the Growing American Ramen Culture	UNIT まとめ 小テスト
	28	(特) UNIT まとめ 小テスト	UNIT まとめ 小テスト
	29	(特) UNIT14 Peddling Pedaling: Bikes Become the Latest Peer-to-Peer Success Story	UNIT まとめ 小テスト
30	(特) UNIT まとめ 小テスト	UNIT まとめ 小テスト	
31	(特) 期末テスト		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など CBS News Break 3 SEIBIDOU</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 毎回講義で配布する講義連絡を必ず参照。 講義はZOOMまたは講義連絡にて配布。</p>
	<p>評価 ①小テスト 40% ②期末テスト 40% ③宿題および講義参加率 20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 本講義で習得した英語の基本的技能を用いて、英語で発信されている様々な情報に関心をもち、国際的視野に立って自分の意見を英語でまとめられるようになる。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-宮城 和文 [全学科 (全学年)]	1年	ptt758@okiu.ac.jp 件名に「英語IV・氏名」の明記を忘れずに!	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<ul style="list-style-type: none"> 前期「英語Ⅲ」の発展コースとして、skimming, scanning, making inferencesなどのReading Skillsの向上をめざす。 各章のトピックに関するプラスαの情報をグループ/ペアで調べ、エッセイの読後感と合わせてクラスで紹介(プレゼン)し、扱われている題材の理解深化をはかる。 三行日記に取組み、継続的に一定量の英作文になれる。 	<p>★正当な理由なく初回講義を欠席しないこと。★遠隔講義に移行せざるを得ない場合に備え、日ごろから本学ポータル, Gmail, Moodleへアクセスし、情報を確認する習慣を身に付けておきましょう。★外国語の習得に近道はありません。日々の積み上げが大切です。真剣な中にも、楽しく学んでいける環境作りを心がけますので、みなさんの積極的な授業参加を期待しています。</p>

到達目標	<p>(1) 比較的長めの英文エッセイであっても躊躇せず読み通すことができる。</p> <p>(2) グループで演習問題の解説および教科書エッセイの読後感について、短い文章にまとめクラスで発表することができる。</p> <p>(3) 三行日記(3-line Diary)を学期中、毎日書き留めることができる。</p> <p>(4) 毎週実施するクイズで8割以上の正答率をめざし、語彙表現力増強に努める。</p>
------	---

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画	テーマ	時間外学習の内容
	回		
	1	Course Introduction	Fully understand the syllabus
	2	Chapter 01-1: Age, Status, and Family -Vocabulary Check, Exercise A	Textbook Work, Three-line Diary
	3	Chapter 01-2 Exercises B and C / Quiz 01	Textbook Work, Three-line Diary
	4	Chapter 02-1: Politeness -Vocabulary Check, Exercise A	Textbook Work, Three-line Diary
	5	Chapter 02-2 Exercises B and C / Quiz 02	Textbook Work, Three-line Diary
	6	Chapter 03-1: Feedback -Vocabulary Check, Exercise A	Textbook Work, Three-line Diary
	7	Chapter 03-2 Exercises B and C / Quiz 03	Textbook Work, Three-line Diary
	8	Chapter 04-1: Rituals -Vocabulary Check, Exercise A	Textbook Work, Three-line Diary
	9	Chapter 04-2 Exercises B and C / Quiz 04	Textbook Work, Three-line Diary
	10	Chapter 05-1: Titles -Vocabulary Check, Exercise A	Textbook Work, Three-line Diary
	11	Chapter 05-2 Exercises B and C / Quiz 05	Textbook Work, Three-line Diary
	12	Chapter 06-1: Modesty -Vocabulary Check, Exercise A	Textbook Work, Three-line Diary
	13	Chapter 06-2 Exercises B and C / Quiz 06	Textbook Work, Three-line Diary
	14	Chapter 07-1: Heart-to-Heart Communication -Vocabulary Check, Exercise A	Textbook Work, Three-line Diary
	15	Chapter 07-2 Exercises B and C / Quiz 07	Textbook Work, Three-line Diary
	16	Midterm Examination	Review, Three-line Diary
	17	Chapter 08-1: Face-to-Face Communication -Vocabulary Check, Exercise A	Textbook Work, Three-line Diary
	18	Chapter 08-2 Exercises B and C / Quiz 08	Textbook Work, Three-line Diary
	19	Chapter 09-1: Proverbs -Vocabulary Check, Exercise A	Textbook Work, Three-line Diary
	20	Chapter 09-2 Exercises B and C / Quiz 09	Textbook Work, Three-line Diary
	21	Chapter 10-1: Idioms -Vocabulary Check, Exercise A	Textbook Work, Three-line Diary
	22	Chapter 10-2 Exercises B and C / Quiz 10	Textbook Work, Three-line Diary
	23	Chapter 11-1: Textbook Language -Vocabulary Check, Exercise A	Textbook Work, Three-line Diary
	24	Chapter 11-2 Exercises B and C / Quiz 11	Textbook Work, Three-line Diary
	25	Chapter 13-1: Politically Correct Language -Vocabulary Check, Exercise A	Textbook Work, Three-line Diary
	26	Chapter 13-2 Exercises B and C / Quiz 12	Textbook Work, Three-line Diary
	27	Chapter 14-1: Pronunciation -Vocabulary Check, Exercise A	Textbook Work, Three-line Diary
	28	Chapter 14-2 Exercises B and C / Quiz 13	Textbook Work, Three-line Diary
	29	Chapter 16-1: Reflections of Language and Culture -Vocabulary Check, Exercise A	Textbook Work, Three-line Diary
30	Chapter 16-2 Exercises B and C / Quiz 14	Textbook Work, Three-line Diary	
31	Final Examination	Review last half of the course	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>★教科書：How Culture Affects Communication-英米人の考え方、日本人の考え方, Paul Stapleton著, 金星堂出版, ¥1,400+税。テキストは全受講生必携です！学内書店にて手に入れ講義にのぞむこと。 ★授業中は、紙媒体、電子版を問わないが、大学生レベルの英和及び英英辞書を少なくとも一種類、常に使える状態で備え適時活用すること。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>★グループ学習の機会が多くなります。オープンに意見の交換ができる雰囲気づくりにつとめましょう。加えて、クラス外でもコミュニケーションがスムーズにとれる環境を整えましょう。 ★遠隔講義移行時に必要になる上記オンラインツールについては、安定したアクセス及び操作方法を身に付けておくこと。技術的な問題で困ったときは、5号館1階コンピュータ管理室:kanrisitsu@okiu.ac.jpまたは、サポート窓口:電話098-943-0655、メールrts@okiu.ac.jpにたずねること。</p>
	<p>評価</p> <p>①Examinations-30% ②Quizzes-30% ③Three-line Diary-20% ④Chapter Contributors-10%, ⑤In-Class Contributions-10% ※重要！単位取得には、①～⑤のすべての課題に取り組んでいることが必須。 ※遠隔講義に移行せざるを得ない状況になったときは、評価基準に変更を加えることがある</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>扱われているトピックの背景的知識を深めるために、新聞等の報道メディアに日ごろから積極的にふれておきましょう。また、Iネットなどを活用し、題材に関連した情報を収集・整理しておくことより効果的な講読活動につながるでしょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 淳子 [法律・地行]	2年	授業の初日に講座案内を配布します(メールアドレスも記載されています)	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>様々なITメディアが発達した今日、英語で書かれた文献を理解し、外国の研究者と接点を持つことは実現可能である。又英語力があれば最新のデータや最先端の研究を活用することができる。しかし、実用的な英語力を身に着けるには、英文独特の文章構造やスタイルを学び、様々な読み物を多読、熟読し、論理的思考、クリティカル思考を鍛え自分の考えを英語で発信するトレーニングが必要。</p> <p>到達目標 英文の読解力や文章力を養成する事を主目的とする。物語をチャプターごとに購読、分析、そしてディスカッションすることで自然に英語の文章に馴染む。又エッセイの書き方のノウハウを学び毎週英作文の課題を提出する。文章の基本構造、テーマ等を意識しつつ、内容を論理的に把握し分析する力を身に着け、ディスカッションやプレゼンテーションを通して文章をより深く理解し表現する力を強化する。</p>	<p>基本的テキストとして購読用(「星の王子さま」の英語版)、英作文用の2冊購入が必要。各チャプターのテーマに沿ってディスカッションを活性化させるため様々な追加資料を配布、ビデオクリップや著名人のトークを視聴する。個人、グループ、クラス全体で対話し考える講座。Speaking に自信のある方、又は英語による発信力を高めるのに興味のある方、ぜひご参加ください。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	講義形式説明(基本遠隔授業、対面授業は10/2, 11/6, 12/4, 1/5, 2/5 に5号館314号室にて)	シラバス熟読
	2	The Little Prince (TLP) reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	3	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	4	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	5	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	6	Test 1/ TLP reading	テキスト復習
	7	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	8	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	9	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	10	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	11	Test 2/ TLP reading	テキスト復習
	12	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	13	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	14	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	15	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	16	Test 3/ TLP reading	テキスト復習
	17	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	18	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	19	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	20	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	21	Test 4/ TLP reading	テキスト復習
	22	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	23	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	24	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	25	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	26	Test 5/ TLP reading	テキスト復習
	27	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	28	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	29	The TLP final presentation group 1	プレゼン準備
30	The TLP final presentation group 2	プレゼン準備	
31	Evaluation	なし	

	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>“基本テキストとして、“The Little Prince”を各自購入する事（初日に説明）。基本テキスト以外にも読み物や資料配布予定。”</p>
<p>学 び の 実 践</p>	<p>学びの手立て</p> <p>“1対象：英検準2級～英検2級程度（英語でのやり取りが基本） 2. 授業を休む場合はやむを得ない事情以外は必ず事前に連絡する事（出席率も評価の対象となりますので注意してください） 3. 期末試験以外に、定期試験を4回程予定しています（認められた理由以外の欠席者は再試験受験不可） 4. 研究ノートを仕上げ毎回提出する（期末最終評価のウェイトが大きい課題です） 5. 定期試験対策として、毎回の授業後に復習時間最低1時間必要です（音読、新単語） 6. 頻繁な遅刻や、授業態度（私語やいねむり）の悪い生徒は退室をお願いする場合がありますので注意” *授業初日に重要な情報を発表します（初日の参加必須！）”</p>
	<p>評価</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. エッセイ提出（6回程度）20% 2. 単語テスト（10回程度）20% 3. 中間プレゼンテーション 20% 4. 期末プレゼンテーション 20% 5. ディスカッションへの貢献、態度、提出物 20%
<p>学 び の 継 続</p>	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次のステップとして、英語のエッセイのクラスで書く力を伸ばすことが望ましい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語V	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	津波 聡 [全学科]	1年	satoshi@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい Listening, Speaking, Reading, Writing活動を通して、総合的な英語力の向上を目指します。	メッセージ 積極的に英語を使い運用能力の向上に努めよう。 【実務経験】中学校教諭としての現場経験を活かして、4技能を総合的に鍛える言語活動を提供します。
	到達目標 英検2級レベル以上の英語運用力	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	(対) Orientation	
	2	(対) Proficiency Test, Speaking 1	Grammar & Vocabulary Drills 1
	3	(対) Reading 1	Grammar & Vocabulary Drills 1
	4	(対) Reading 2	Grammar & Vocabulary Drills 1
	5	(対) Grammar & Vocabulary Quiz 1, Listening 1	Grammar & Vocabulary Drills 1
	6	(対) Reading 4	Worksheets Review
	7	(対) Reading 5	Worksheets Review
	8	(対) Review Quiz 1, Speaking & Writing 1	Grammar & Vocabulary Drills 2
	9	(対) Reading 5	Grammar & Vocabulary Drills 2
	10	(対) Reading 6	Grammar & Vocabulary Drills 2
	11	(対) Grammar & Vocabulary Quiz 2, Listening 2	Worksheets Review
	12	(対) Reading 7	Worksheets Review
	13	(対) Reading 8	Worksheets Review
	14	(対) Review Quiz 2, Speaking & Writing 2	Grammar & Vocabulary Drills 3
	15	(対) Reading 9	Grammar & Vocabulary Drills 3
	16	(対) Reading 10	Grammar & Vocabulary Drills 3
	17	(対) Grammar & Vocabulary Quiz 3, Listening 3	Worksheets Review
	18	(対) Reading 11	Worksheets Review
	19	(対) Reading 12	Worksheets Review
	20	(対) Review Quiz 3, Speaking & Writing 3	Grammar & Vocabulary Drills 4
	21	(対) Reading 13	Grammar & Vocabulary Drills 4
	22	(対) Reading 14	Grammar & Vocabulary Drills 4
	23	(対) Grammar & Vocabulary Quiz 4, Listening 4	Worksheets Review
	24	(対) Reading 15	Worksheets Review
	25	(対) Reading 16	Vocabulary Drills
	26	(対) Review Quiz 4, Speaking & Writing 4	Grammar & Vocabulary Drills 5
	27	(対) Reading 17	Grammar & Vocabulary Drills 5
	28	(対) Reading 18	Grammar & Vocabulary Drills 5
	29	(対) Grammar & Vocabulary Quiz 5, Listening 5	Worksheets Review
30	(対) Review Quiz 5, Speaking & Writing 5	Worksheets Review	
31	(対) Review, Final Test		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など オリジナル教材を配布します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て (1) 授業外ドリルを活用し英語学習を継続する習慣を身につけよう。 (2) 授業では積極的に英語を使おう。</p>
	<p>評価 授業参加・・・・・・・・・・・・・30% クイズ・・・・・・・・・・・・・50% 提出物・・・・・・・・・・・・・20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 English VI～VIII</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語V	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	山川 満夫[全学科]	1年	myamakawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい ペア活動を中心にしながら、英検2級レベルの総合的な英語力の向上を目指すと共に、オーラルコミュニケーションの育成の指導にも力を入れる。	メッセージ 総合的な英語力を高め、英検2級の取得を目指したい人は、一緒に勉強しましょう。
	到達目標 ・英検2級レベルの総合的な英語力の育成を目指す。 ・英語による自己表現力の向上を図る。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation	よくシラバスを読むこと
	2	Quiz, Grammar & Listening (1)	文で覚える単熟語 (1)
	3	Quiz, Grammar & Listening (2)	文で覚える単熟語 (2)
	4	Quiz, Grammar & Listening (3)	文で覚える単熟語 (3)
	5	Quiz, Grammar & Listening (4)	文で覚える単熟語 (4)
	6	Quiz, Grammar & Listening (5)	文で覚える単熟語 (5)
	7	Quiz, Grammar, Listening & Reading (1)	文で覚える単熟語 (6)
	8	Quiz, Grammar, Listening & Reading (2)	文で覚える単熟語 (7)
	9	Quiz, Grammar, Listening & Reading (3)	文で覚える単熟語 (8)
	10	Quiz, Grammar, Listening & Reading (4)	文で覚える単熟語 (9)
	11	Quiz, Grammar, Listening & Reading (5)	文で覚える単熟語 (10)
	12	Quiz, Grammar, Listening & Reading (6)	文で覚える単熟語 (11)
	13	Quiz, Grammar, Listening & Reading (7)	文で覚える単熟語 (12)
	14	Quiz, Grammar, Listening & Reading (8)	文で覚える単熟語 (13)
	15	Quiz, Grammar, Listening & Reading (9)	文で覚える単熟語 (14)
	16	これまでのまとめと復習	これまでの総復習をすること
	17	Quiz, Grammar, Listening & Reading (10)	文で覚える単熟語 (15)
	18	Quiz, Grammar, Listening & Reading (11)	文で覚える単熟語 (16)
	19	Quiz, Grammar, Listening & Reading (12)	文で覚える単熟語 (17)
	20	Quiz, Grammar, Listening & Reading (13)	文で覚える単熟語 (18)
	21	Quiz, Grammar, Listening & Reading (14)	文で覚える単熟語 (19)
	22	Quiz, Grammar, Listening & Reading (15)	文で覚える単熟語 (20)
	23	オーラルプレゼンテーション	スピーチ原稿の作成
	24	Quiz, Grammar, Listening & Reading (16)	文で覚える単熟語 (21)
	25	Quiz, Grammar, Listening & Reading (17)	文で覚える単熟語 (22)
	26	Quiz, Grammar, Listening & Reading (18)	文で覚える単熟語 (23)
	27	Quiz, Grammar, Listening & Reading (19)	文で覚える単熟語 (24)
	28	Quiz, Grammar, Listening & Reading (20)	文で覚える単熟語 (25)
29	Quiz, Grammar, Listening & Reading (21)	文で覚える単熟語 (26)	
30	Quiz, Grammar, Listening & Reading (22)	これまでの総復習をすること	
31			

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英検 2 級 文で覚える単熟語 (旺文社) 2. 参考書等をオリエンテーションの時間に連絡する。
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義への出欠確認は、毎回厳格に行うので、やむを得ず欠席する場合には、事前にメールで連絡すること。 ・ ペア学習をよく取り入れるので、積極的な態度で臨むように心がけること。 ・ 講義時間以外にも、Quizの準備等、英語学習に積極的に取り組むこと。
	<p>評価</p> <p>単語クイズ (25%)、オーラルプレゼンテーション (15%)、単元まとめクイズ (20%×3回) の結果を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>この講義で学んだことを活かし、英検準 1 級レベルの学習をする英語VIや、より高度な英語VII、英語VIIIを履修してほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語VI	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	大城 明子[全学科]	1年	akooshiro@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 4技能の活動を通して英検準一級程度の力を習得できよう様々な学習を通して、学習者が自ずから学び向上、成長できるようにするのが本科目の狙いである。	メッセージ 本科目では、英検準1級レベルの英語力養成を目的としています。当該試験の内容把握と練習問題に取り組むほか、受講生の総合英語力を上げながらも、弱点を補強する様々な取り組みを行います。英語学習方法は多種多様であることを念頭に、1学期間これらの取り組みを積極的に行いながら本科目終了後に自ら学ぶ力をつけるように、ともに挑戦していきましょう！
	到達目標 英語準1級レベルの英語総合力をつける。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	<特> オリエンテーション (テキスト案内、注意事項等)	テキスト購入と自己学習ノート準備
	2	<特> 英語力把握と 自己学習計画作成 他	学習計画作成仕上げ
	3	<特> 語彙1 他	テキスト復習と予習
	4	<特> 読解1-1 他	テキスト復習と予習
	5	<特> 読解1-2 他	テキスト復習と予習
	6	<特> 読解1-3 他	テキスト復習と予習
	7	<特> 読解1-4 他	テキスト復習と予習
	8	<特> 読解1-5 他	テキスト復習と予習
	9	<特> Writing 1-1	テキスト復習と予習
	10	<特> Writing 1-2	テキスト復習と予習
	11	<特> リスニング1-1 他	テキスト復習と予習
	12	<特> リスニング1-2 他	テキスト復習と予習
	13	<特> リスニング1-3 他	テキスト復習と予習
	14	<特>リスニング1-4 他	テキスト復習と予習
	15	<特>リスニング1-5 他	テキスト復習と予習
	16	<特> 前半調整と振り返り, 自己学習計画振り返り1	振り返り仕上げと学習計画確認
	17	<特> 語彙2 他	テキスト復習と予習
	18	<特> 読解2-1 他	テキスト復習と予習
	19	<特> 読解2-2 他	テキスト復習と予習
	20	<特> 読解2-3 他	テキスト復習と予習
	21	<特> 読解2-4 他	テキスト復習と予習
	22	<特> 読解2-5 他	テキスト復習と予習
	23	<特> Writing 2-1	テキスト復習と予習
	24	<特> Writing 2-2	テキスト復習と予習
	25	<特> リスニング2-1 他	テキスト復習と予習
	26	<特> リスニング2-2 他	テキスト復習と予習
	27	<特> リスニング2-3 他	テキスト復習と予習
	28	<特> リスニング2-4 他	テキスト復習と予習
	29	<特> リスニング2-5 他	テキスト復習と予習
	30	<特> 後半調整と振り返り, 自己学習計画振り返り2	後半の振り返り
31	<特> 自己学習ノート提出	英語VIの振り返り	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>本科目で用いるテキストについてはオリエンテーションで紹介しますので必ず購入してください。他の資料等は必要時に配布します。講義内や講義外での学習を記す英語VIノートを準備してください。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>本科目の英検準1級養成では、地道に学び英語力を習得をしていくことが大切である。本講義を土台として活用しながら授業内外で自主的に学びつづけていく力をみにつけていきましょう。</p>
	<p>評価</p> <p>Quiz50%, Writing提出判定(2回)30%、学習ノート20% の合計から 遅刻、欠席、態度不良、提出物おくれ等の減点をひいた最終合計を大学規則にそった成績評価となる。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次のステージとしては、英語VII（おもにTOEIC高得点取得を目指した英語総合力養成）や英語VIII（おもにTOEFL高得点取得を目指した英語総合力養成）で、速さ、複雑さを伴う英語への対応をこなせる力を培うことをすすめる。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語VI	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	山川 満夫[全学科]	1年	myamakawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい ペア活動を中心にしながら、英検準1級レベルの総合的な英語力の向上を目指すと共に、オーラルコミュニケーションの育成にも力を入れる。	メッセージ ・総合的な英語力を高め、英検準1級の取得を目指す人は、一緒に勉強しましょう。 ・登録条件として、英検2級取得者かまたは同等の英語力がある者となります。
	到達目標 ・英検準1級レベルの総合的な英語力の育成を目指す。 ・英語によるコミュニケーション能力の向上を図る。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスに読んでおく
	2	Quiz, Speaking, Grammar & Listening (1)	文で覚える単熟語 (1)
	3	Quiz, Speaking, Grammar & Listening (2)	文で覚える単熟語 (2)
	4	Quiz, Speaking, Grammar & Listening (3)	文で覚える単熟語 (3)
	5	Quiz, Speaking, Grammar & Listening (4)	文で覚える単熟語 (4)
	6	Quiz, Speaking, Grammar & Listening (5)	文で覚える単熟語 (5)
	7	Quiz, Speaking, Grammar & Listening (6)	文で覚える単熟語 (6)
	8	Quiz, Speaking, Grammar & Listening (7)	文で覚える単熟語 (7)
	9	Quiz, Speaking, Grammar & Listening (8)	文で覚える単熟語 (8)
	10	Quiz, Speaking, Grammar, Listening & Reading (1)	文で覚える単熟語 (9)
	11	Quiz, Speaking, Grammar, Listening & Reading (2)	文で覚える単熟語 (10)
	12	Quiz, Speaking, Grammar, Listening & Reading (3)	文で覚える単熟語 (11)
	13	Quiz, Speaking, Grammar, Listening & Reading (4)	文で覚える単熟語 (12)
	14	Quiz, Speaking, Grammar, Listening & Reading (5)	文で覚える単熟語 (13)
	15	Quiz, Speaking, Grammar, Listening & Reading (6)	文で覚える単熟語 (14)
	16	これまでのまとめと復習	これまでの復習をすること
	17	Quiz, Speaking, Grammar, Listening & Reading (7)	文で覚える単熟語 (15)
	18	Quiz, Speaking, Grammar, Listening & Reading (8)	文で覚える単熟語 (16)
	19	Quiz, Speaking, Grammar, Listening & Reading (9)	文で覚える単熟語 (17)
	20	Quiz, Speaking, Grammar, Listening & Reading (10)	文で覚える単熟語 (18)
	21	Quiz, Speaking, Grammar, Listening & Writing (1)	文で覚える単熟語 (19)
	22	Quiz, Speaking, Grammar, Listening & Writing (2)	文で覚える単熟語 (20)
	23	Quiz, Speaking, Grammar, Listening & Writing (3)	文で覚える単熟語 (21)
	24	Quiz, Speaking, Grammar, Listening & Writing (4)	文で覚える単熟語 (22)
	25	Quiz, Speaking, Grammar, Listening & Writing (5)	文で覚える単熟語 (23)
	26	オーラルプレゼンテーション	スピーチ原稿の作成
	27	Quiz, Speaking, Grammar, Listening & Writing (6)	文で覚える単熟語 (24)
	28	Oral communication & Learning English through watching movies (1)	文で覚える単熟語 (25)
29	Oral communication & Learning English through watching movies (2)	文で覚える単熟語 (26)	
30	Oral communication & Learning English through watching movies (3)	これまでの総復習をすること	
31		同上	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英検準1級文で覚える単熟語 2. 参考書などをオリエンテーションの時間に連絡する。
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義への出欠確認は、毎回厳格に行うので、やむを得ず欠席する場合は、メールで連絡すること。 ・ペア学習をよく取り入れるので、積極的な態度で臨むように心がけること。 ・講義時間外にも、Quizの準備等、英語学習に積極的に取り組むこと。
	<p>評価</p> <p>①単語テスト（25%）、②オーラルプレゼンテーション（15%）、③単元まとめクイズ（20%×3回）、の結果を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>この講義で学んだことを活かし、より高度な英語Ⅶや英語Ⅷを受講してほしい。</p>

※ポリシーとの関連性 「キャリア形成に役立つ、実践的でより高度な英語力の向上を図るため、それに沿った学習方法を学び、実践する。」

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅶ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	上原 千登勢 [全学科]	1年	c.uehara@okiu.ac.jp 9号館502号室	

学びの準備	ねらい TOEICの教材を用いて英語力を身につけ、同時に就職にも有利な資格(スコア)の取得を目指す。また、自分にあった英語学習方法を見つけ、自立した学習者となることを目標とする。	メッセージ 【実務経験】外資・グローバル企業での英語・TOEIC講師経験を活かし、学生の皆さんが目標スコアを獲得できるようお手伝いします。講師自ら990点(満点)を取得しており、ほぼ毎回受験しているため分析・解説・アドバイスはお任せください。一緒に「TOEICまみれ」になりましょう！
	到達目標 ・公開テストで50～100点以上スコアアップを目指す。 ・TOEICの教材を用いて、総合的な英語力をつける。 ・TOEICテストを用いて、自分の英語力を分析し、学習に活かすことができる。 ・学習を継続し、学習課題を自身で見つけ、自立した学習者になる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション TOEICとは？(1)	シラバスを読む
	2	TOEIC Part 別 分析・解説	TOEICの試験形式と内容を復習する
	3	TOEIC模試 Listening Section	Listening採点、スコア提出
	4	TOEIC模試 Reading Section	Reading採点、スコア提出
	5	模試結果分析・解説	Part 2予習、「やる単」Unit 1
	6	Listening Part 2	Part 2復習、「やる単」Unit 1
	7	Listening Part 2	Part 2復習、「やる単」Unit 2
	8	Listening Part 2 (まとめ・小テスト)	Part 5予習、「やる単」Unit 2
	9	Reading 問題のアプローチ方法、Part 5 イントロ	Part 5復習、「やる単」Unit 3
	10	Reading Part 5 (品詞問題)	Part 5復習、「やる単」Unit 3
	11	Reading Part 5 (品詞問題)	Part 5復習、「やる単」Unit 4
	12	Reading Part 5 (品詞問題・まとめ、小テスト)	Part 5復習、「やる単」Unit 4
	13	Reading Part 5 (動詞問題)	Part 5復習、「やる単」Unit 5
	14	Reading Part 5 (語彙問題)	Part 5復習、「やる単」Unit 5
	15	Reading Part 5 (その他の問題)	Part 5復習、「やる単」Unit 6
	16	Reading Part 5 (まとめ・小テスト)	Part 2&5復習、「やる単」Unit 6
	17	Listening Part 2 & Reading Part 5 (まとめ・小テスト)	Part 1予習、「やる単」Unit 7
	18	Listening Part 1	Part 1復習、「やる単」Unit 7
	19	Listening Part 1	Part 6 予習、「やる単」Unit 8
	20	Reading Part 6	Part6 復習、「やる単」Unit 8
	21	Reading Part 6 (文章挿入型問題)	Part 7予習、「やる単」Unit 9
	22	Reading Part 7 (Chat・Single Passage)	Part 7復習、「やる単」Unit 9
	23	Reading Part 7 (Double Passage)	Part 7復習、「やる単」Unit 10
	24	Reading Part 7 (Triple Passage)	Part 7復習、「やる単」Unit 10
	25	Reading Part 7 (まとめ・小テスト)	Part 3予習「やる単」復習
	26	Listening Part 3	Part 4 予習「やる単」復習
	27	Listening Part 4	Part 3&4 復習「やる単」復習
	28	「やる単」Review Unit 1-5、Listening Part 3 & 4	Part 3&4復習「やる単」復習
	29	「やる単」Review Unit 6-10、Listening Part 3 & 4	全パート復習
30	直前対策・全パート試験	全パート復習	
31	TOEICフェスタ (振り返り)		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：①【音声DL】TOEIC(R) L&Rテスト 究極の模試600問+ (アルク) ②TOEIC(R)テストやたらと出る英単語クイックマスター、テッド寺倉&上原ちとせ共著 (アルク) *両方必要です。(朝野書房での販売はありませんのでAmazonや那覇ジュンク堂などの大型書店などで各自購入すること。)</p> <p>参考書：「CD-ROM付 TOEIC(R) L&Rテスト 直前の技術」ロバート・ヒルキ、相澤 俊幸、ヒロ前田 (著)</p> <p>*参考書は、必ずしも購入する必要は無いが、購入するのであれば最新版(2018年2月出版)を勧める。その他の参考書や資料は必要に応じて授業で紹介する。</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>【重要】受講希望者は必ず初日(オリエンテーション)に出席すること。出席できない場合は教員に事前に連絡すること。半年以内にTOEIC公開テスト受験予定の学生を優先する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に出席することは基本である。全体の1/3以上欠席した時点で単位は認められない。30分以上の遅刻を欠席、また2回の遅刻は1回の欠席とみなす。 ・ほぼ毎回単語クイズを行い、学習経過を確認するので予習、復習は自主的、かつ積極的に行うこと。 ・スタディグループを作り、授業以外でも定期的に学習する環境作りをすること。欠席した際、クラスメートより授業内容を教えてもらい、配布物を預かってもらうようにすること。 ・目標スコアを設定し、モチベーションを維持し、学習を継続すること。
	<p>評価</p> <p>①授業態度、授業への参加・積極性・貢献度(25%) ②課題(25%) ③小テスト&単語クイズ(25%) ④学習記録(Study Log)・個人目標達成度・Self Reflection(25%)を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>目標スコア取得後はさらに高得点を目指すか、英検などの他の資格を目指すかなど、今後の学習計画を立てると良い。英検は英語V、VI、留学を考えている学生はTOEFLを英語VIIIで受講できる。興味のある学生は海外インターンシップや海外留学などにも積極的にチャレンジし、英語を活用する機会を増やしてほしい。就活や将来を見据え現場で使える英語力を身につければ就活にも有利であり、仕事の選択の幅も広がるだろう。</p>

※ポリシーとの関連性 「キャリア形成に役立つ、実践的であり高度な英語力の向上を図るべく、それに沿った学習方法を学び、実践する。」

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅶ	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	上原 千登勢 [全学科]	1年	c.uehara@okiu.ac.jp 9号館502号室	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	TOEICの教材を用いて英語力を身につけ、同時に就職にも有利な資格(スコア)の取得を目指す。また、自分にあった英語学習方法を見つけ、自立した学習者となることを目標とする。	【実務経験】外資・グローバル企業での英語・TOEIC講師経験を活かし、学生の皆さんが目標スコアを獲得できるようお手伝いします。講師自ら990点(満点)を取得しており、ほぼ毎回受験しているので分析・解説・アドバイスはお任せください。一緒に「TOEICまみれ」になりましょう!
	到達目標	
	<ul style="list-style-type: none"> 公開テストで50~100点以上スコアアップを目指す。 TOEICの教材を用いて、総合的な英語力をつける。 TOEICテストを用いて、自分の英語力を分析し、学習に活かすことができる。 学習を継続し、学習課題を自身で見つけ、自立した学習者になる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション TOEICとは?	シラバスを読む
	2	TOEIC Part別 分析・解説	TOEICの試験形式と内容を復習する
	3	TOEIC模試 Listening Section	Listening採点、スコア提出
	4	TOEIC模試 Reading Section	Reading採点、スコア提出
	5	模試分析・解説	Part 2予習、「やる単」Unit 1
	6	Listening Part 2	Part 2復習、「やる単」Unit 1
	7	Listening Part 2	Reading予習、「やる単」Unit 2
	8	Listening Part 2 (まとめ・小テスト)	Part 5復習、「やる単」Unit 2
	9	Reading 問題のアプローチ方法、Part 5 イントロ	Part 5復習、「やる単」Unit 3
	10	Reading Part 5 (品詞問題)	Part 5復習、「やる単」Unit 3
	11	Reading Part 5 (品詞問題)	Part 5復習、「やる単」Unit 4
	12	Reading Part 5 (品詞問題・まとめ、小テスト)	Part 5復習、「やる単」Unit 4
	13	Reading Part 5 (動詞問題)	Part 5復習、「やる単」Unit 5
	14	Reading Part 5 (語彙問題)	Part 5復習、「やる単」Unit 5
	15	Reading Part 5 (その他の問題)	Part 5問題作成「やる単」Unit 6
	16	Reading Part 5 (まとめ・小テスト)	Part 2&5復習、「やる単」Unit 6
	17	Listening Part 2 & Reading Part 5 (まとめ・小テスト)	Part 1予習、「やる単」Unit 7
	18	Listening Part 1	Part 1復習、「やる単」Unit 7
	19	Listening Part 1	Part6 予習、「やる単」Unit 8
	20	Reading Part 6	Part6 復習、「やる単」Unit 8
	21	Reading Part 6 (文章挿入型問題)	Part 7予習、「やる単」Unit 9
	22	Reading Part 7 (チャット・シングルパッセージ)	Part 7復習、「やる単」Unit 9
	23	Reading Part 7 (ダブルパッセージ)	Part 7復習、「やる単」Unit 10
	24	Reading Part 7 (マルチプルパッセージ)	Part 7復習、「やる単」Unit 10
	25	Reading Part 7 (まとめ・小テスト)	Part 3&4 予習「やる単」復習
	26	Listening Part 3	Part 3復習「やる単」復習
	27	Listening Part 4	Part 3&4 復習「やる単」復習
	28	「やる単」Review Unit 1-5、Listening Part 3 & 4	Part 3&4復習「やる単」復習
	29	「やる単」Review Unit 6-10、Listening Part 3 & 4	全パート復習
30	直前対策・全パート復習	全パート復習	
31	TOEICフェスタ (振り返り)		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：①【音声DL】TOEIC(R) L&Rテスト 究極の模試600問+ (アルク) ②TOEIC(R)テストやたらと出る英単語クイックマスター、テッド寺倉&上原ちとせ共著 (アルク) *両方必要です。(朝野書房での販売はありませんのでAmazonや那覇ジュンク堂などの大型書店などで各自購入すること。)</p> <p>参考書：「CD-ROM付 TOEIC(R) L&Rテスト 直前の技術」ロバート・ヒルキ、相澤 俊幸、ヒロ前田 (著)</p> <p>*参考書は、必ずしも購入する必要は無いが、購入するのであれば最新版(2018年2月出版)を勧める。その他の参考書や資料は必要に応じて授業で紹介する。</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>【重要】受講希望者は必ず初日(オリエンテーション)に出席すること。出席できない場合は教員に事前に連絡すること。半年以内にTOEIC公開テスト受験予定の学生を優先する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に出席することは基本である。全体の1/3以上欠席した時点で単位は認められない。30分以上の遅刻を欠席、また2回の遅刻は1回の欠席とみなす。 ・ほぼ毎回単語クイズを行い、学習経過を確認するので予習、復習は自主的、かつ積極的に行うこと。 ・スタディグループを作り、授業以外でも定期的に学習する環境作りをすること。欠席した際、クラスメートより授業内容を教えてもらい、配布物を預かってもらうようにすること。 ・目標スコアを設定し、モチベーションを維持し、学習を継続すること。
	<p>評価</p> <p>①授業態度、授業への参加・積極性・貢献度(20%) ②課題・Study Log(20%) ③小テスト(20%) ④単語クイズ(20%) ⑤個人目標達成度・Self Reflection(20%)を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>目標スコア取得後はさらに高得点を目指すか、英検などの他の資格を目指すかなど、今後の学習計画を立てると良い。英検は英語V、VI、留学を考えている学生はTOEFLを英語VIIIで受講できる。興味のある学生は海外インターンシップや海外留学などにも積極的にチャレンジし、英語を活用する機会を増やしてほしい。就活や将来を見据え現場で使える英語力を身につければ就活にも有利であり、仕事の選択の幅も広がるだろう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究（英語圏）Ⅰ	後期	月3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	井上 泉	1年	授業後に受け付けますが、それ以外にもメールでアポをとって行くことも可能です。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>本教科では、英語圏への留学を計画・予定している学生を対象としています。短期・長期留学にかかわらず、留学生活（日常生活ならびに学業）で直面しがちな主要問題を教室で仮想体験してもらい、その解決策について協働学習を通して学んでもらいます。これにより、留学中に不測の事態に直面しても柔軟に対応できる力がつきまします。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 留学生活およびその準備で生じ得る基礎的な主要問題を主体的に把握・分析できる 2) 留学生活およびその準備で生じ得る基礎的な主要問題に対する効果的な解決策を主体的に考案し、講じることができる 3) 上記1)2)の問題解決において、クラスメートと建設的な協働作業が行える 4) 上記1)2)の問題解決において、これまで習得した英語の主要4スキルを応用できる 5) 問題解決に必要な情報収集を主体的かつ適切に行える 	<p>文化が異なる国への留学では、想定外の場面に遭遇することが多いです。学修内容が、実際の留学の他の場面でどのように役立つのかも念頭に置きつつ、タスク・アクティビティにのぞんでください。長年海外にいた者として、様々なエピソードも交えながら、サポートしていきます！特例授業という形式になりますが、従来型とは遜色ない学修デザインを施しますので、安心してください。</p>

学びの実践	学びのヒント																																																				
	授業計画																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>テーマ</th> <th>時間外学習の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>[特]Introduction to the unit</td><td>翌週の予習</td></tr> <tr><td>2</td><td>[特]Introduction to PBL, How to collect information</td><td>翌週の予習</td></tr> <tr><td>3</td><td>[特]Destination - where are you going? Finding the right destination and school/ uni</td><td>翌週の予習</td></tr> <tr><td>4</td><td>[特]Topic A: Accommodation and issues 1 (Identification and analysis of problems)</td><td>問題の分析, 解決策の考案</td></tr> <tr><td>5</td><td>[特][Accommodation and issues 2</td><td>Annotation作成, 報告準備</td></tr> <tr><td>6</td><td>[特]Accommodation and issues 3 (whole-class discussions and extra practice)</td><td>Reflective Diary 完成・提出</td></tr> <tr><td>7</td><td>[特]Topic B: Dealing with troubles 1</td><td>問題の分析, 解決策の考案</td></tr> <tr><td>8</td><td>[特]Dealing with troubles 2</td><td>Annotation作成, 報告準備</td></tr> <tr><td>9</td><td>[特]Dealing with troubles 3</td><td>Reflective Diary 完成・提出</td></tr> <tr><td>10</td><td>[特]Topic C: Communication-related issues 1</td><td>問題の分析, 解決策の考案</td></tr> <tr><td>11</td><td>[特]Communication-related issues 2</td><td>Annotation作成 報告準備</td></tr> <tr><td>12</td><td>[特]Communication-related issues 3</td><td>Reflective Diary 完成・提出</td></tr> <tr><td>13</td><td>[特]Wrap-up and preparation for the presentation</td><td>プレゼン準備</td></tr> <tr><td>14</td><td>[特]Presentations 1</td><td>プレゼン準備、プレゼン振り返り</td></tr> <tr><td>15</td><td>[特]Presentations 2</td><td>プレゼン準備、プレゼン振り返り</td></tr> <tr><td>16</td><td>[特]Wrap up</td><td></td></tr> </tbody> </table>	回	テーマ	時間外学習の内容	1	[特]Introduction to the unit	翌週の予習	2	[特]Introduction to PBL, How to collect information	翌週の予習	3	[特]Destination - where are you going? Finding the right destination and school/ uni	翌週の予習	4	[特]Topic A: Accommodation and issues 1 (Identification and analysis of problems)	問題の分析, 解決策の考案	5	[特][Accommodation and issues 2	Annotation作成, 報告準備	6	[特]Accommodation and issues 3 (whole-class discussions and extra practice)	Reflective Diary 完成・提出	7	[特]Topic B: Dealing with troubles 1	問題の分析, 解決策の考案	8	[特]Dealing with troubles 2	Annotation作成, 報告準備	9	[特]Dealing with troubles 3	Reflective Diary 完成・提出	10	[特]Topic C: Communication-related issues 1	問題の分析, 解決策の考案	11	[特]Communication-related issues 2	Annotation作成 報告準備	12	[特]Communication-related issues 3	Reflective Diary 完成・提出	13	[特]Wrap-up and preparation for the presentation	プレゼン準備	14	[特]Presentations 1	プレゼン準備、プレゼン振り返り	15	[特]Presentations 2	プレゼン準備、プレゼン振り返り	16	[特]Wrap up		
	回	テーマ	時間外学習の内容																																																		
1	[特]Introduction to the unit	翌週の予習																																																			
2	[特]Introduction to PBL, How to collect information	翌週の予習																																																			
3	[特]Destination - where are you going? Finding the right destination and school/ uni	翌週の予習																																																			
4	[特]Topic A: Accommodation and issues 1 (Identification and analysis of problems)	問題の分析, 解決策の考案																																																			
5	[特][Accommodation and issues 2	Annotation作成, 報告準備																																																			
6	[特]Accommodation and issues 3 (whole-class discussions and extra practice)	Reflective Diary 完成・提出																																																			
7	[特]Topic B: Dealing with troubles 1	問題の分析, 解決策の考案																																																			
8	[特]Dealing with troubles 2	Annotation作成, 報告準備																																																			
9	[特]Dealing with troubles 3	Reflective Diary 完成・提出																																																			
10	[特]Topic C: Communication-related issues 1	問題の分析, 解決策の考案																																																			
11	[特]Communication-related issues 2	Annotation作成 報告準備																																																			
12	[特]Communication-related issues 3	Reflective Diary 完成・提出																																																			
13	[特]Wrap-up and preparation for the presentation	プレゼン準備																																																			
14	[特]Presentations 1	プレゼン準備、プレゼン振り返り																																																			
15	[特]Presentations 2	プレゼン準備、プレゼン振り返り																																																			
16	[特]Wrap up																																																				
	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>指定教科書はありません。資料をGoogle Classroomに随時アップしますので、活用してください。また、本教科の詳細はUnit Outlineにすべて記載されてあります。Week 1に配布しますので、熟読して理解をすること。</p>																																																				
	<p>学びの手立て</p> <p>本教科では、皆さんが主役となって積極的に学習をしてもらいます。授業時間外での情報収集や熟考なども極めて重要になるので、自主性をもってのぞみましょう。</p>																																																				
	<p>評価</p> <p>Contribution to the class 10%; Task evaluations 20%; Reflective diaries 25%; Group presentation 20%; Reflective essay 25%</p>																																																				

学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>学んだことを外国語研究Ⅱ、留学で大いに活用してください。</p>
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究（英語圏）Ⅱ	前期	水2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	井上 泉	1年	授業終了後、またはメールでのアポイントメント	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>本教科は、英語圏への留学を計画・予定している学生及び留学から帰国した学生を対象としています。外国語研究Ⅰの学習内容を踏まえて、さらにグローバルな人材として活躍できる使えるスキルを体験型学習を通して身につけてもらいます。</p>	<p>異文化への留学では、想定外の状況に遭遇することがよくあります。本教科で学びが実際の留学でどのように役立つのかも念頭に置きつつ、タスク・アクティビティにのぞんでください。長年海外で留学・仕事をしてきた者として、様々なエピソードも交えながら、サポートしていきます！なお、特例授業の形式になりますが、学修効果を十分考慮した対面とそん色ない学修が可能です。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) これまでに習得した基礎的な英語力を留学における学修活動・グローバルな活動に応用できる 2) 留学中の学修活動・グローバルな社会活動における主要問題を適切に解決できる 3) 自身の学修に対する深い振り返りを行え、それを以降の諸活動に活用できる 4) 学習における自己管理を適切に行える 5) 自己・他者の学習を客観的に評価し、建設的な提案ができる 6) 他者との協働学習を適切に行える 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction to the unit	Unit Outlineの再熟読、学修計画
	2	Written and oral communication	基礎的情報の事前学修
	3	Email correspondence in English	関連タスク
	4	Attending a class 1 (preparation and focus listening)	基礎的情報の事前学修、関連タスク
	5	Attending a class 2 (note-taking and revision)	関連タスク
	6	Participating in speaking activities 1 (class discussions)	基礎的情報の事前学修、関連タスク
	7	Participating in speaking activities 2 (debate)	基礎的情報の事前学修、関連タスク
8	Participating in speaking activities 3 (presentation)	基礎的情報の事前学修、関連タスク	
9	Preparing for readings 1	基礎的情報の事前学修、関連タスク	
10	Preparing for readings 2	基礎的情報の事前学修、関連タスク	
11	Basics of logical writing	基礎的情報の事前学修	
12	Logical writing 1	基礎的情報の事前学修、関連タスク	
13	Logical writing 2	関連タスク、プレゼン準備	
14	Presentations 1	プレゼン準備、プレゼン振り返り	
15	Presentations 2	プレゼン準備、プレゼン振り返り	
16	Wrap up discussion	Essay 準備	
テキスト・参考文献・資料など	<p>指定教科書はありません。資料をgoogle classroomに随時アップしますので、頻繁にチェックしてください。なお、本教科の全詳細は1週目に配布するUnit Outlineに記載されています。必ず熟読すること</p>		
学びの手立て	<p>本評価は留学前に必要となる内容をできるだけ網羅するように設計されており、クラスメート同士の協働学修を重視した内容となっています。事前学修も極めて重要な要素となりますので、各自の責任で予習・復習・振り返りをきちんと行ってもらう必要があります。また量だけでなく、質が重要視される（海外も同様）ので、各自責任感をもって学修に臨んでください。</p>		
評価	<p>Contribution to the class activities 10%; Task evaluation 20%; Reflections 20%; Weekly English diaries 20%; Reflective essay 30%（履修者数その他の理由により、開講時に若干の変更の可能性あり）</p>		

学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>学んだことを留学、関連科目、およびグローバルな視野での就職活動で大いに活用してください。</p>
-------	--